

# 銚田市国民健康保険 第2期データヘルス計画

平成30年3月  
銚田市

<b>第1章 計画策定について</b>	
1. 背景	3
2. 計画期間	3
3. 基本方針	4
4. データヘルス計画の位置づけ	5
5. 実施体制・関係者連携	5
<b>第2章 現状と課題把握</b>	
1. 保険者の特性把握	6
(1) 基本情報	6
(2) 医療費等の状況	8
(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	9
① 特定健康診査	9
② 特定保健指導	11
(4) 介護保険の状況	13
(5) 主たる死因の状況	17
(6) 死亡数及び標準化死亡比	18
2. 過去の取り組みの振り返りと評価	21
3. 医療情報分析結果	25
(1) 基礎統計	25
(2) 高額レセプトの件数及び医療費	27
① 高額レセプトの件数及び割合	27
② 高額レセプト発生患者の疾病傾向	29
(3) 疾病別医療費	33
① 大分類による疾病別医療費統計	33
② 中分類による疾病別医療費統計	37
4. 保健事業実施に係る分析結果	47
(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析	47
(2) 特定健康診査に係る分析	48
(3) 特定保健指導に係る分析	52
(4) 健診異常値放置者に係る分析	54
(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析	56
(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析	58
(7) 受診行動適正化に係る分析	63
(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析	66
(9) ロコモティブシンドロームに係る分析	69
5. 分析結果に基づく健康課題の把握	72
(1) 分析結果	72
(2) 分析結果に基づく課題とその対策	79

<b>第3章 保健事業実施計画</b>		
1. 各事業の目的と概要一覧		81
2. 全体スケジュール		83
3. 各事業の実施内容と評価方法		84
(1) 特定健康診査未受診勧奨事業		84
(2) 特定保健指導事業		85
(3) 健診異常値放置者受診勧奨事業		86
(4) 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業		87
(5) 糖尿病性腎症重症化予防事業		88
(6) 高血圧症重症化予防事業		89
(7) 受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)		90
(8) ジェネリック医薬品差額通知事業		91
(9) ロコモティブシンドローム予防事業		92
<b>第4章 その他</b>		
1. データヘルス計画の見直し		93
(1) 評価		93
(2) 評価時期		93
2. 計画の公表・周知		93
3. 個人情報の取り扱い		94
4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項		94
<b>地区分析</b>		
1. 大分類による疾病別医療費地区別統計		
2. 中分類による疾病別医療費地区別統計		
<b>年度別 特定健康診査結果分析</b>		
1. 有所見者割合		
2. 質問別回答状況		
<b>巻末資料</b>		
1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方		
2. 用語解説集		
3. 疾病分類表		

# 第1章 計画策定について

## 1. 背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としている。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととある。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としている。こうした背景を踏まえて策定した第1期データヘルス計画を見直すとともに、第2期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図る。

## 2. 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」第4の5において、「特定健康診査等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされていることから、第3期特定健康診査等実施計画期間である、平成30年度から平成35年度の6年間とする。

### ■ 計画期間

平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
					

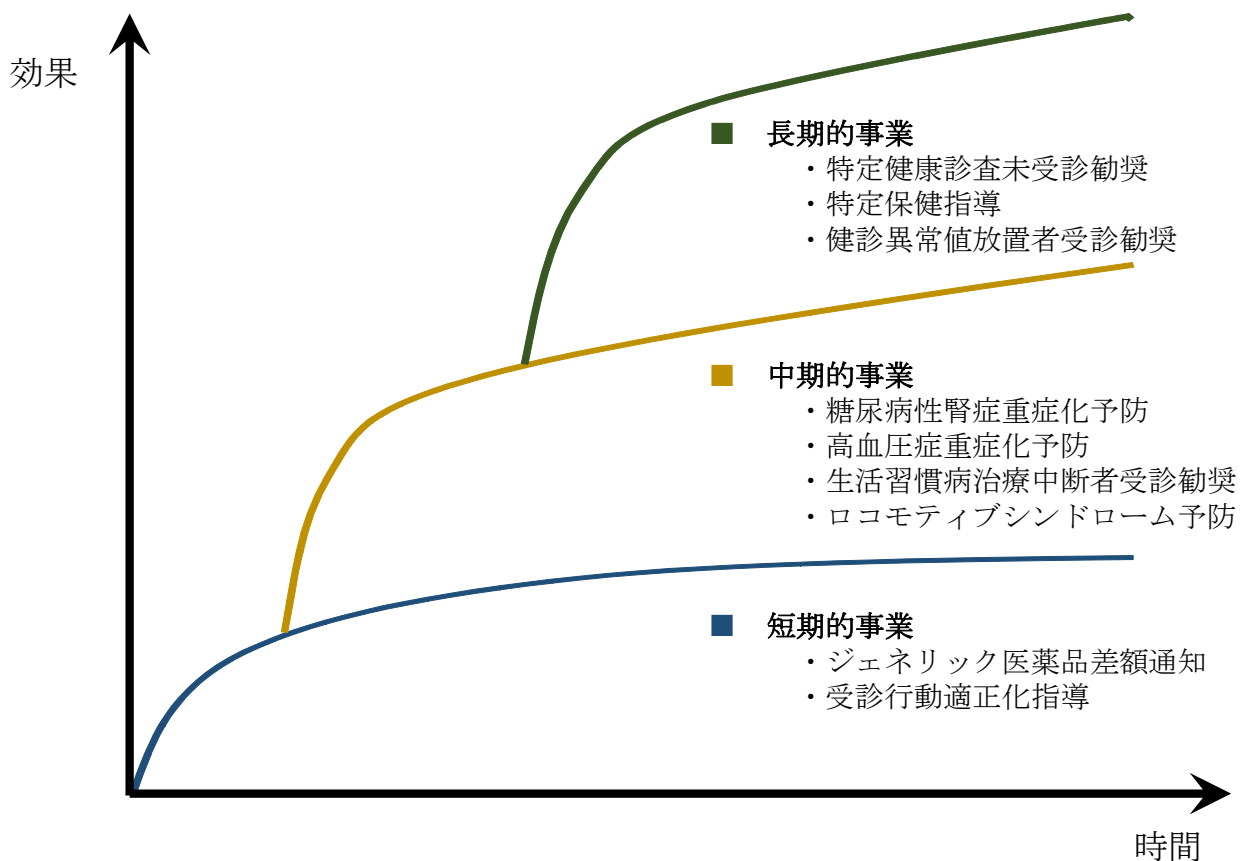
### 3. 基本方針

データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画する。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定する。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にする。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択する。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施する。
3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載する。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示する。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとする。

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業がある。以下の事業を銚田市国民健康保険の実情に合わせて、効率良く実施する。



## 4. データヘルス計画の位置づけ

---

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、「都道府県健康増進計画」及び「市町村健康増進計画」で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画と整合性を図る必要がある。

## 5. 実施体制・関係者連携

---

本データヘルス計画の遂行に当たっては、保険担当部局が主体となり、関係部局(保健衛生、介護部門等)・保健師・栄養士等の専門職と共同で事業を推進する。そのために、課題や評価について共有する場としてのプロジェクトチーム等を設置し、一体となって保健事業の実施に当たる。

また、医師会、栄養士会等の外部有識者や被保険者が議論に参画できる協議の場として、既存の協議会等の活用、または新たな会議体の設置、被保険者向け説明会等を行い、外部有識者からの支援体制を強化し、被保険者自身が当事者意識を持って主体的・積極的に取り組める体制を整備しながら事業を運営する。

### ■ データ分析期間

- ・ 国保データベース(KDB)システムデータ  
平成26年度～平成28年度(3年分)
- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト  
単年分析  
平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)  
年度分析  
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)  
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月診療分(12カ月分)  
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
- ・ 健康診査データ  
単年分析  
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)  
年度分析  
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)  
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月健診分(12カ月分)  
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)

# 第2章 現状と課題把握

## 1. 保険者の特性把握

### (1) 基本情報

本市の平成28年度における、人口構成概要を以下に示す。高齢化率(65歳以上)は27.1%であり、県との比較で1.2倍、同規模との比較で1.1倍となっている。また、国民健康保険被保険者数は21,171人で、市の人口に占める国民健康保険加入率は43.8%である。国民健康保険被保険者平均年齢は47.7歳である。

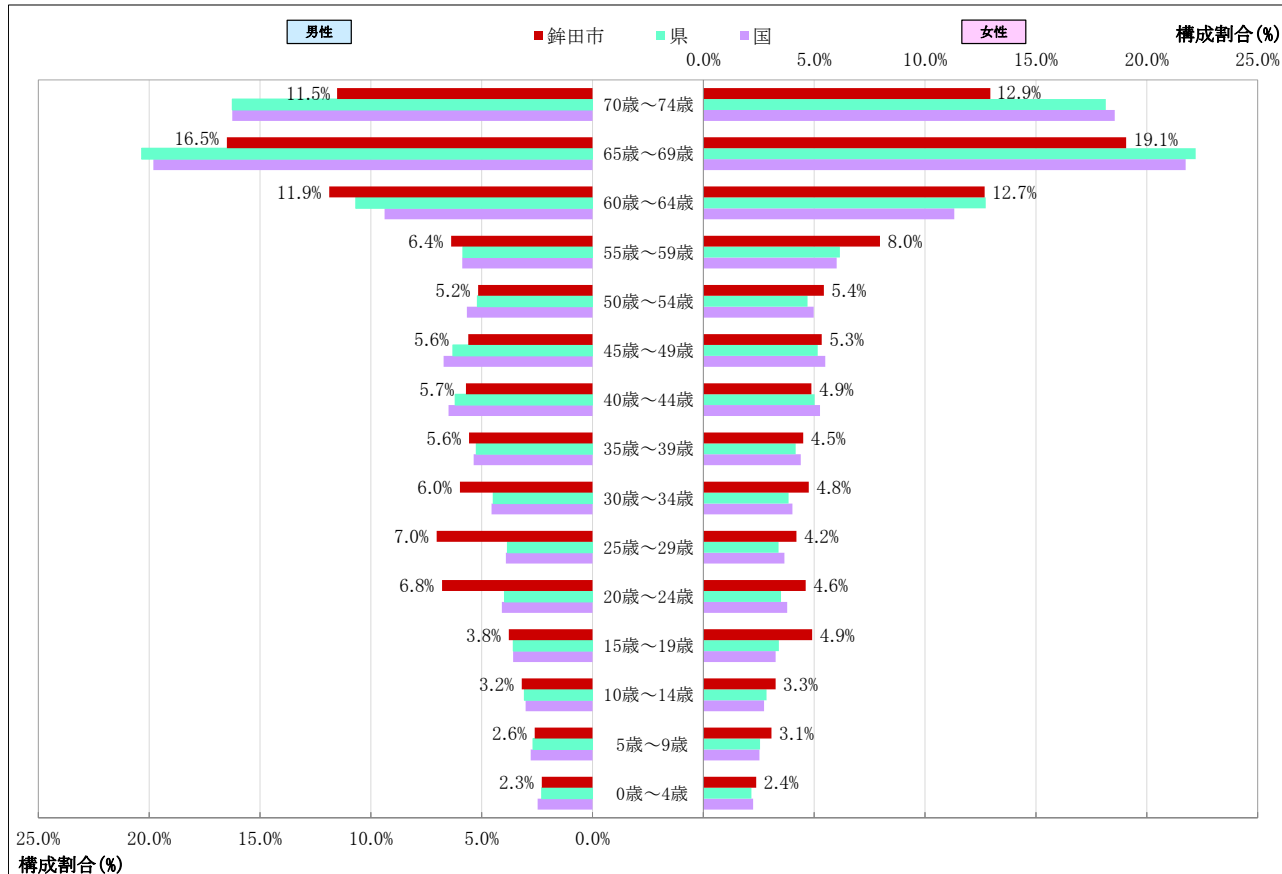
人口構成概要(平成28年度)

	人口総数(人)	高齢化率(65歳以上)	国保被保険者数(人)	国保加入率	国保被保険者平均年齢(歳)	出生率	死亡率
銚田市	48,298	27.1%	21,171	43.8%	47.7	7.3%	13.7%
県	2,914,135	22.8%	799,191	27.4%	51.1	8.2%	9.8%
同規模	68,973	24.1%	16,980	24.7%	52.8	8.4%	10.1%
国	124,852,975	23.2%	32,587,866	26.9%	50.7	8.6%	9.6%

※「県」は茨城県を指す。以下すべての表において同様である。

出典: 国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(平成28年度)



出典: 国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

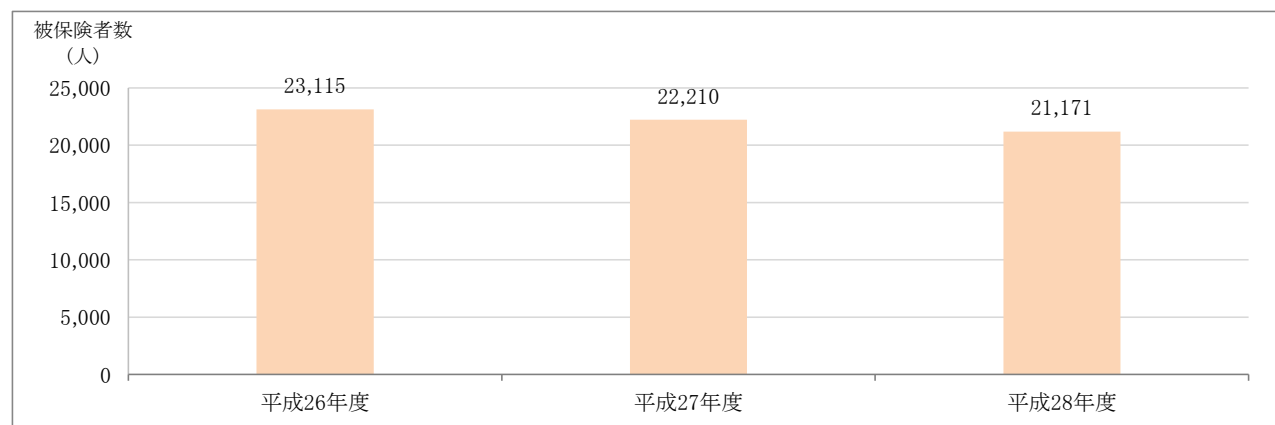
本市の平成26年度から平成28年度における、人口構成概要を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、国民健康保険被保険者数21,171人は平成26年度23,115人より1,944人減少しており、国民健康保険被保険者平均年齢47.7歳は平成26年度46.6歳より1.1歳上昇している。

### 年度別 人口構成概要

区分		人口総数 (人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
銚田市	平成26年度	48,298	27.1%	23,115	47.9%	46.6	7.3%	13.7%
	平成27年度	48,298	27.1%	22,210	46.0%	47.2	7.3%	13.7%
	平成28年度	48,298	27.1%	21,171	43.8%	47.7	7.3%	13.7%
県	平成26年度	2,914,135	22.8%	878,261	30.1%	49.8	8.2%	9.8%
	平成27年度	2,914,135	22.8%	845,824	29.0%	50.4	8.2%	9.8%
	平成28年度	2,914,135	22.8%	799,191	27.4%	51.1	8.2%	9.8%
同規模	平成26年度	68,299	24.2%	18,546	27.1%	51.7	8.3%	10.1%
	平成27年度	68,241	24.2%	17,773	26.1%	52.2	8.4%	10.1%
	平成28年度	68,973	24.1%	16,980	24.7%	52.8	8.4%	10.1%
国	平成26年度	124,852,975	23.2%	32,318,324	28.8%	50.3	8.6%	9.6%
	平成27年度	124,852,975	23.2%	33,767,446	28.2%	50.4	8.6%	9.6%
	平成28年度	124,852,975	23.2%	32,587,866	26.9%	50.7	8.6%	9.6%

出典: 国保データベース (KDB) システム 「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

### 年度別 被保険者数



出典: 国保データベース (KDB) システム 「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」



## (2) 医療費等の状況

本市の平成28年度における、医療基礎情報を以下に示す。千人当たりの病院数は、県・同規模・国を下回っており、受診率も県・同規模・国を上回っている。医療費は、外来の割合が県・同規模・国より高く、入院の割合は県・同規模・国を下回っている。

### 医療基礎情報(平成28年度)

医療項目	銚田市	県	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.1	0.2	0.3	0.3
診療所数	0.8	2.2	2.8	3.0
病床数	5.5	40.2	50.3	46.8
医師数	1.2	6.5	7.5	9.2
外来患者数	545.3	629.2	688.2	668.1
入院患者数	13.8	16.3	19.8	18.2
受診率	559.1	645.5	708.0	686.3
一件当たり医療費(円)				
一般(円)	33,730	34,810	36,130	35,330
退職(円)	40,800	37,640	37,660	37,860
外来				
外来費用の割合	63.3%	62.2%	59.3%	60.1%
外来受診率	545.3	629.2	688.2	668.1
一件当たり医療費(円)	21,900	22,210	22,060	21,820
一人当たり医療費(円)	11,940	13,980	15,180	14,580
一日当たり医療費(円)	15,430	14,940	14,130	13,910
一件当たり受診回数	1.4	1.5	1.6	1.6
入院				
入院費用の割合	36.7%	37.8%	40.7%	39.9%
入院率	13.8	16.3	19.8	18.2
一件当たり医療費(円)	500,750	521,880	524,900	531,780
一人当たり医療費(円)	6,920	8,490	10,400	9,670
一日当たり医療費(円)	35,840	34,550	32,470	34,030
一件当たり在院日数	14.0	15.1	16.2	15.6

出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

### (3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

#### ① 特定健康診査

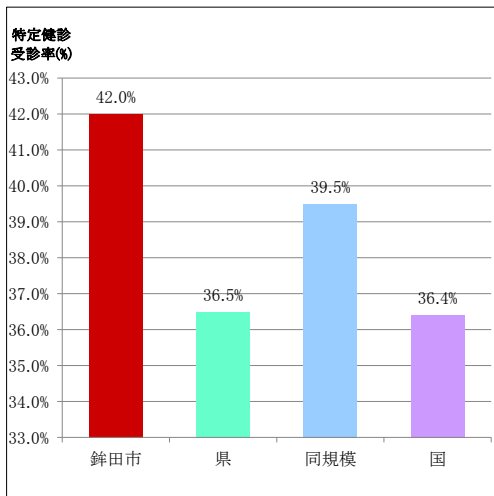
本市の平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査の受診率を以下に示す。受診率は、県・同規模・国を上回っている。

#### 特定健康診査受診率(平成28年度)

	特定健診受診率
<b>銚田市</b>	<b>42.0%</b>
県	36.5%
同規模	39.5%
国	36.4%

出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

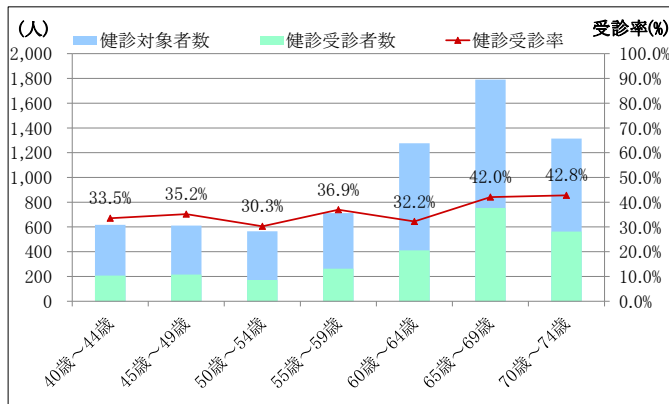
#### 特定健康診査受診率(平成28年度)



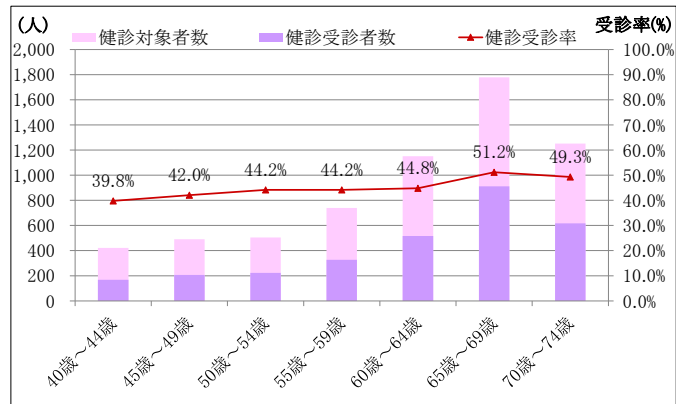
出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女別・年齢階層別特定健康診査受診率をみると、男女ともに年代が高いほど受診率が高い傾向がある。

#### (男性) 年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



#### (女性) 年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



出典: 国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

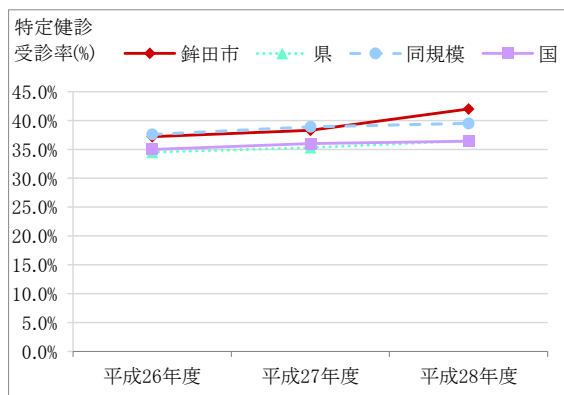
本市の平成26年度から平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示す。平成28年度の特定健康診査受診率42.0%は平成26年度37.2%より4.8ポイント上昇している。

### 年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<b>銚田市</b>	<b>37.2%</b>	<b>38.3%</b>	<b>42.0%</b>
県	34.5%	35.3%	36.5%
同規模	37.6%	38.9%	39.5%
国	35.0%	36.0%	36.4%

出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

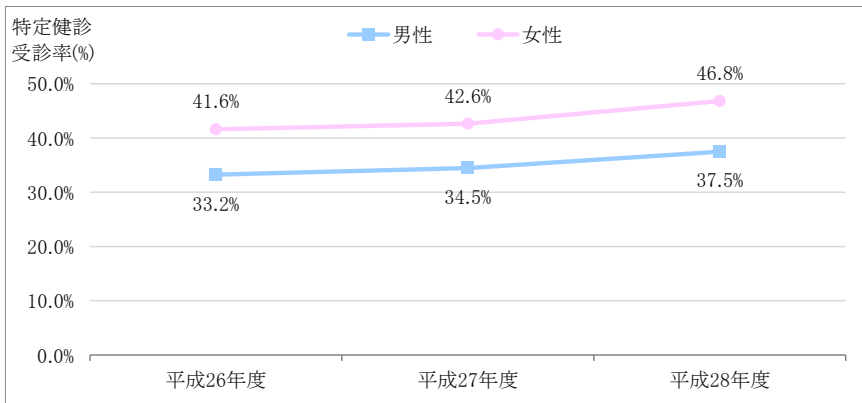
### 年度別 特定健康診査受診率



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の平成28年度受診率37.5%は平成26年度33.2%より4.3ポイント上昇しており、女性の平成28年度受診率46.8%は平成26年度41.6%より5.2ポイント上昇している。

### 年度・男女別 特定健康診査受診率



出典: 国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

## ②特定保健指導

本市の平成28年度における、特定保健指導の実施状況を以下に示す。支援対象者割合は県・同規模・国より高く、特定保健指導の実施率は県・同規模・国より低い状況である。

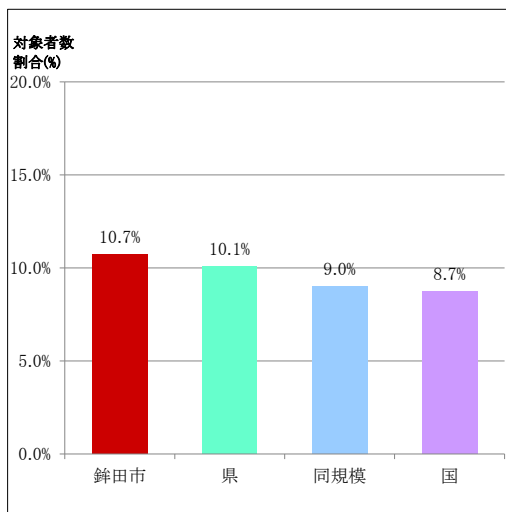
### 特定保健指導実施状況(平成28年度)

	動機付け支援対象者数割合	積極的支援対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導実施率
<b>銚田市</b>	<b>10.7%</b>	<b>6.8%</b>	<b>17.5%</b>	<b>18.9%</b>
県	10.1%	4.0%	14.0%	28.8%
同規模	9.0%	2.9%	11.9%	30.2%
国	8.7%	3.2%	12.0%	21.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

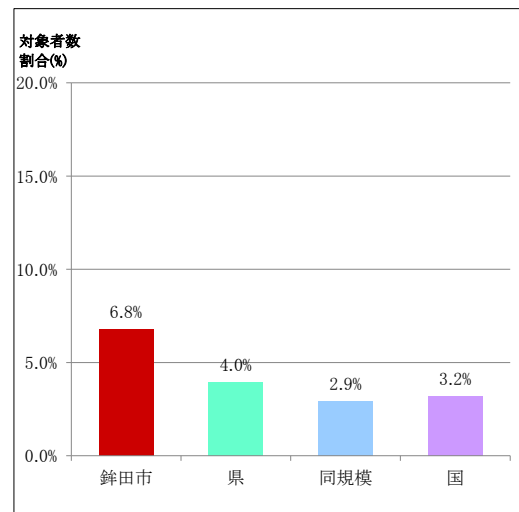
出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 動機付け支援対象者数割合(平成28年度)



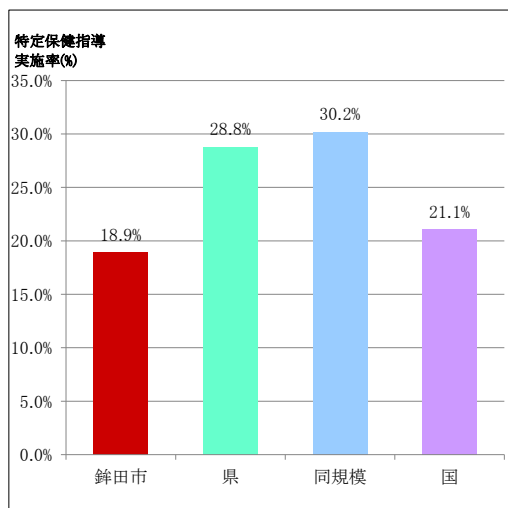
出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 積極的支援対象者数割合(平成28年度)



出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 特定保健指導実施率(平成28年度)



出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成26年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。  
平成28年度の特定保健指導実施率18.9%は平成26年度12.6%より6.3ポイント上昇している。

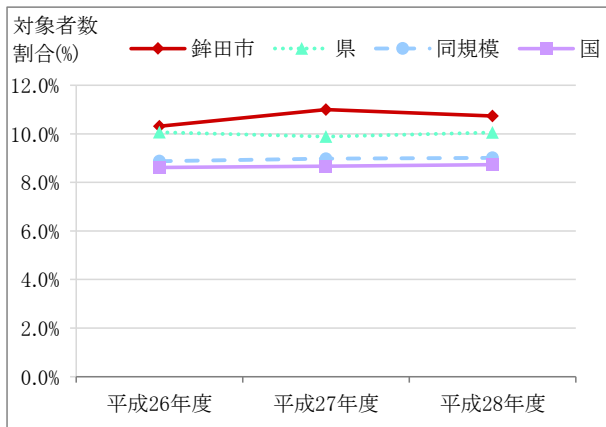
### 年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援 対象者数割合			積極的支援 対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導実施率		
	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度
<b>銚田市</b>	<b>10.3%</b>	<b>11.0%</b>	<b>10.7%</b>	<b>7.5%</b>	<b>7.0%</b>	<b>6.8%</b>	<b>17.8%</b>	<b>18.0%</b>	<b>17.5%</b>	<b>12.6%</b>	<b>14.6%</b>	<b>18.9%</b>
県	10.1%	9.9%	10.1%	4.3%	4.1%	4.0%	14.4%	14.0%	14.0%	26.7%	26.3%	28.8%
同規模	8.9%	9.0%	9.0%	3.2%	3.0%	2.9%	12.1%	12.0%	11.9%	26.7%	28.3%	30.2%
国	8.6%	8.7%	8.7%	3.4%	3.3%	3.2%	12.0%	12.0%	12.0%	19.9%	20.2%	21.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

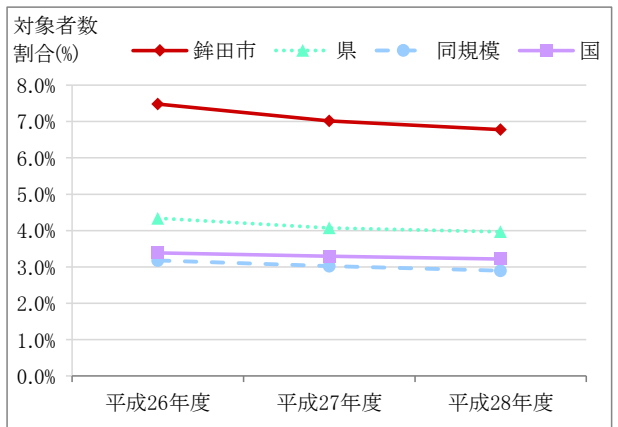
出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 動機付け支援対象者数割合



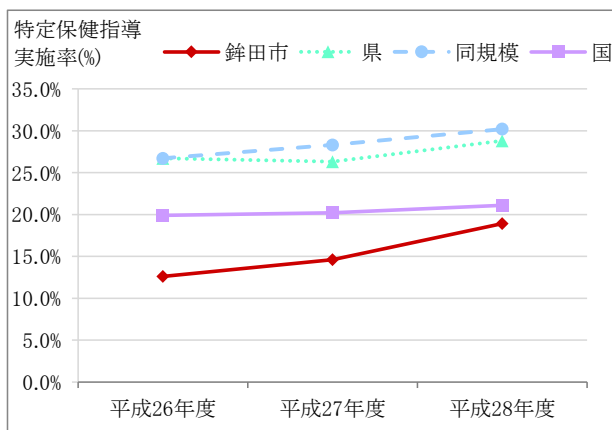
出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 積極的支援対象者数割合



出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 特定保健指導実施率



出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

#### (4) 介護保険の状況

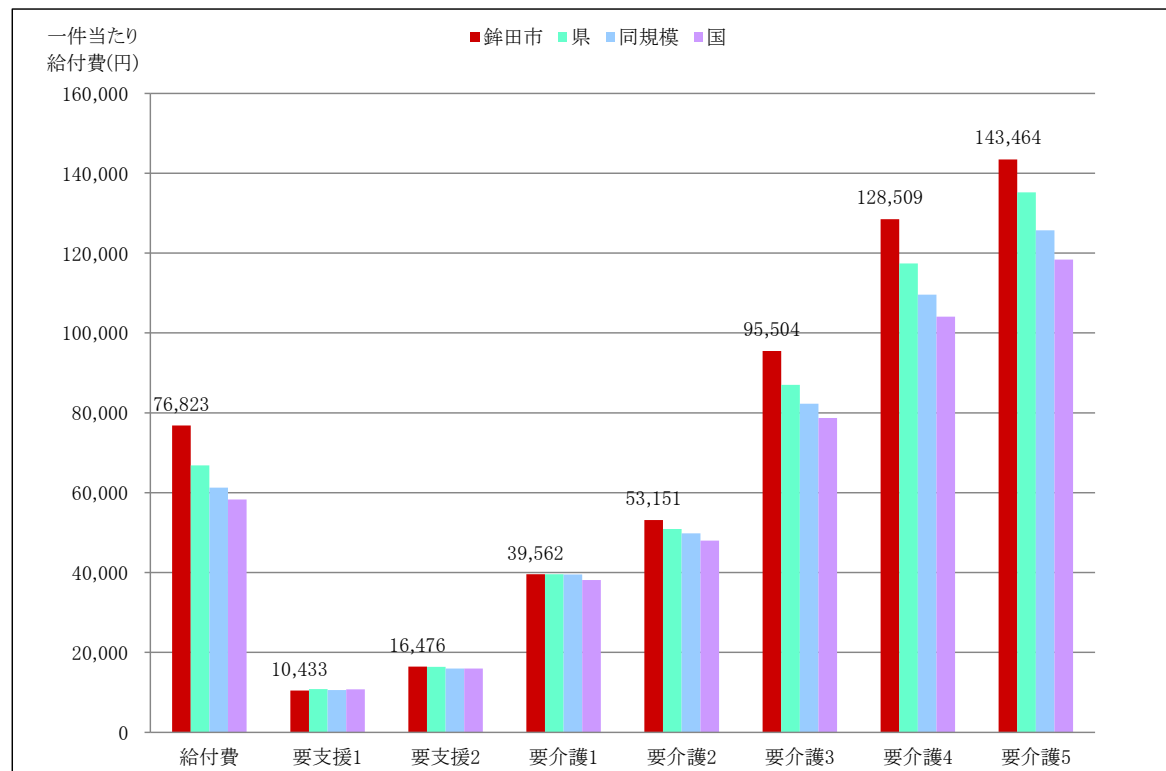
本市の平成28年度における、認定率及び給付費等の状況を以下に示す。本市の介護保険認定率は、同規模・国より低い、給付費は、全体では県・同規模・国より高い状況である。

##### 認定率及び給付費等の状況(平成28年度)

区分	銚田市	県	同規模	国
認定率	18.7%	18.1%	20.2%	21.2%
認定者数(人)	2,512	125,310	913,855	6,037,083
第1号(65歳以上)	2,437	121,496	891,869	5,885,270
第2号(40～64歳)	75	3,814	21,986	151,813
一件当たり給付費(円)				
給付費	76,823	66,869	61,245	58,284
要支援1	10,433	10,844	10,581	10,735
要支援2	16,476	16,404	15,951	15,996
要介護1	39,562	39,596	39,503	38,163
要介護2	53,151	50,902	49,853	48,013
要介護3	95,504	86,980	82,314	78,693
要介護4	128,509	117,389	109,614	104,104
要介護5	143,464	135,198	125,728	118,361

出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

##### 一件当たり要介護度別給付費(平成28年度)



出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

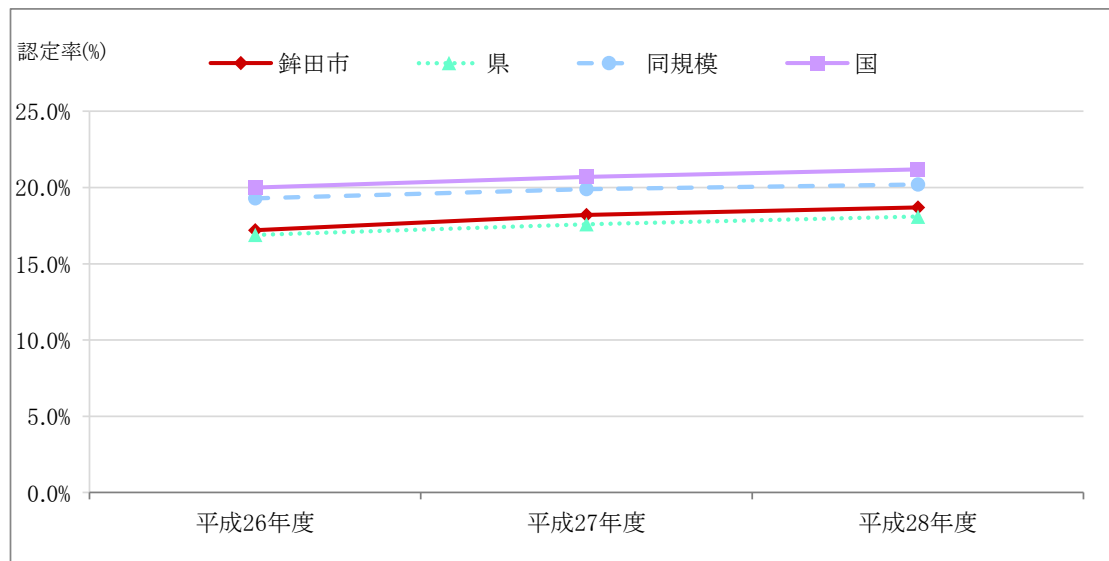
平成26年度から平成28年度における、認定率及び認定者数を年度別に示す。平成28年度認定率18.7%は平成26年度17.2%より1.5ポイント上昇しており、平成28年度の認定者数2,512人は平成26年度2,383人より129人増加している。

### 年度別 認定率及び認定者数

区分		認定率	認定者数(人)		
			第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)	
銚田市	平成26年度	17.2%	2,383	2,316	67
	平成27年度	18.2%	2,485	2,410	75
	平成28年度	18.7%	2,512	2,437	75
県	平成26年度	16.9%	118,329	114,417	3,912
	平成27年度	17.6%	122,073	118,207	3,866
	平成28年度	18.1%	125,310	121,496	3,814
同規模	平成26年度	19.3%	883,689	860,333	23,356
	平成27年度	19.9%	908,391	885,519	22,872
	平成28年度	20.2%	913,855	891,869	21,986
国	平成26年度	20.0%	5,324,880	5,178,997	145,883
	平成27年度	20.7%	5,751,982	5,602,383	149,599
	平成28年度	21.2%	6,037,083	5,885,270	151,813

出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 認定率



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

本市の平成28年度における、認定者の疾病別有病率を以下に示す。疾病別の有病者数を合計すると7,035人となり、認定者は平均2.8疾病を有していることがわかる。

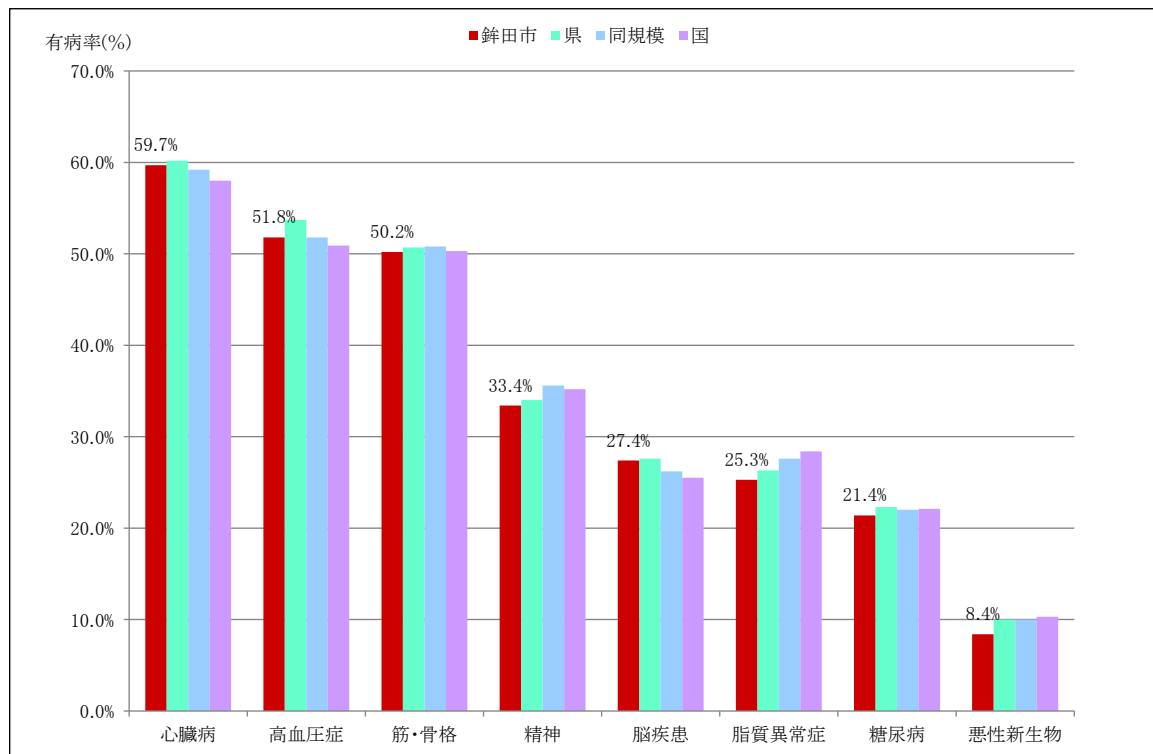
### 認定者の疾病別有病状況(平成28年度)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	鈴田市	順位	県	順位	同規模	順位	国	順位
認定者数(人)	2,512		125,310		913,855		6,037,083	
心臓病	実人数(人)	1,497	76,051	1	546,239	1	3,529,682	1
	有病率	59.7%	60.2%		59.2%		58.0%	
高血圧症	実人数(人)	1,308	67,924	2	479,210	2	3,101,200	2
	有病率	51.8%	53.7%		51.8%		50.9%	
筋・骨格	実人数(人)	1,278	64,311	3	469,492	3	3,067,196	3
	有病率	50.2%	50.7%		50.8%		50.3%	
精神	実人数(人)	845	43,508	4	331,335	4	2,154,214	4
	有病率	33.4%	34.0%		35.6%		35.2%	
脳疾患	実人数(人)	689	34,670	5	239,587	6	1,538,683	6
	有病率	27.4%	27.6%		26.2%		25.5%	
脂質異常症	実人数(人)	642	33,615	6	256,268	5	1,741,866	5
	有病率	25.3%	26.3%		27.6%		28.4%	
糖尿病	実人数(人)	550	28,379	7	203,882	7	1,350,152	7
	有病率	21.4%	22.3%		22.0%		22.1%	
悪性新生物	実人数(人)	226	12,783	8	93,015	8	631,950	8
	有病率	8.4%	10.0%		10.0%		10.3%	
合計	実人数(人)	7,035	361,241		2,619,028		17,114,943	
	有病数	2.8	2.9		2.9		2.8	

出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 認定者の疾病別有病率(平成28年度)



出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」



本市の平成26年度から平成28年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示す。平成28年度の認定者が有している平均疾病数2.8疾病は平成26年度2.7疾病より増加している。

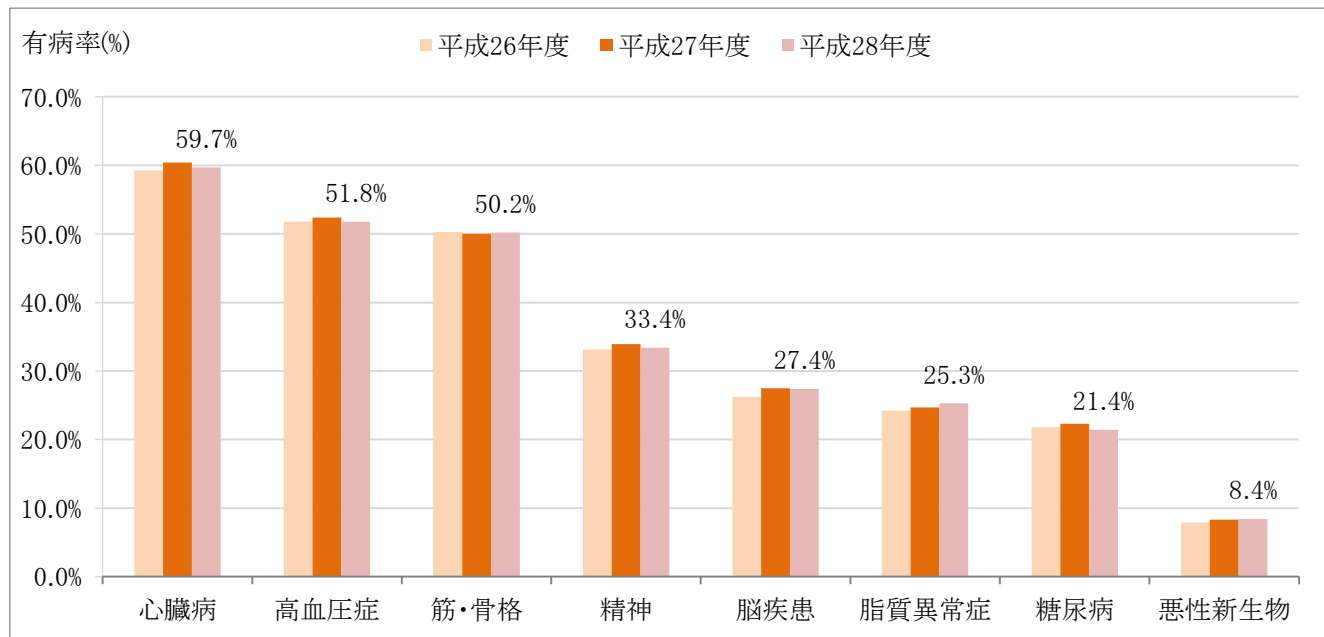
### 年度別 認定者の疾病別有病状況

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	銚田市						県			同規模			国			
	平成26年度	順位	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
認定者数(人)	2,383		2,485		2,512		118,329	122,073	125,310	883,689	908,391	913,855	5,324,880	5,751,982	6,037,083	
心臓病	実人数(人) 有病率(%)	1,408 59.3%	1	1,493 60.4%	1	1,497 59.7%	1	71,637 60.2%	74,328 60.4%	76,051 60.2%	491,660 54.3%	534,422 58.2%	546,239 59.2%	2,914,608 54.8%	3,261,576 56.7%	3,529,682 58.0%
高血圧症	実人数(人) 有病率(%)	1,221 51.8%	2	1,298 52.4%	2	1,308 51.8%	2	63,832 53.5%	66,288 53.9%	67,924 53.7%	429,786 47.3%	468,849 50.9%	479,210 51.8%	2,551,660 47.9%	2,865,466 49.7%	3,101,200 50.9%
筋・骨格	実人数(人) 有病率(%)	1,194 50.3%	3	1,243 50.0%	3	1,278 50.2%	3	59,387 49.9%	62,167 50.4%	64,311 50.7%	420,178 46.3%	457,630 49.8%	469,492 50.8%	2,505,146 47.1%	2,813,795 48.9%	3,067,196 50.3%
精神	実人数(人) 有病率(%)	806 33.1%	4	856 33.9%	4	845 33.4%	4	39,795 33.4%	41,764 33.8%	43,508 34.0%	288,192 31.6%	318,349 34.4%	331,335 35.6%	1,720,172 32.2%	1,963,213 33.8%	2,154,214 35.2%
脳疾患	実人数(人) 有病率(%)	630 26.2%	5	698 27.5%	5	689 27.4%	5	33,934 28.8%	34,505 28.3%	34,670 27.6%	223,901 25.0%	239,223 26.2%	239,587 26.2%	1,324,669 25.2%	1,455,985 25.4%	1,538,683 25.5%
脂質異常症	実人数(人) 有病率(%)	568 24.2%	6	614 24.7%	6	642 25.3%	6	30,322 25.0%	31,857 25.8%	33,615 26.3%	224,805 24.5%	249,089 26.8%	256,268 27.6%	1,386,541 25.7%	1,586,963 27.3%	1,741,866 28.4%
糖尿病	実人数(人) 有病率(%)	513 21.8%	7	551 22.3%	7	550 21.4%	7	26,068 21.9%	27,404 22.1%	28,379 22.3%	180,064 19.7%	198,628 21.5%	203,882 22.0%	1,089,285 20.3%	1,241,024 21.4%	1,350,152 22.1%
悪性新生物	実人数(人) 有病率(%)	184 7.9%	8	209 8.3%	8	226 8.4%	8	11,498 9.5%	12,103 9.8%	12,783 10.0%	80,701 8.8%	89,488 9.7%	93,015 10.0%	493,808 9.2%	569,967 9.8%	631,950 10.3%
合計	実人数(人) 有病数	6,524 2.7		6,962 2.8		7,035 2.8		336,473 2.8	350,416 2.9	361,241 2.9	2,339,287 2.6	2,555,678 2.8	2,619,028 2.9	13,985,889 2.6	15,757,989 2.7	17,114,943 2.8

出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 認定者の疾病別有病率



出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## (5) 主たる死因の状況

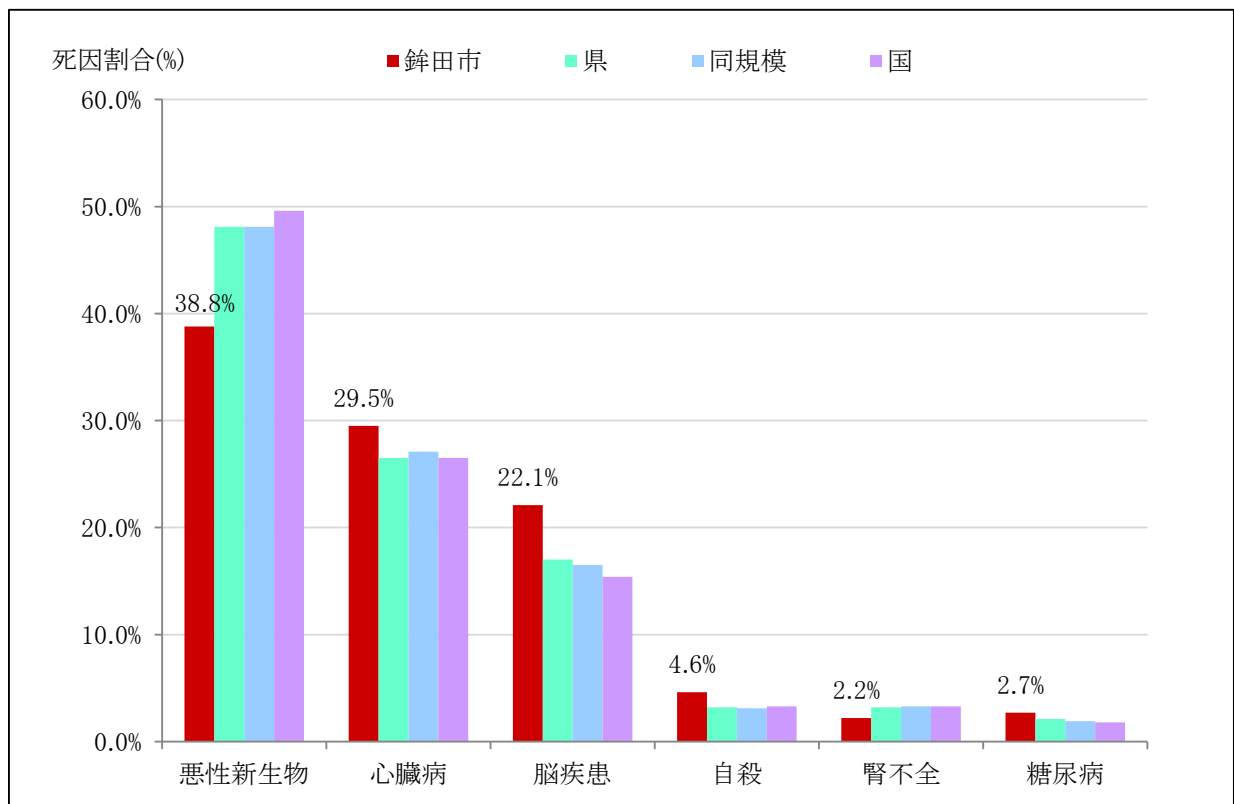
本市の平成28年度における、主たる死因の状況を以下に示す。心臓病、脳疾患、自殺が県・同規模・国より高い状況である。

### 主たる死因の状況(平成28年度)

疾病項目	銚田市		県	同規模	国
	人数(人)	割合(%)			
悪性新生物	142	38.8%	48.1%	48.1%	49.6%
心臓病	108	29.5%	26.5%	27.1%	26.5%
脳疾患	81	22.1%	17.0%	16.5%	15.4%
自殺	17	4.6%	3.2%	3.1%	3.3%
腎不全	8	2.2%	3.2%	3.3%	3.3%
糖尿病	10	2.7%	2.1%	1.9%	1.8%
合計	366				

出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 主たる死因の割合(平成28年度)



出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

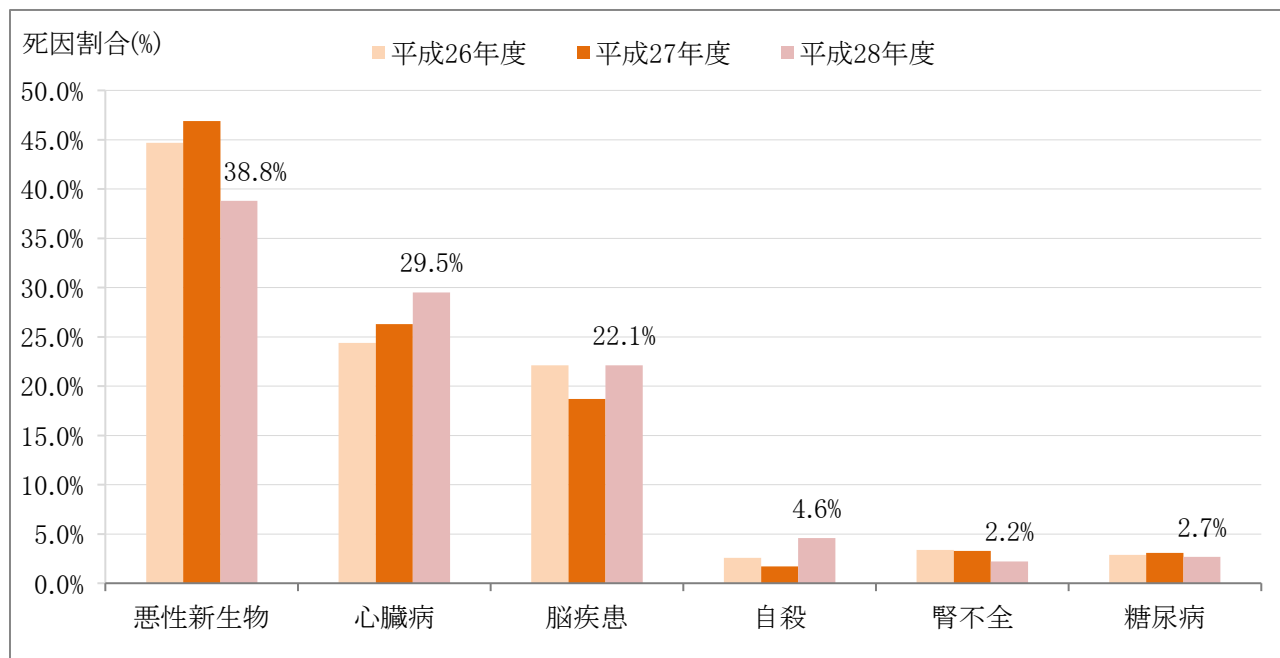
本市の平成26年度から平成28年度における、主たる死因の状況を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数142人は平成26年度172人より30人減少しており、心臓病を死因とする人数108人は平成26年度94人より14人増加している。また、脳疾患を死因とする人数81人は平成26年度85人より4人減少している。

### 年度別 主たる死因の状況

疾病項目	銚田市						県			同規模			国		
	人数(人)			割合(%)			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度									
悪性新生物	172	198	142	44.7%	46.9%	38.8%	45.8%	46.8%	48.1%	46.7%	47.5%	48.1%	48.3%	49.0%	49.6%
心臓病	94	111	108	24.4%	26.3%	29.5%	27.4%	26.4%	26.5%	27.2%	27.1%	27.1%	26.6%	26.4%	26.5%
脳疾患	85	79	81	22.1%	18.7%	22.1%	17.8%	18.1%	17.0%	17.2%	16.7%	16.5%	16.3%	15.9%	15.4%
自殺	10	7	17	2.6%	1.7%	4.6%	3.4%	3.4%	3.2%	3.4%	3.4%	3.1%	3.5%	3.5%	3.3%
腎不全	13	14	8	3.4%	3.3%	2.2%	3.3%	3.1%	3.2%	3.5%	3.4%	3.3%	3.4%	3.4%	3.3%
糖尿病	11	13	10	2.9%	3.1%	2.7%	2.3%	2.1%	2.1%	2.0%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.8%
合計	385	422	366												

出典: 国保データベース (KDB) システム 「地域の全体像の把握」

### 年度別 主たる死因の割合



出典: 国保データベース (KDB) システム 「地域の全体像の把握」

## (6) 死亡数及び標準化死亡比

2010年から2014年の本市の標準化死亡比を以下に示す。男女とも急性心筋梗塞と脳梗塞疾患の死亡率が高い。

### 男性の死亡数及び標準化死亡比（2010年～2014年）

	全死因	悪性新生物	胃の悪性新生物	結腸及び直腸の悪性新生物	肝及び肝内胆管の悪性新生物	気管、気管支及び肺の悪性新生物	糖尿病	(高血圧性を除く)心疾患	急性心筋梗塞	脳血管疾患	くも膜下出血	脳内出血	脳梗塞	腎不全
標準化死亡比※1	1.10	1.01	1.19	0.96	0.91	0.91	1.95	1.05	1.65	1.49	3.10	1.49	1.30	1.05
死亡数	1723	520	92	58	44	112	35	231	91	209	35	65	106	30
期待死亡数※2	1567.8	515.3	77.4	60.4	48.6	123.5	18.0	220.5	55.1	140.4	11.3	43.8	81.8	28.6
期待死亡数との差	155.2	4.7	14.6	-2.4	-4.6	-11.5	17.0	10.5	35.9	68.6	23.7	21.2	24.2	1.4
全国に比べて有意に高い※3	○						○		○	○	○	○	○	
全国に比べて有意に低い※4														

### 女性の死亡数及び標準化死亡比（2010年～2014年）

	全死因	悪性新生物	胃の悪性新生物	結腸及び直腸の悪性新生物	肝及び肝内胆管の悪性新生物	気管、気管支及び肺の悪性新生物	乳房の悪性新生物	子宮の悪性新生物	糖尿病	(高血圧性を除く)心疾患	急性心筋梗塞	脳血管疾患	くも膜下出血	脳内出血	脳梗塞	腎不全
標準化死亡比※1	1.07	0.97	1.05	0.99	0.69	1.04	0.69	0.83	1.51	1.18	1.88	1.27	2.11	1.41	1.07	0.86
死亡数	1518	322	41	49	17	48	19	11	24	297	83	191	39	50	99	27
期待死亡数※2	1416.6	332.7	38.9	49.4	24.7	46.2	27.6	13.2	15.9	252.0	44.1	150.2	18.4	35.5	92.3	31.6
期待死亡数との差	101.4	-10.7	2.1	-0.4	-7.7	1.8	-8.6	-2.2	8.1	45.0	38.9	40.8	20.6	14.5	6.7	-4.6
全国に比べて有意に高い※3	○									○	○	○	○	○		
全国に比べて有意に低い※4							○									

出典：茨城県立健康プラザ「平成29年茨城県市町村別健康指標」

※1 標準化死亡比…標準とする集団（全国）に比べ、どのくらい高いかを示す比率。全国を1とし、その比が1より大きい場合は全国平均よりも死亡率が高く、1より小さい場合は全国平均よりも死亡率が低いことを意味する。

※2 期待死亡数…公衆衛生学上の専門用語で、全国と同じ死亡率なら何人死亡するはずか以下の計算式で求めたもの。

(期待死亡数) = (年齢階層別全国死亡率) × (年齢階層別市町村の人口) の総和

※3、4 有意に…統計学上、偶然ではない(何らかの原因が存在する)可能性が高いと推測されるという意味。



## 2. 過去の取り組みの振り返りと評価

第1期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況を以下に示す。

なお、評価は、5:目標達成、4:改善している、3:横ばい、2:悪化している、1:評価できない、の5段階で評価する。

実施年度	事業名	事業目的	概要
平成27年度から平成29年度	特定健康診査未受診者対策	被保険者の生活習慣病予防	特定健康診査を受診していない人に、生活習慣病の予防の観点から受診するように受診勧奨通知を行う。
平成27年度から平成29年度	特定保健指導事業	被保険者の生活習慣病予防	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話等で行う。方法は厚生労働省による「標準的な健診・保健指導プログラム」に沿うこととする。保険者が特定健康診査受診後、順次、特定保健指導対象者を特定し実施する。
平成27年度から平成29年度	健康異常値放置者受診勧奨事業	健診異常値を放置している対象者の医療機関受診	特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。通知書の内容は、検査値をレーダーチャートでわかりやすく表現し、場合によっては将来の生活習慣病の発症リスク等を記載する。
平成27年度から平成29年度	糖尿病性腎症重症化予防事業	被保険者の糖尿病重症化予防	特定健康診査から対象者を特定し、生活習慣病や検査値が改善されるように、かかりつけ医の指示に従い、専門職による支援指導を行う。
平成27年度から平成29年度	高血圧症重症化予防事業	高血圧症患者の減少	特定健康診査の検査値と高血圧症に関わるレセプト及び日本高血圧学会の高血圧治療ガイドライン2014に基づいて対象者を特定し、かかりつけ医の指示に従い指導する。指導内容は、食事指導・運動指導・服薬管理等とし、指導完了後も自立して正しい生活習慣を持続できるように日常に根付いたものとする。

※1…特定保健指導を実施することにより、指導前と指導後で生活習慣が改善された人数の割合。

※2…受診勧奨を実施することにより、通知後、医療機関を受診した人数の割合。

※3…通知月に医療機関を受診した対象者は含まない。

5:目標達成  
 4:改善している  
 3:横ばい  
 2:悪化している  
 1:評価できない

実施内容	目標値(平成29年度末)	達成状況	評価
<p>【平成27年度】経年3年間の健診未受診者を選定し、未受診の理由を把握し、各階層毎の内容別に応じた受診勧奨を実施する。</p> <p>【平成28年度】継続 平成28年度春の健診未受診者全員に対し、秋の健診前に受診券及び日程表を通知する。</p> <p>【平成29年度】継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者への通知率 100%</li> <li>特定健康診査受診率 平成27年度 50% 平成28年度 55% 平成29年度 60%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者への通知率 100%</li> <li>特定健康診査受診率 平成27年度 38.4% 平成28年度 42.0%</li> </ul>	4
<p>【平成27年度】指導対象者に対して適切な保健指導を行う。</p> <p>【平成28年度】指導対象者に対して適切な保健指導を行う。健診データより検査値の推移を確認する。</p> <p>【平成29年度】継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導対象者の指導実施率 10ポイント向上</li> <li>指導対象者の生活習慣改善率 50%(※1)</li> <li>積極的支援及び動機付け支援対象者数 10%減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的支援対象者数 平成27年度 372人 平成28年度 376人 1.1%増加</li> <li>動機付け支援対象者数 平成27年度 584人 平成28年度 596人 2.1%増加</li> </ul>	4
<p>【平成27年度】健診異常値放置者に医療機関受診勧奨通知を作成し、郵送する。通知後に医療機関受診があるか確認。</p> <p>【平成28年度】健診異常値放置者に医療機関受診勧奨通知を作成し、郵送する。通知後に医療機関受診があるか確認。受診がない対象者にはフォローを行う。</p> <p>【平成29年度】継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者への通知率 100%</li> <li>対象者の医療機関受診率 20%(※2)</li> <li>健診異常値放置者数 20%減少</li> </ul>	平成28年度事業効果報告より 対象者の医療機関受診率 4.0%(15人/371人)(※3)	3
<p>【平成27年度】かかりつけ医の指導確認の下、対象者に対して適切な保健指導を行う。</p> <p>【平成28年度】かかりつけ医の指導確認の下、対象者に対して適切な保健指導を行う。健診、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認。</p> <p>【平成29年度】継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導対象者の指導実施率 20%</li> <li>指導実施完了者の生活習慣改善率 70%</li> <li>指導実施完了者の検査値改善率 70%</li> <li>指導実施完了者の糖尿病性腎症における病期進行者0人</li> </ul>	指導実施完了者の検査値改善率 43.68% ※平成27年度から平成29年度における事業参加者(174人)の検査値(HbA1c)の改善(健診時から教室終了時の改善76人)の割合	4
<p>【平成27年度】かかりつけ医の指導確認の下、対象者に対して適切な保健指導を行う。</p> <p>【平成28年度】かかりつけ医の指導確認の下、対象者に対して適切な保健指導を行う。健診、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認。</p> <p>【平成29年度】継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導対象者の指導実施率 10%</li> <li>指導実施完了者の生活習慣改善率 70%</li> <li>指導実施完了者の検査値改善率 70%</li> <li>指導実施完了者の高血圧症における病期進行者0人</li> </ul>	実施せず	1

実施年度	事業名	事業目的	概要
平成27年度から平成29年度	受診行動適正化指導事業(重複受診、頻回受診、重複服薬)	重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少	レセプトから、医療機関への過度な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、指導する。指導は専門職によるもので、適正な医療機関へのかかり方について、面談指導または電話指導を行う。
平成27年度から平成29年度	ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上	レセプトから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。対象者に通知書を送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。通知書の内容は、先発医薬品からジェネリック医薬品へ切り替えることで、どのくらい薬剤費が軽減できるか、ジェネリック医薬品とは何か等の情報を記載する。

※4…受診行動適正化指導を実施することにより、指導前と指導後で受診行動が適正化された人数の割合。

※5…受診行動適正化指導を実施することにより、指導前と指導後で指導実施完了者の医療費が削減された割合。



5:目標達成  
 4:改善している  
 3:横ばい  
 2:悪化している  
 1:評価できない

実施内容	目標値(平成29年度末)	達成状況	評価
<p>【平成27年度】指導対象者に対して適切な保健指導を行う。</p> <p>【平成28年度】指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に医療機関への受診行動が適正化されているか確認する。</p> <p>【平成29年度】継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導対象者の指導実施率 20%</li> <li>・指導実施完了者の受診行動適正化 50%(※4)</li> <li>・指導実施完了者の医療費を指導実施前より 50%減少(※5)</li> <li>・重複・頻回受診者数、重複服薬者数 20%減少</li> </ul>	<p>受診行動適正化指導対象者数</p> <p>平成26年度 20人</p> <p>平成28年度 8人</p> <p>60.0%減少</p>	5
<p>【平成27年度】年6回、8,000通程度を想定。対象者特定方法や効果検証方法位、実施後の効果を考慮し、継続を検討する。</p> <p>【平成28年度】継続</p> <p>【平成29年度】継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者への通知率 100%</li> <li>・ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)</li> <li>通知開始時平均より 5ポイント向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者への通知率 100%</li> <li>・ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)</li> <li>平成26年度 55.7%</li> <li>平成28年度 67.1%</li> <li>11.4ポイント上昇</li> </ul>	5

### 3. 医療情報分析結果

#### (1) 基礎統計

当医療費統計は、銚田市国民健康保険における、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。被保険者数は平均21,401人、レセプト件数は平均19,183件、患者数は平均9,037人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均44,986円となった。

#### 基礎統計

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	
A	被保険者数(人)	22,094	21,793	21,658	21,578	21,540	21,469	21,443	
B	レセプト件数(件)	入院外	12,042	11,808	12,012	11,890	11,622	11,593	11,827
		入院	305	295	315	295	313	307	321
		調剤	7,453	7,129	7,298	7,199	7,182	7,087	7,247
		合計	19,800	19,232	19,625	19,384	19,117	18,987	19,395
C	医療費(円) ※	413,992,210	399,501,770	421,621,470	409,074,690	413,782,820	409,986,720	416,362,810	
D	患者数(人) ※	9,323	9,122	9,176	9,106	8,979	8,915	9,158	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	18,738	18,332	19,467	18,958	19,210	19,097	19,417	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	20,909	20,773	21,484	21,104	21,645	21,593	21,468	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	44,405	43,795	45,948	44,924	46,083	45,988	45,464	
B/A	受診率(%)	89.6%	88.2%	90.6%	89.8%	88.8%	88.4%	90.4%	
D/A	有病率(%)	42.2%	41.9%	42.4%	42.2%	41.7%	41.5%	42.7%	

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	21,222	21,128	21,036	20,924	20,925	21,401		
B	レセプト件数(件)	入院外	11,663	11,936	11,610	11,336	11,297	11,720	140,636
		入院	282	281	271	296	285	297	3,566
		調剤	7,064	7,212	7,064	6,899	7,158	7,166	85,992
		合計	19,009	19,429	18,945	18,531	18,740	19,183	230,194
C	医療費(円) ※	387,269,400	407,410,390	388,054,580	392,959,680	418,692,140	406,559,057	4,878,708,680	
D	患者数(人) ※	8,970	9,168	8,942	8,861	8,729	9,037	108,449	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	18,248	19,283	18,447	18,780	20,009	18,997		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	20,373	20,969	20,483	21,206	22,342	21,194		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	43,174	44,438	43,397	44,347	47,966	44,986		
B/A	受診率(%)	89.6%	92.0%	90.1%	88.6%	89.6%	89.6%		
D/A	有病率(%)	42.3%	43.4%	42.5%	42.3%	41.7%	42.2%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

平成26年度から平成28年度における、入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし年度別に分析する。平成28年度を平成26年度と比較すると、一カ月平均の被保険者数21,401人は、平成26年度21,458人より57人減少しており、医療費48億7,871万円は平成26年度51億1,240万円より2億3,369万円減少している。また、一カ月平均の患者数9,037人は、平成26年度9,623人より586人減少している。

## 年度別 基礎統計

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
A	一カ月平均の被保険者数(人)	21,458	22,225	21,401	
B	レセプト件数(件)	入院外	148,467	146,899	140,636
		入院	3,809	3,808	3,566
		調剤	90,108	90,762	85,992
		合計	242,384	241,469	230,194
C	医療費(円) ※	5,112,398,080	5,231,228,500	4,878,708,680	
D	一カ月平均の患者数(人) ※	9,623	9,456	9,037	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	238,256	235,380	227,968	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	21,092	21,664	21,194	
D/A	有病率(%)	44.8%	42.5%	42.2%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

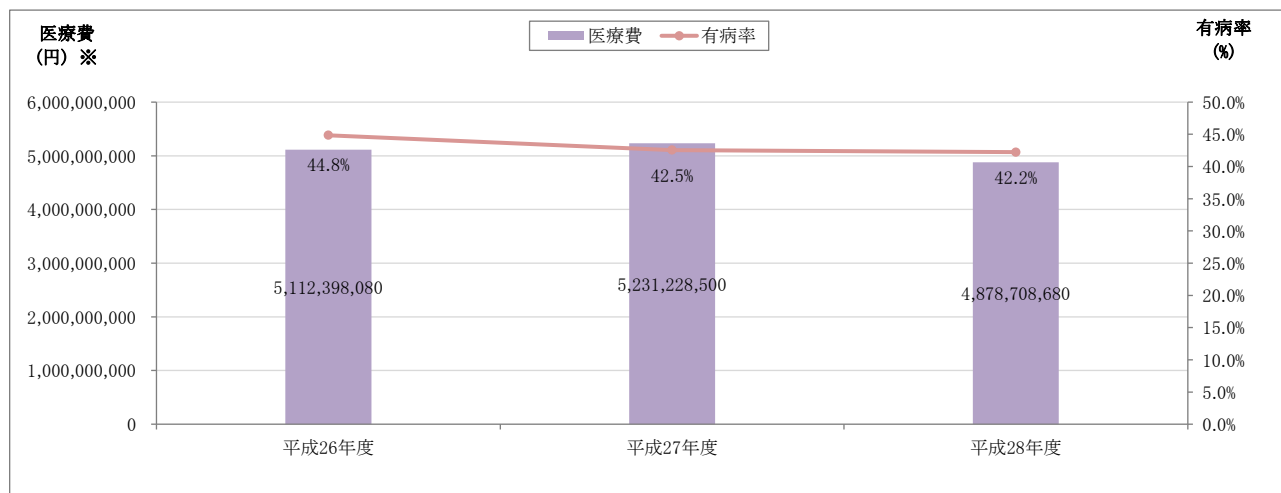
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一カ月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計とは一致しない。

## 年度別 医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

## (2) 高額レセプトの件数及び医療費

### ① 高額レセプトの件数及び割合

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。高額レセプトは1,363件発生しており、レセプト件数全体の0.6%を占める。高額レセプトの医療費は13億9,955万円となり、医療費全体の28.7%を占める。

#### 高額レセプトの件数及び医療費

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月
A	レセプト件数(件)	19,800	19,232	19,625	19,384	19,117	18,987	19,395
B	高額レセプト件数(件)	110	115	120	117	125	120	119
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.7%	0.6%	0.6%
C	医療費(円) ※	413,992,210	399,501,770	421,621,470	409,074,690	413,782,820	409,986,720	416,362,810
D	高額レセプトの医療費(円) ※	112,380,080	113,749,610	125,292,090	118,620,880	118,164,350	120,960,500	122,463,720
E	その他レセプトの医療費(円) ※	301,612,130	285,752,160	296,329,380	290,453,810	295,618,470	289,026,220	293,899,090
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	27.1%	28.5%	29.7%	29.0%	28.6%	29.5%	29.4%

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	19,009	19,429	18,945	18,531	18,740	19,183	230,194
B	高額レセプト件数(件)	100	99	99	117	122	114	1,363
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.5%	0.5%	0.5%	0.6%	0.7%	0.6%	
C	医療費(円) ※	387,269,400	407,410,390	388,054,580	392,959,680	418,692,140	406,559,057	4,878,708,680
D	高額レセプトの医療費(円) ※	100,491,280	109,187,850	104,374,460	122,211,580	131,649,610	116,628,834	1,399,546,010
E	その他レセプトの医療費(円) ※	286,778,120	298,222,540	283,680,120	270,748,100	287,042,530	289,930,223	3,479,162,670
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	25.9%	26.8%	26.9%	31.1%	31.4%	28.7%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

平成26年度から平成28年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示す。平成28年度高額レセプト件数1,363件は平成26年度1,439件より76件減少しており、平成28年度高額レセプトの医療費13億9,955万円は平成26年度14億4,319万円より4,364万円減少している。

### 年度別 高額レセプトの件数及び医療費

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
A	レセプト件数(件)	242,384	241,469	230,194
B	高額レセプト件数(件)	1,439	1,527	1,363
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.6%	0.6%
C	医療費(円) ※	5,112,398,080	5,231,228,500	4,878,708,680
D	高額レセプトの医療費(円) ※	1,443,191,180	1,531,435,450	1,399,546,010
E	その他レセプトの医療費(円) ※	3,669,206,900	3,699,793,050	3,479,162,670
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	28.2%	29.3%	28.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

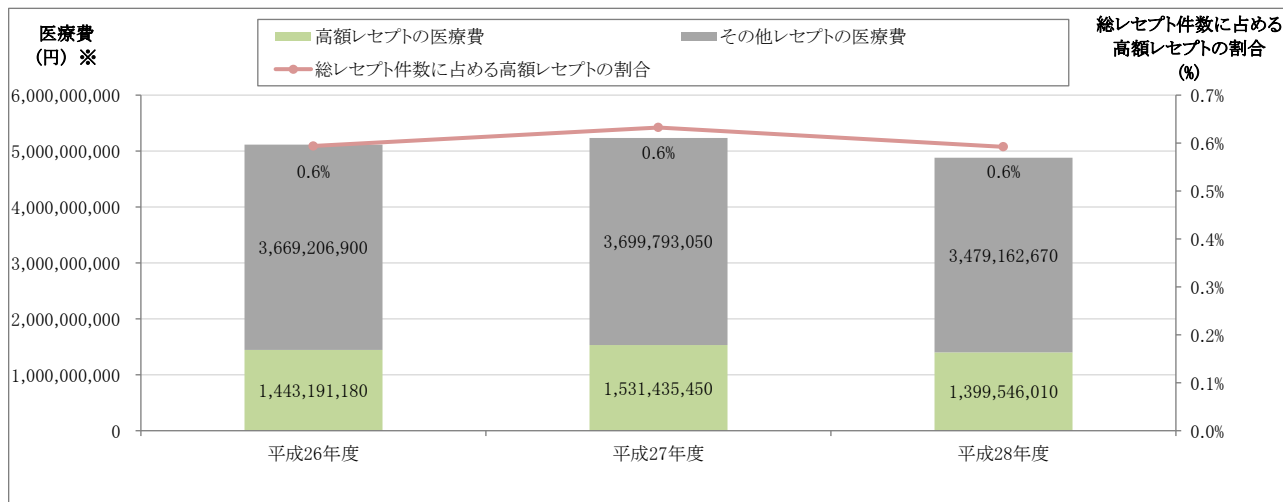
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万円以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万円以上)レセプト以外の医療費。

### 年度別 高額レセプトの医療費及び件数割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

## ②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示す。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群」「アルツハイマー病」「白血病」等となった。

### 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺, 四肢麻痺	4	25,258,750	632,770	25,891,520	6,472,880
2	0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	1	6,078,450	0	6,078,450	6,078,450
3	0209	白血病	慢性骨髄性白血病, 急性骨髄性白血病	3	7,214,490	10,969,920	18,184,410	6,061,470
4	0901	高血圧性疾患	高血圧性うっ血性心不全	1	5,167,100	523,330	5,690,430	5,690,430
5	0208	悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫, パーキットリンパ腫, ホジキンリンパ腫	11	35,274,470	26,802,070	62,076,540	5,643,322
6	0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	輸血後鉄過剰症	1	2,823,200	2,695,640	5,518,840	5,518,840
7	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 慢性腎臓病ステージG5D	20	25,818,480	80,085,740	105,904,220	5,295,211
8	0904	くも膜下出血	中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血, くも膜下出血後遺症	2	9,210,480	50,290	9,260,770	4,630,385
9	0606	その他の神経系の疾患	筋萎縮性側索硬化症, 顔面痙攣, 進行性筋ジストロフィー	12	48,996,420	3,079,790	52,076,210	4,339,684
10	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉肺癌, 下葉肺癌, 上葉肺癌	32	86,861,930	36,755,250	123,617,180	3,863,037
11	1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	腹壁破裂, 動脈管開存症, 白蓋形成不全	5	18,434,890	634,770	19,069,660	3,813,932
12	0807	その他の耳疾患	特発性両側性感音難聴	1	3,610,290	160,560	3,770,850	3,770,850
13	0909	動脈硬化(症)	下肢閉塞性動脈硬化症	1	3,412,940	302,400	3,715,340	3,715,340
14	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 転移性脳腫瘍	60	162,453,500	54,685,780	217,139,280	3,618,988
15	1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	嚥下障害, 失語症, 化学療法に伴う嘔吐症	5	15,765,430	2,225,690	17,991,120	3,598,224
16	1011	その他の呼吸器系の疾患	自然気胸, 慢性呼吸不全, 間質性肺炎	16	46,907,470	10,029,740	56,937,210	3,558,576
17	0908	その他の脳血管疾患	慢性硬膜下血腫, 硬膜動静脈瘻, もやもや病	3	9,867,670	440,970	10,308,640	3,436,213
18	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎	22	726,110	73,928,170	74,654,280	3,393,376
19	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	上行結腸癌, S状結腸癌, 横行結腸癌	22	34,488,670	39,118,540	73,607,210	3,345,782
20	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	発熱性好中球減少症, 播種性血管内凝固, 血友病A	5	1,880,990	14,517,390	16,398,380	3,279,676

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成26年度から平成28年度における、患者一人当たりの医療費上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成26年度	1	0109 その他の感染症及び寄生虫症	敗血症性ショック, ニューモシスチス肺炎, 肺非結核性抗酸菌症	3	10,046,370
	2	0507 その他の精神及び行動の障害	高次脳機能障害	1	8,052,540
	3	0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固, 血友病B, 血友病A	5	7,158,484
	4	0209 白血病	急性骨髄性白血病, 慢性骨髄性白血病, 急性前骨髄球性白血病	8	6,925,999
	5	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺, 四肢麻痺	2	6,635,880
平成27年度	1	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	超低出生体重児, 低出生体重児	2	7,510,770
	2	0501 血管性及び詳細不明の認知症	認知症	1	7,010,620
	3	0106 その他のウイルス性疾患	クロイツフェルト・ヤコブ病, HIV感染症	2	6,516,935
	4	0904 くも膜下出血	中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血, 前大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血	2	6,359,620
	5	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺, 脳性麻痺, 四肢麻痺	5	6,014,912
平成28年度	1	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺, 四肢麻痺	4	6,472,880
	2	0602 アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	1	6,078,450
	3	0209 白血病	慢性骨髄性白血病, 急性骨髄性白血病	3	6,061,470
	4	0901 高血圧性疾患	高血圧性うっ血性心不全	1	5,690,430
	5	0208 悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫, パーキットリンパ腫, ホジキンリンパ腫	11	5,643,322

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の疾病傾向を患者数順に示す。患者数が多い疾病は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「虚血性心疾患」「その他の心疾患」である。

### 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 転移性脳腫瘍	60	162,453,500	54,685,780	217,139,280	3,618,988
2	0902	虚血性心疾患	不安定狭心症, 狭心症, 労作性狭心症	43	79,660,440	18,460,120	98,120,560	2,281,873
3	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全, 発作性心房細動, 心房細動	40	91,247,800	13,886,590	105,134,390	2,628,360
4	1901	骨折	橈骨遠位端骨折, 腰椎破裂骨折, 脛骨遠位端骨折	33	57,245,230	6,572,120	63,817,350	1,933,859
5	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉肺腺癌, 下葉肺癌, 上葉肺腺癌	32	86,861,930	36,755,250	123,617,180	3,863,037
6	0906	脳梗塞	血栓性脳梗塞, 脳梗塞, 心原性脳塞栓症	27	44,230,010	6,898,210	51,128,220	1,893,638
7	1113	その他の消化器系の疾患	癒着性イレウス, 急性虫垂炎, 胆のうポリープ	25	30,882,350	9,589,770	40,472,120	1,618,885
8	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎	22	726,110	73,928,170	74,654,280	3,393,376
8	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	上行結腸癌, S状結腸癌, 横行結腸癌	22	34,488,670	39,118,540	73,607,210	3,345,782
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	網膜前膜, 裂孔原性網膜剥離, 黄斑円孔	21	19,132,480	5,887,820	25,020,300	1,191,443
10	1302	関節症	変形性股関節症, 変形性膝関節症, 一側性原発性股関節症	21	42,985,630	6,463,720	49,449,350	2,354,731
12	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	骨髄異形成症候群, 腎血管筋脂肪腫, 壁内子宮平滑筋腫	20	44,738,700	7,279,670	52,018,370	2,600,919
12	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 頰椎症性脊髄症, 変形性腰椎症	20	33,658,160	5,125,970	38,784,130	1,939,207
12	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 慢性腎臓病ステージG5D	20	25,818,480	80,085,740	105,904,220	5,295,211
15	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	肩腱板断裂, 前十字靭帯断裂, 肩腱板損傷	19	32,310,350	4,183,200	36,493,550	1,920,713
16	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌, 乳房上外側部乳癌, 乳房下内側部乳癌	18	14,124,390	30,552,240	44,676,630	2,482,035
17	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 噴門癌, 幽門前庭部癌	17	35,005,520	20,196,460	55,201,980	3,247,175
18	1011	その他の呼吸器系の疾患	自然気胸, 慢性呼吸不全, 間質性肺炎	16	46,907,470	10,029,740	56,937,210	3,558,576
19	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌, 直腸癌術後再発	12	22,089,780	9,990,060	32,079,840	2,673,320
19	0402	糖尿病	糖尿病, 増殖性糖尿病性網膜症, 増殖性糖尿病性網膜症・2型糖尿病	12	12,195,950	8,017,850	20,213,800	1,684,483

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。



平成26年度から平成28年度における、患者数上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成26年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 腎癌, 多発性骨髄腫	55	3,410,610
	2	1901 骨折	膝蓋骨骨折, 大腿骨転子部骨折, 鎖骨骨折	36	1,740,424
	3	0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫, 骨髄異形成症候群, 脳腫瘍	34	2,466,668
	4	0903 その他の心疾患	心室頻拍, 発作性心房細動, 高度房室ブロック	27	3,211,374
	4	0906 脳梗塞	脳梗塞, 脳幹梗塞, 血栓性脳梗塞	27	1,910,037
	4	1113 その他の消化器系の疾患	急性虫垂炎, 単径ヘルニア, 腹腔内膿瘍	27	1,739,121
平成27年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 卵巣癌, 多発性骨髄腫	61	3,316,110
	2	0902 虚血性心疾患	労作性狭心症, 狭心症, 不安定狭心症	39	2,646,603
	3	1901 骨折	橈骨遠位端骨折, 大腿骨骨幹部骨折, 大腿骨頸部骨折	34	1,659,019
	4	0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 胃癌, 噴門癌	31	2,675,874
	4	0906 脳梗塞	脳梗塞, 血栓性脳梗塞, アテローム血栓性脳梗塞	31	2,747,356
平成28年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 転移性脳腫瘍	60	3,618,988
	2	0902 虚血性心疾患	不安定狭心症, 狭心症, 労作性狭心症	43	2,281,873
	3	0903 その他の心疾患	うっ血性心不全, 発作性心房細動, 心房細動	40	2,628,360
	4	1901 骨折	橈骨遠位端骨折, 腰椎破裂骨折, 脛骨遠位端骨折	33	1,933,859
	5	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉肺癌, 下葉肺癌, 上葉肺癌	32	3,863,037

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

### (3) 疾病別医療費

#### ①大分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「循環器系の疾患」が医療費合計の15.8%、「新生物<腫瘍>」は医療費合計の14.8%と高い割合を占めている。

#### 大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	178,289,933	3.7%	11	19,207	11	5,322	8	33,501	15
II. 新生物<腫瘍>	720,859,609	14.8%	2	17,224	13	4,461	10	161,591	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	42,779,200	0.9%	15	7,082	15	1,784	14	23,979	16
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	466,679,492	9.6%	3	73,978	2	7,860	3	59,374	9
V. 精神及び行動の障害	275,184,842	5.7%	8	18,882	12	1,758	15	156,533	3
VI. 神経系の疾患	242,741,999	5.0%	9	35,331	6	3,610	12	67,242	8
VII. 眼及び付属器の疾患	198,149,135	4.1%	10	23,227	8	5,718	6	34,654	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	26,722,577	0.5%	16	5,591	16	1,343	16	19,898	18
IX. 循環器系の疾患	769,814,809	15.8%	1	82,809	1	7,137	4	107,863	5
X. 呼吸器系の疾患	348,367,581	7.2%	7	49,568	5	9,593	1	36,315	13
X I. 消化器系の疾患 ※	398,151,953	8.2%	5	67,318	3	8,574	2	46,437	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	120,345,358	2.5%	13	24,039	7	5,717	7	21,050	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	401,250,800	8.2%	4	54,728	4	7,105	5	56,474	10
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	349,620,753	7.2%	6	19,345	10	3,436	13	101,752	6
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	18,494,869	0.4%	17	396	20	141	20	131,169	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※	15,018,218	0.3%	18	109	21	51	21	294,475	1
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	14,855,355	0.3%	19	735	18	220	18	67,524	7
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	104,498,878	2.1%	14	22,825	9	5,280	9	19,791	19
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	163,033,036	3.4%	12	10,660	14	3,692	11	44,158	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	8,618,473	0.2%	20	4,694	17	773	17	11,149	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	2,786,250	0.1%	21	660	19	194	19	14,362	20
合計	4,866,263,120			229,055		17,482		278,358	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

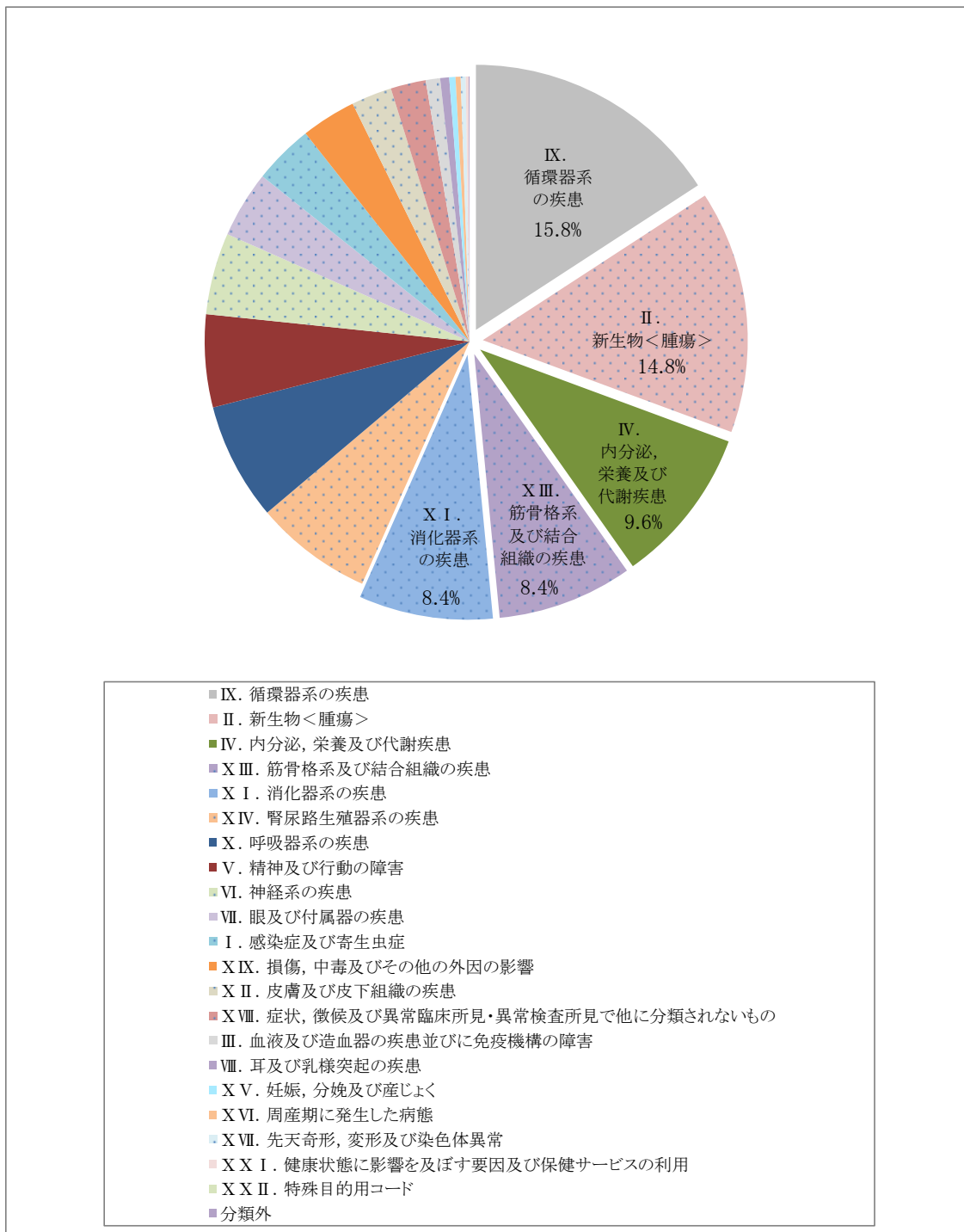
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「循環器系の疾患」「新生物<腫瘍>」「内分泌，栄養及び代謝疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「消化器系の疾患」の医療費で高い割合を占める。

## 疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…菌科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示す。

年度別 大分類による疾病別医療費統計 ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	148,242,630	2.9%	12	242,286,769	4.6%	9	178,289,933	3.7%	11
II. 新生物<腫瘍>	747,695,319	14.7%	2	751,599,921	14.4%	2	720,859,609	14.8%	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	63,013,827	1.2%	15	51,951,600	1.0%	15	42,779,200	0.9%	15
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	489,883,982	9.6%	3	495,655,363	9.5%	3	466,679,492	9.6%	3
V. 精神及び行動の障害	311,445,645	6.1%	8	316,630,456	6.1%	8	275,184,842	5.7%	8
VI. 神経系の疾患	215,796,685	4.2%	9	235,238,928	4.5%	10	242,741,999	5.0%	9
VII. 眼及び付属器の疾患	197,656,208	3.9%	10	197,811,204	3.8%	11	198,149,135	4.1%	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	26,294,868	0.5%	16	25,747,645	0.5%	16	26,722,577	0.5%	16
IX. 循環器系の疾患	818,015,640	16.1%	1	873,332,914	16.7%	1	769,814,809	15.8%	1
X. 呼吸器系の疾患	383,090,410	7.5%	6	377,391,357	7.2%	6	348,367,581	7.2%	7
X I. 消化器系の疾患 ※	417,631,949	8.2%	5	413,914,718	7.9%	4	398,151,953	8.2%	5
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	112,572,498	2.2%	13	118,346,733	2.3%	13	120,345,358	2.5%	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	454,750,917	8.9%	4	410,994,879	7.9%	5	401,250,800	8.2%	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	340,857,323	6.7%	7	375,659,009	7.2%	7	349,620,753	7.2%	6
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	22,875,445	0.4%	17	16,304,643	0.3%	18	18,494,869	0.4%	17
X VI. 周産期に発生した病態 ※	11,995,631	0.2%	20	12,376,503	0.2%	19	15,018,218	0.3%	18
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	15,826,173	0.3%	18	20,025,626	0.4%	17	14,855,355	0.3%	19
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	103,859,854	2.0%	14	101,767,883	2.0%	14	104,498,878	2.1%	14
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	188,598,715	3.7%	11	164,057,540	3.1%	12	163,033,036	3.4%	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	12,127,184	0.2%	19	10,519,020	0.2%	20	8,618,473	0.2%	20
X X II. 特殊目的用コード	5,107	0.0%	22	9,738	0.0%	22	0	0.0%	
分類外	4,627,580	0.1%	21	5,196,051	0.1%	21	2,786,250	0.1%	21
合計	5,086,863,590			5,216,818,500			4,866,263,120		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

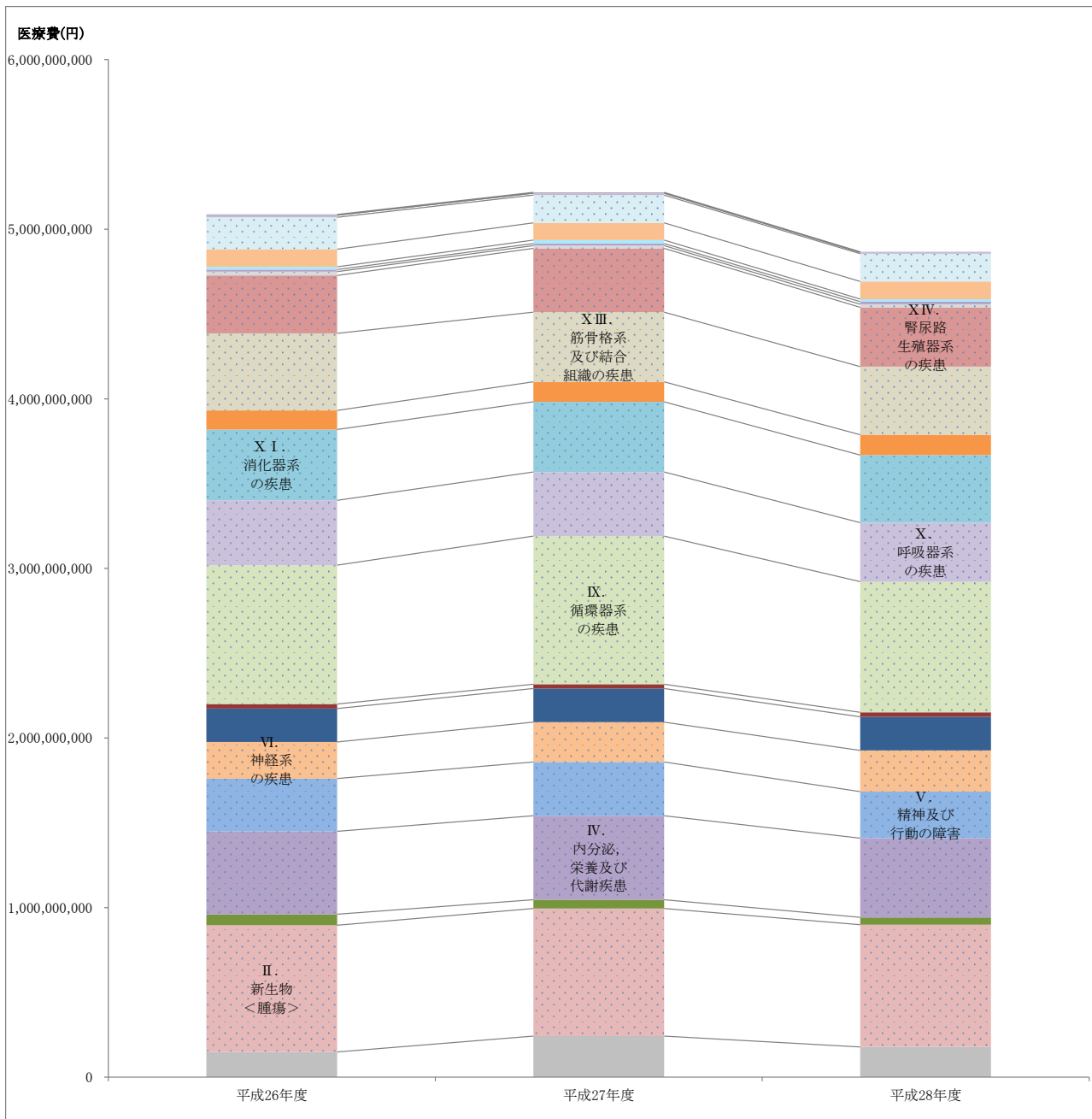
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

# 年度・疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

## ②中分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

### 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0901 高血圧性疾患	291,985,841	6.0%	5,333
2	0402 糖尿病	262,393,432	5.4%	5,427
3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	256,783,798	5.3%	1,746
4	1402 腎不全	236,645,754	4.9%	322
5	1113 その他の消化器系の疾患	199,367,693	4.1%	4,939
6	0903 その他の心疾患	173,499,802	3.6%	2,638
7	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	162,353,389	3.3%	497
8	0606 その他の神経系の疾患	142,076,263	2.9%	3,209
9	0403 脂質異常症	132,536,640	2.7%	3,748
10	0902 虚血性心疾患	127,671,287	2.6%	1,686

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402 糖尿病	262,393,432	5,427	31.0%
2	0901 高血圧性疾患	291,985,841	5,333	30.5%
3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	104,498,878	5,280	30.2%
4	1113 その他の消化器系の疾患	199,367,693	4,939	28.3%
5	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	38,634,786	4,913	28.1%
6	0703 屈折及び調節の障害	18,978,889	4,295	24.6%
7	1105 胃炎及び十二指腸炎	52,939,230	4,264	24.4%
8	1202 皮膚炎及び湿疹	56,273,107	4,203	24.0%
9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	119,982,039	3,903	22.3%
10	0403 脂質異常症	132,536,640	3,748	21.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	1402 腎不全	236,645,754	322	734,925
2	0209 白血病	20,908,958	36	580,804
3	0208 悪性リンパ腫	45,145,597	106	425,902
4	1502 妊娠高血圧症候群	410,370	1	410,370
5	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	29,644,552	82	361,519
6	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	9,175,107	28	327,682
7	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	162,353,389	497	326,667
8	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	51,286,672	221	232,066
9	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	105,479,325	507	208,046
10	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	16,255,315	86	189,015

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人) ※
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	334,184,089	6.6%	5,371
	2	0402 糖尿病	289,359,977	5.7%	5,496
	3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	221,833,765	4.4%	1,680
	4	1113 その他の消化器系の疾患	216,613,532	4.3%	4,845
	5	1402 腎不全	216,570,477	4.3%	327
	6	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	203,341,985	4.0%	544
	7	0903 その他の心疾患	171,288,617	3.4%	2,620
	8	0403 脂質異常症	134,420,812	2.6%	3,642
	9	0606 その他の神経系の疾患	127,302,328	2.5%	3,278
	10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	119,080,506	2.3%	3,907
平成27年度	1	0901 高血圧性疾患	313,374,292	6.0%	5,386
	2	0402 糖尿病	294,347,943	5.6%	5,428
	3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	240,426,969	4.6%	1,736
	4	1402 腎不全	236,112,306	4.5%	325
	5	1113 その他の消化器系の疾患	203,476,073	3.9%	5,039
	6	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	202,417,320	3.9%	518
	7	0903 その他の心疾患	166,678,457	3.2%	2,706
	8	0105 ウイルス性肝炎	133,956,015	2.6%	627
	9	0403 脂質異常症	133,380,230	2.6%	3,750
	10	0606 その他の神経系の疾患	129,503,644	2.5%	3,377
平成28年度	1	0901 高血圧性疾患	291,985,841	6.0%	5,333
	2	0402 糖尿病	262,393,432	5.4%	5,427
	3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	256,783,798	5.3%	1,746
	4	1402 腎不全	236,645,754	4.9%	322
	5	1113 その他の消化器系の疾患	199,367,693	4.1%	4,939
	6	0903 その他の心疾患	173,499,802	3.6%	2,638
	7	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	162,353,389	3.3%	497
	8	0606 その他の神経系の疾患	142,076,263	2.9%	3,209
	9	0403 脂質異常症	132,536,640	2.7%	3,748
	10	0902 虚血性心疾患	127,671,287	2.6%	1,686

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。



患者数上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成26年度	1	0402 糖尿病	289,359,977	5,496	29.6%
	2	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	103,859,854	5,400	29.1%
	3	0901 高血圧性疾患	334,184,089	5,371	29.0%
	4	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	45,127,956	5,313	28.6%
	5	1113 その他の消化器系の疾患	216,613,532	4,845	26.1%
	6	0703 屈折及び調節の障害	19,346,092	4,501	24.3%
	7	1105 胃炎及び十二指腸炎	53,159,066	4,466	24.1%
	8	1202 皮膚炎及び湿疹	54,009,637	4,280	23.1%
	9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	119,080,506	3,907	21.1%
	10	1003 その他の急性上気道感染症	28,544,355	3,667	19.8%
平成27年度	1	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	101,767,883	5,434	29.9%
	2	0402 糖尿病	294,347,943	5,428	29.8%
	3	0901 高血圧性疾患	313,374,292	5,386	29.6%
	4	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	43,200,424	5,159	28.4%
	5	1113 その他の消化器系の疾患	203,476,073	5,039	27.7%
	6	0703 屈折及び調節の障害	18,147,991	4,422	24.3%
	7	1105 胃炎及び十二指腸炎	52,033,926	4,352	23.9%
	8	1202 皮膚炎及び湿疹	57,702,962	4,315	23.7%
	9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	122,724,639	3,929	21.6%
	10	0403 脂質異常症	133,380,230	3,750	20.6%
平成28年度	1	0402 糖尿病	262,393,432	5,427	31.0%
	2	0901 高血圧性疾患	291,985,841	5,333	30.5%
	3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	104,498,878	5,280	30.2%
	4	1113 その他の消化器系の疾患	199,367,693	4,939	28.3%
	5	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	38,634,786	4,913	28.1%
	6	0703 屈折及び調節の障害	18,978,889	4,295	24.6%
	7	1105 胃炎及び十二指腸炎	52,939,230	4,264	24.4%
	8	1202 皮膚炎及び湿疹	56,273,107	4,203	24.0%
	9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	119,982,039	3,903	22.3%
	10	0403 脂質異常症	132,536,640	3,748	21.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者一人当たりの医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)
平成26年度	1	0209 白血病	49,280,551	34	1,449,428
	2	1402 腎不全	216,570,477	327	662,295
	3	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	47,569,932	73	651,643
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	203,341,985	544	373,790
	5	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	8,312,279	25	332,491
	6	0501 血管性及び詳細不明の認知症	6,883,337	22	312,879
	7	0208 悪性リンパ腫	19,231,801	89	216,088
	8	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	40,421,251	208	194,333
	9	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	16,051,334	95	168,961
	10	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	76,761,309	551	139,313
平成27年度	1	0209 白血病	30,737,305	37	830,738
	2	1402 腎不全	236,112,306	325	726,499
	3	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	45,308,745	78	580,881
	4	0501 血管性及び詳細不明の認知症	9,438,188	22	429,009
	5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	202,417,320	518	390,767
	6	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	9,901,660	30	330,055
	7	0208 悪性リンパ腫	28,474,644	91	312,908
	8	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	55,729,791	232	240,215
	9	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	22,121,893	103	214,776
	10	0105 ウイルス性肝炎	133,956,015	627	213,646
平成28年度	1	1402 腎不全	236,645,754	322	734,925
	2	0209 白血病	20,908,958	36	580,804
	3	0208 悪性リンパ腫	45,145,597	106	425,902
	4	1502 妊娠高血圧症候群	410,370	1	410,370
	5	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	29,644,552	82	361,519
	6	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	9,175,107	28	327,682
	7	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	162,353,389	497	326,667
	8	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	51,286,672	221	232,066
	9	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	105,479,325	507	208,046
	10	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	16,255,315	86	189,015

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	4,866,263,120	229,055	17,482

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
<b>I. 感染症及び寄生虫症</b>	178,289,933	3.7%		19,207	8.4%		5,322	30.4%		33,501	
0101 腸管感染症	11,359,013	0.2%	79	4,342	1.9%	48	1,779	10.2%	27	6,385	113
0102 結核	1,536,977	0.0%	109	310	0.1%	104	135	0.8%	96	11,385	101
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	2,710,250	0.1%	102	891	0.4%	87	457	2.6%	69	5,931	115
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	14,409,685	0.3%	72	2,893	1.3%	58	936	5.4%	46	15,395	88
0105 ウイルス性肝炎	90,961,533	1.9%	14	2,929	1.3%	57	714	4.1%	55	127,397	15
0106 その他のウイルス性疾患	10,146,787	0.2%	81	630	0.3%	93	331	1.9%	76	30,655	56
0107 真菌症	21,001,149	0.4%	56	4,704	2.1%	42	1,272	7.3%	36	16,510	83
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	193,404	0.0%	117	64	0.0%	113	15	0.1%	117	12,894	94
0109 その他の感染症及び寄生虫症	25,971,135	0.5%	46	4,515	2.0%	46	1,547	8.8%	33	16,788	81
<b>II. 新生物&lt;腫瘍&gt;</b>	720,859,609	14.8%		17,224	7.5%		4,461	25.5%		161,591	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	56,794,990	1.2%	27	2,498	1.1%	61	906	5.2%	47	62,688	30
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	64,367,843	1.3%	24	2,362	1.0%	65	854	4.9%	49	75,372	26
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	29,644,552	0.6%	44	506	0.2%	97	82	0.5%	104	361,519	5
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	8,066,744	0.2%	86	904	0.4%	86	324	1.9%	79	24,897	62
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	105,479,325	2.2%	12	1,610	0.7%	72	507	2.9%	65	208,046	9
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	51,286,672	1.1%	33	1,161	0.5%	80	221	1.3%	88	232,066	8
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	14,715,377	0.3%	70	733	0.3%	91	264	1.5%	85	55,740	32
0208 悪性リンパ腫	45,145,597	0.9%	37	535	0.2%	96	106	0.6%	101	425,902	3
0209 白血病	20,908,958	0.4%	57	236	0.1%	108	36	0.2%	110	580,804	2
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	256,783,798	5.3%	3	6,356	2.8%	37	1,746	10.0%	28	147,070	12
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	67,665,753	1.4%	22	4,880	2.1%	41	1,994	11.4%	25	33,935	50
<b>III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害</b>	42,779,200	0.9%		7,082	3.1%		1,784	10.2%		23,979	
0301 貧血	17,748,181	0.4%	60	4,404	1.9%	47	1,020	5.8%	43	17,400	79
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	25,031,019	0.5%	48	3,114	1.4%	54	1,021	5.8%	42	24,516	63
<b>IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患</b>	466,679,492	9.6%		73,978	32.3%		7,860	45.0%		59,374	
0401 甲状腺障害	22,113,266	0.5%	54	5,073	2.2%	40	1,214	6.9%	38	18,215	75
0402 糖尿病	262,393,432	5.4%	2	40,186	17.5%	4	5,427	31.0%	1	48,350	37
0403 脂質異常症	132,536,640	2.7%	9	42,073	18.4%	2	3,748	21.4%	10	35,362	48
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	49,636,154	1.0%	34	13,417	5.9%	17	2,386	13.6%	23	20,803	70
<b>V. 精神及び行動の障害</b>	275,184,842	5.7%		18,882	8.2%		1,758	10.1%		156,533	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	2,473,671	0.1%	104	87	0.0%	112	30	0.2%	114	82,456	22
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	6,169,865	0.1%	91	488	0.2%	98	81	0.5%	105	76,171	24
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	162,353,389	3.3%	7	7,013	3.1%	35	497	2.8%	67	326,667	7

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	4,866,263,120	229,055	17,482

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	56,652,639	1.2%	28	7,964	3.5%	31	632	3.6%	60	89,640	20
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	22,629,926	0.5%	52	8,909	3.9%	28	950	5.4%	45	23,821	66
0506	知的障害<精神遅滞>	1,933,637	0.0%	106	91	0.0%	111	42	0.2%	109	46,039	39
0507	その他の精神及び行動の障害	22,971,715	0.5%	51	1,329	0.6%	79	192	1.1%	90	119,644	16
VI. 神経系の疾患		242,741,999	5.0%		35,331	15.4%		3,610	20.6%		67,242	
0601	パーキンソン病	24,144,112	0.5%	50	2,251	1.0%	66	177	1.0%	93	136,407	13
0602	アルツハイマー病	13,638,127	0.3%	74	937	0.4%	85	121	0.7%	99	112,712	17
0603	てんかん	45,429,297	0.9%	36	4,692	2.0%	43	415	2.4%	72	109,468	18
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	16,255,315	0.3%	64	471	0.2%	99	86	0.5%	103	189,015	10
0605	自律神経系の障害	1,198,885	0.0%	111	1,076	0.5%	83	130	0.7%	97	9,222	106
0606	その他の神経系の疾患	142,076,263	2.9%	8	30,355	13.3%	5	3,209	18.4%	13	44,274	41
VII. 眼及び付属器の疾患		198,149,135	4.1%		23,227	10.1%		5,718	32.7%		34,654	
0701	結膜炎	17,537,947	0.4%	61	8,969	3.9%	27	2,581	14.8%	21	6,795	111
0702	白内障	41,650,260	0.9%	38	8,181	3.6%	30	1,551	8.9%	32	26,854	58
0703	屈折及び調節の障害	18,978,889	0.4%	58	16,524	7.2%	11	4,295	24.6%	6	4,419	119
0704	その他の眼及び付属器の疾患	119,982,039	2.5%	11	16,492	7.2%	12	3,903	22.3%	9	30,741	55
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		26,722,577	0.5%		5,591	2.4%		1,343	7.7%		19,898	
0801	外耳炎	1,614,582	0.0%	108	769	0.3%	90	306	1.8%	81	5,276	117
0802	その他の外耳疾患	1,094,562	0.0%	112	552	0.2%	95	291	1.7%	82	3,761	120
0803	中耳炎	4,707,302	0.1%	96	1,374	0.6%	78	372	2.1%	73	12,654	95
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	3,677,441	0.1%	99	1,391	0.6%	77	240	1.4%	87	15,323	89
0805	メニエール病	2,978,852	0.1%	100	1,110	0.5%	81	182	1.0%	92	16,367	84
0806	その他の内耳疾患	1,323,160	0.0%	110	259	0.1%	106	80	0.5%	106	16,540	82
0807	その他の耳疾患	11,326,678	0.2%	80	2,441	1.1%	64	607	3.5%	61	18,660	74
IX. 循環器系の疾患		769,814,809	15.8%		82,809	36.2%		7,137	40.8%		107,863	
0901	高血圧性疾患	291,985,841	6.0%	1	70,685	30.9%	1	5,333	30.5%	2	54,751	33
0902	虚血性心疾患	127,671,287	2.6%	10	12,897	5.6%	19	1,686	9.6%	30	75,724	25
0903	その他の心疾患	173,499,802	3.6%	6	16,725	7.3%	9	2,638	15.1%	19	65,769	28
0904	くも膜下出血	5,601,522	0.1%	93	230	0.1%	109	91	0.5%	102	61,555	31
0905	脳内出血	18,528,723	0.4%	59	807	0.4%	88	285	1.6%	83	65,013	29
0906	脳梗塞	85,509,602	1.8%	15	9,328	4.1%	25	1,278	7.3%	35	66,909	27
0907	脳動脈硬化(症)	133,804	0.0%	118	27	0.0%	118	15	0.1%	117	8,920	107
0908	その他の脳血管疾患	21,037,222	0.4%	55	2,660	1.2%	60	658	3.8%	58	31,971	53
0909	動脈硬化(症)	9,841,210	0.2%	82	2,701	1.2%	59	501	2.9%	66	19,643	73
0911	低血圧(症)	472,392	0.0%	115	252	0.1%	107	36	0.2%	110	13,122	92
0912	その他の循環器系の疾患	35,533,404	0.7%	40	4,301	1.9%	49	876	5.0%	48	40,563	43
X. 呼吸器系の疾患		348,367,581	7.2%		49,568	21.6%		9,593	54.9%		36,315	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	4,389,095	0.1%	97	2,492	1.1%	62	1,173	6.7%	40	3,742	121
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	15,400,104	0.3%	68	6,784	3.0%	36	2,969	17.0%	15	5,187	118
1003	その他の急性上気道感染症	24,562,869	0.5%	49	10,515	4.6%	23	3,605	20.6%	12	6,814	110

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	4,866,263,120	229,055	17,482

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004	肺炎	25,646,529	0.5%	47	2,043	0.9%	68	814	4.7%	50	31,507	54
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	38,634,786	0.8%	39	15,354	6.7%	15	4,913	28.1%	5	7,864	109
1006	アレルギー性鼻炎	47,283,358	1.0%	35	16,234	7.1%	13	3,655	20.9%	11	12,937	93
1007	慢性副鼻腔炎	9,507,228	0.2%	83	3,431	1.5%	51	607	3.5%	61	15,663	87
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	4,324,854	0.1%	98	1,729	0.8%	71	660	3.8%	57	6,553	112
1009	慢性閉塞性肺疾患	22,566,653	0.5%	53	5,093	2.2%	39	758	4.3%	53	29,771	57
1010	喘息	74,517,025	1.5%	18	13,293	5.8%	18	2,314	13.2%	24	32,203	52
1011	その他の呼吸器系の疾患	81,535,080	1.7%	16	8,400	3.7%	29	3,157	18.1%	14	25,827	60
X I . 消化器系の疾患		398,151,953	8.2%		67,318	29.4%		8,574	49.0%		46,437	
1101	う蝕 ※	10,450	0.0%	123	5	0.0%	122	4	0.0%	122	2,613	123
1102	歯肉炎及び歯周疾患	29,565	0.0%	122	18	0.0%	119	9	0.1%	120	3,285	122
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	91,066	0.0%	119	31	0.0%	117	17	0.1%	116	5,357	116
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	67,306,341	1.4%	23	23,090	10.1%	7	2,915	16.7%	16	23,090	68
1105	胃炎及び十二指腸炎	52,939,230	1.1%	30	23,110	10.1%	6	4,264	24.4%	7	12,415	97
1106	痔核	6,461,060	0.1%	89	1,608	0.7%	73	359	2.1%	74	17,997	78
1107	アルコール性肝疾患	2,589,781	0.1%	103	464	0.2%	100	64	0.4%	107	40,465	44
1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	6,836,069	0.1%	87	1,421	0.6%	75	257	1.5%	86	26,599	59
1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	6,237,036	0.1%	90	1,414	0.6%	76	267	1.5%	84	23,360	67
1110	その他の肝疾患	15,791,171	0.3%	66	4,590	2.0%	45	1,452	8.3%	34	10,875	105
1111	胆石症及び胆のう炎	27,813,844	0.6%	45	3,061	1.3%	55	647	3.7%	59	42,989	42
1112	膵疾患	12,678,647	0.3%	76	1,025	0.4%	84	340	1.9%	75	37,290	47
1113	その他の消化器系の疾患	199,367,693	4.1%	5	40,790	17.8%	3	4,939	28.3%	4	40,366	45
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		120,345,358	2.5%		24,039	10.5%		5,717	32.7%		21,050	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	11,558,789	0.2%	78	2,489	1.1%	63	979	5.6%	44	11,807	100
1202	皮膚炎及び湿疹	56,273,107	1.2%	29	16,635	7.3%	10	4,203	24.0%	8	13,389	91
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	52,513,462	1.1%	31	11,288	4.9%	21	2,888	16.5%	17	18,183	76
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		401,250,800	8.2%		54,728	23.9%		7,105	40.6%		56,474	
1301	炎症性多発性関節障害	62,859,530	1.3%	25	9,238	4.0%	26	1,247	7.1%	37	50,409	36
1302	関節症	72,970,100	1.5%	19	11,516	5.0%	20	1,643	9.4%	31	44,413	40
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	74,676,618	1.5%	17	14,189	6.2%	16	1,940	11.1%	26	38,493	46
1304	椎間板障害	17,271,312	0.4%	62	3,125	1.4%	53	713	4.1%	56	24,223	65
1305	頸腕症候群	6,504,321	0.1%	88	3,809	1.7%	50	582	3.3%	64	11,176	104
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	32,285,999	0.7%	41	15,629	6.8%	14	2,589	14.8%	20	12,470	96
1307	その他の脊柱障害	12,058,927	0.2%	77	2,090	0.9%	67	494	2.8%	68	24,411	64
1308	肩の傷害<損傷>	14,523,842	0.3%	71	7,470	3.3%	33	1,194	6.8%	39	12,164	99
1309	骨の密度及び構造の障害	56,803,344	1.2%	26	10,028	4.4%	24	1,106	6.3%	41	51,359	34
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	51,296,807	1.1%	32	10,978	4.8%	22	2,435	13.9%	22	21,066	69

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	4,866,263,120	229,055	17,482

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	349,620,753	7.2%		19,345	8.4%		3,436	19.7%		101,752	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	14,808,656	0.3%	69	1,860	0.8%	69	429	2.5%	70	34,519	49
1402 腎不全	236,645,754	4.9%	4	3,162	1.4%	52	322	1.8%	80	734,925	1
1403 尿路結石症	15,806,642	0.3%	65	1,084	0.5%	82	328	1.9%	78	48,191	38
1404 その他の腎尿路系の疾患	30,965,530	0.6%	42	7,757	3.4%	32	1,714	9.8%	29	18,066	77
1405 前立腺肥大(症)	30,404,119	0.6%	43	5,381	2.3%	38	595	3.4%	63	51,099	35
1406 その他の男性生殖器系の疾患	2,387,409	0.0%	105	400	0.2%	101	121	0.7%	99	19,731	72
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	5,387,021	0.1%	94	1,537	0.7%	74	330	1.9%	77	16,324	85
1408 乳房及びその他の女性生殖器系の疾患	13,215,622	0.3%	75	1,814	0.8%	70	777	4.4%	52	17,009	80
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	18,494,869	0.4%		396	0.2%		141	0.8%		131,169	
1501 流産	1,047,240	0.0%	113	54	0.0%	116	31	0.2%	113	33,782	51
1502 妊娠高血圧症候群	410,370	0.0%	116	2	0.0%	123	1	0.0%	123	410,370	4
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	17,037,259	0.4%	63	361	0.2%	103	126	0.7%	98	135,216	14
XVI. 周産期に発生した病態	15,018,218	0.3%		109	0.0%		51	0.3%		294,475	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	9,175,107	0.2%	84	60	0.0%	114	28	0.2%	115	327,682	6
1602 その他の周産期に発生した病態	5,843,111	0.1%	92	59	0.0%	115	32	0.2%	112	182,597	11
XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	14,855,355	0.3%		735	0.3%		220	1.3%		67,524	
1701 心臓の先天奇形	693,518	0.0%	114	164	0.1%	110	44	0.3%	108	15,762	86
1702 その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	14,161,837	0.3%	73	618	0.3%	94	185	1.1%	91	76,550	23
XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	104,498,878	2.1%		22,825	10.0%		5,280	30.2%		19,791	
1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	104,498,878	2.1%	13	22,825	10.0%	8	5,280	30.2%	3	19,791	71
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	163,033,036	3.4%		10,660	4.7%		3,692	21.1%		44,158	
1901 骨折	67,911,389	1.4%	21	2,936	1.3%	56	812	4.6%	51	83,635	21
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	15,649,314	0.3%	67	303	0.1%	105	159	0.9%	94	98,423	19
1903 熱傷及び腐食	1,803,272	0.0%	107	370	0.2%	102	148	0.8%	95	12,184	98
1904 中毒	4,716,717	0.1%	95	771	0.3%	89	422	2.4%	71	11,177	103
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	72,952,344	1.5%	20	7,370	3.2%	34	2,888	16.5%	17	25,261	61
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	8,618,473	0.2%		4,694	2.0%		773	4.4%		11,149	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	41,557	0.0%	121	8	0.0%	121	5	0.0%	121	8,311	108
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	67,733	0.0%	120	13	0.0%	120	11	0.1%	119	6,158	114
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	4,866,263,120	229,055	17,482

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを除外)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	730	0.0%	124	1	0.0%	124	1	0.0%	123	730	124
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	8,508,453	0.2%	85	4,672	2.0%	44	757	4.3%	54	11,240	102
XXII. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		2,786,250	0.1%		660	0.3%		194	1.1%		14,362	
9999	分類外	2,786,250	0.1%	101	660	0.3%	92	194	1.1%	89	14,362	90

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

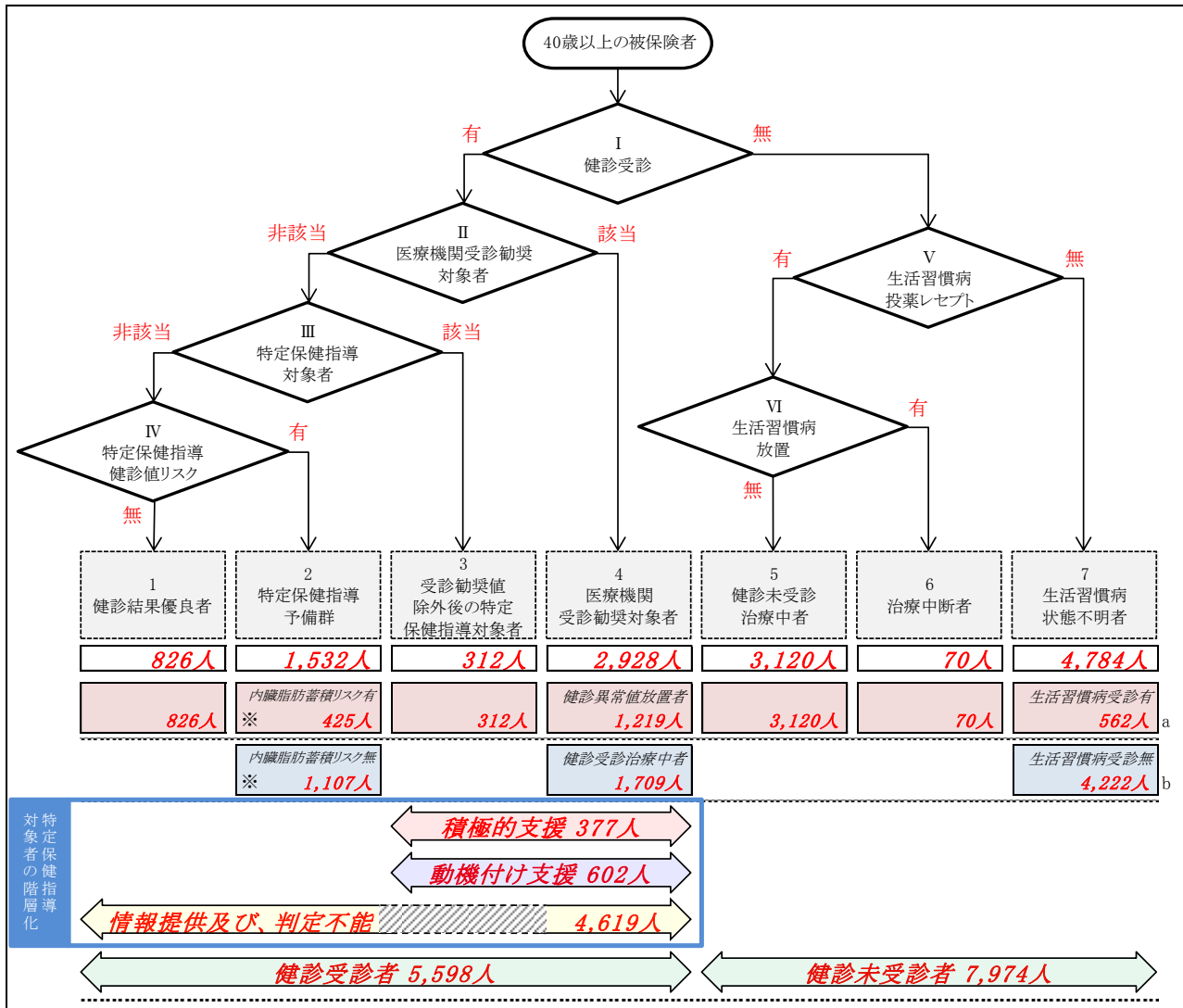
# 4. 保健事業実施に係る分析結果

## (1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。  
 資格確認日…平成29年3月31日時点。  
 各フローの詳細については巻末資料「1. 指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。  
 ※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。



## (2) 特定健康診査に係る分析

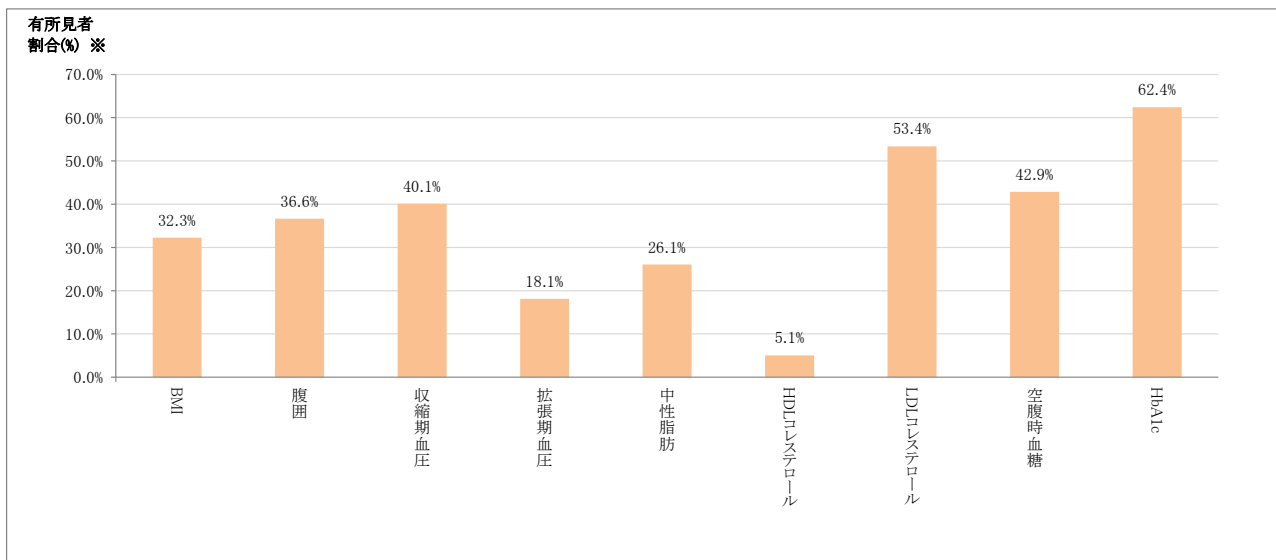
特定健康診査受診者の有所見者割合及び質問票への質問別回答状況を以下に示す。

### 有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	5,598	5,598	5,598	5,598
有所見者数(人) ※	1,807	2,051	2,245	1,015
有所見者割合(%) ※	32.3%	36.6%	40.1%	18.1%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	5,598	5,598	5,598	35	5,589
有所見者数(人) ※	1,459	283	2,988	15	3,490
有所見者割合(%) ※	26.1%	5.1%	53.4%	42.9%	62.4%

### 有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、

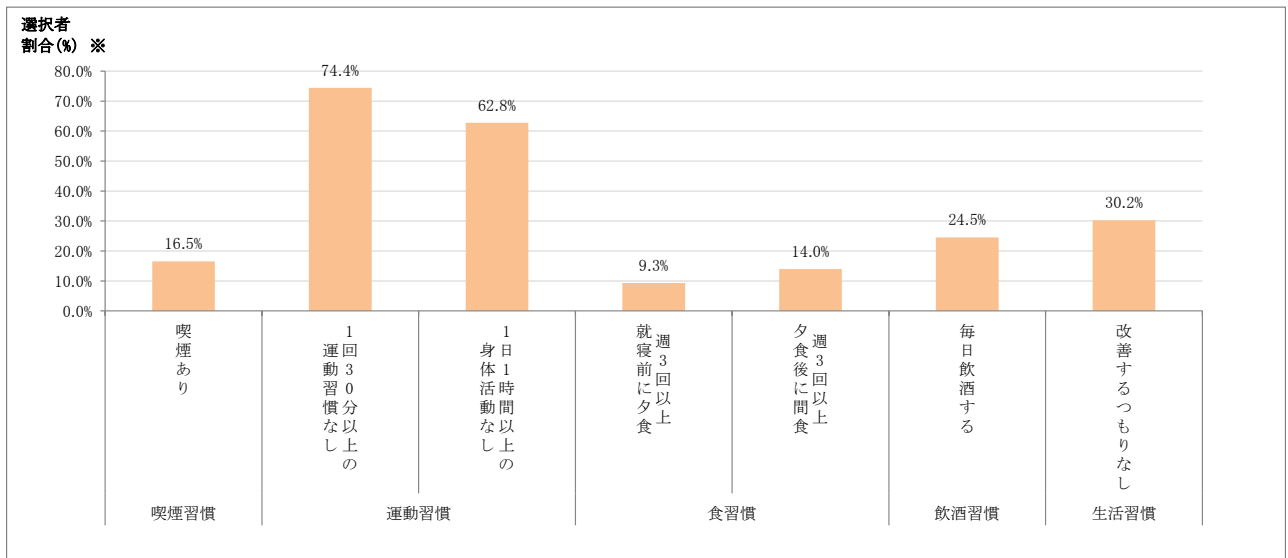
空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

## 質問別回答状況

質問の選択肢	喫煙習慣	運動習慣	
	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし
質問回答者数(人) ※	5,598	43	43
選択者数(人) ※	925	32	27
選択者割合(%) ※	16.5%	74.4%	62.8%

質問の選択肢	食習慣		飲酒習慣	生活習慣
	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	43	43	5,598	43
選択者数(人) ※	4	6	1,371	13
選択者割合(%) ※	9.3%	14.0%	24.5%	30.2%

## 質問別回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

### 質問回答内容

- 喫煙あり …「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 週3回以上就寝前に夕食 …「夕食前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 週3回以上夕食後に間食 …「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 毎日飲酒する …「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 改善するつもりなし …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

平成26年度から平成28年度における、特定健康診査受診者の有所見者割合を年度別・男女別に示す。

### 年度別 有所見者割合

		男性			女性		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
BMI	対象者数(人) ※	2,470	2,504	2,607	2,795	2,816	2,991
	有所見者数(人) ※	909	955	978	766	790	829
	有所見者割合(%) ※	36.8%	38.1%	37.5%	27.4%	28.1%	27.7%
腹囲	対象者数(人) ※	2,470	2,504	2,607	2,795	2,816	2,991
	有所見者数(人) ※	1,343	1,380	1,447	537	564	604
	有所見者割合(%) ※	54.4%	55.1%	55.5%	19.2%	20.0%	20.2%
収縮期血圧	対象者数(人) ※	2,470	2,504	2,607	2,795	2,816	2,991
	有所見者数(人) ※	1,091	1,078	1,127	913	944	1,118
	有所見者割合(%) ※	44.2%	43.1%	43.2%	32.7%	33.5%	37.4%
拡張期血圧	対象者数(人) ※	2,470	2,504	2,607	2,795	2,816	2,991
	有所見者数(人) ※	545	532	621	358	348	394
	有所見者割合(%) ※	22.1%	21.2%	23.8%	12.8%	12.4%	13.2%
中性脂肪	対象者数(人) ※	2,470	2,504	2,607	2,795	2,816	2,991
	有所見者数(人) ※	804	850	862	512	536	597
	有所見者割合(%) ※	32.6%	33.9%	33.1%	18.3%	19.0%	20.0%
HDLコレステロール	対象者数(人) ※	2,470	2,504	2,607	2,795	2,816	2,991
	有所見者数(人) ※	217	220	236	41	42	47
	有所見者割合(%) ※	8.8%	8.8%	9.1%	1.5%	1.5%	1.6%
LDLコレステロール	対象者数(人) ※	2,470	2,504	2,607	2,795	2,816	2,991
	有所見者数(人) ※	1,287	1,350	1,294	1,624	1,746	1,694
	有所見者割合(%) ※	52.1%	53.9%	49.6%	58.1%	62.0%	56.6%
空腹時血糖	対象者数(人) ※	18	9	19	26	15	16
	有所見者数(人) ※	9	7	9	10	3	6
	有所見者割合(%) ※	50.0%	77.8%	47.4%	38.5%	20.0%	37.5%
HbA1c	対象者数(人) ※	2,462	2,502	2,601	2,779	2,806	2,988
	有所見者数(人) ※	1,577	1,511	1,588	1,878	1,750	1,902
	有所見者割合(%) ※	64.1%	60.4%	61.1%	67.6%	62.4%	63.7%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

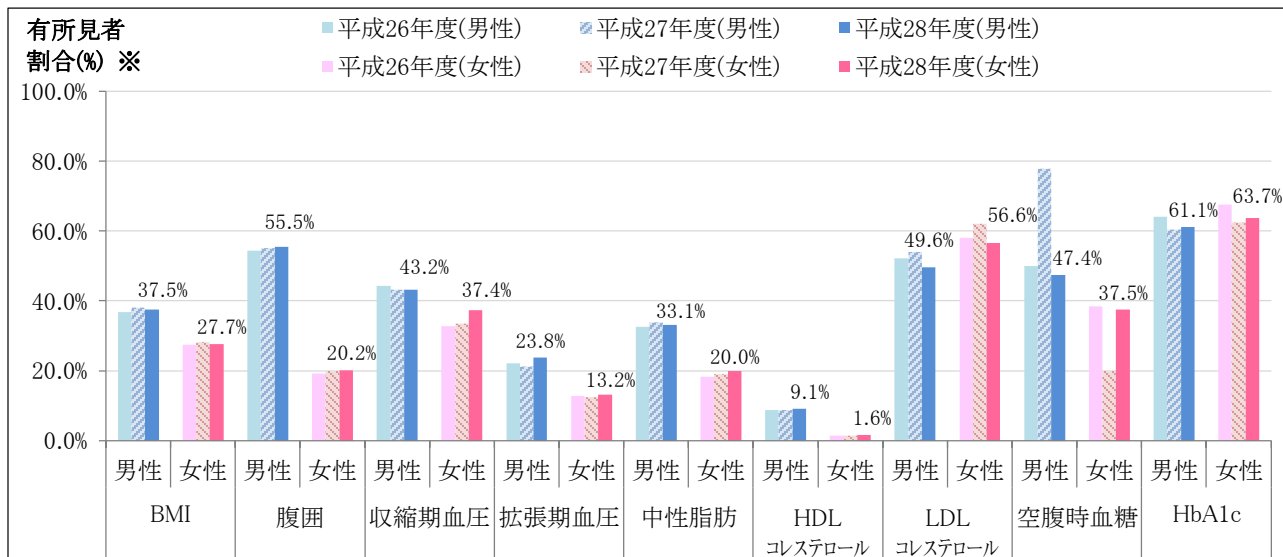
保健指導判定値

BMI:25以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、LDLコレステロール:120mg/dl以上、

空腹時血糖値:100mg/dl以上、HbA1c:5.6%以上

## 年度別 有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、

空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

### (3) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は979人である。このうち、積極的支援の対象者は377人、動機付け支援の対象者は602人である。

#### 特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			979人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	27人	377人 39%
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	64人	
	●	●		●		血糖+血圧+喫煙	12人	
	●		●	●		血糖+脂質+喫煙	30人	
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	23人	
	●	●			因子数2	血糖+血圧	69人	
	●		●			血糖+脂質	52人	
	●	●	●			血圧+脂質	31人	
		●		●		血糖+喫煙	19人	
			●	●		血圧+喫煙	15人	
				●	脂質+喫煙	35人		
					因子数1	血糖	0人	
		●				血圧	0人	
		●		脂質		0人		
			●	喫煙		0人		
				因子数0	なし	0人		
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	13人	602人 61%
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	61人	
	●	●		●		血糖+血圧+喫煙	13人	
	●		●	●		血糖+脂質+喫煙	8人	
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	5人	
	●	●			因子数2	血糖+血圧	103人	
	●		●			血糖+脂質	53人	
	●	●	●			血圧+脂質	15人	
		●		●		血糖+喫煙	17人	
			●	●		血圧+喫煙	3人	
				●	脂質+喫煙	5人		
					因子数1	血糖	174人	
		●				血圧	84人	
		●		脂質		48人		
			●	喫煙		0人		
				因子数0	なし	0人		

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

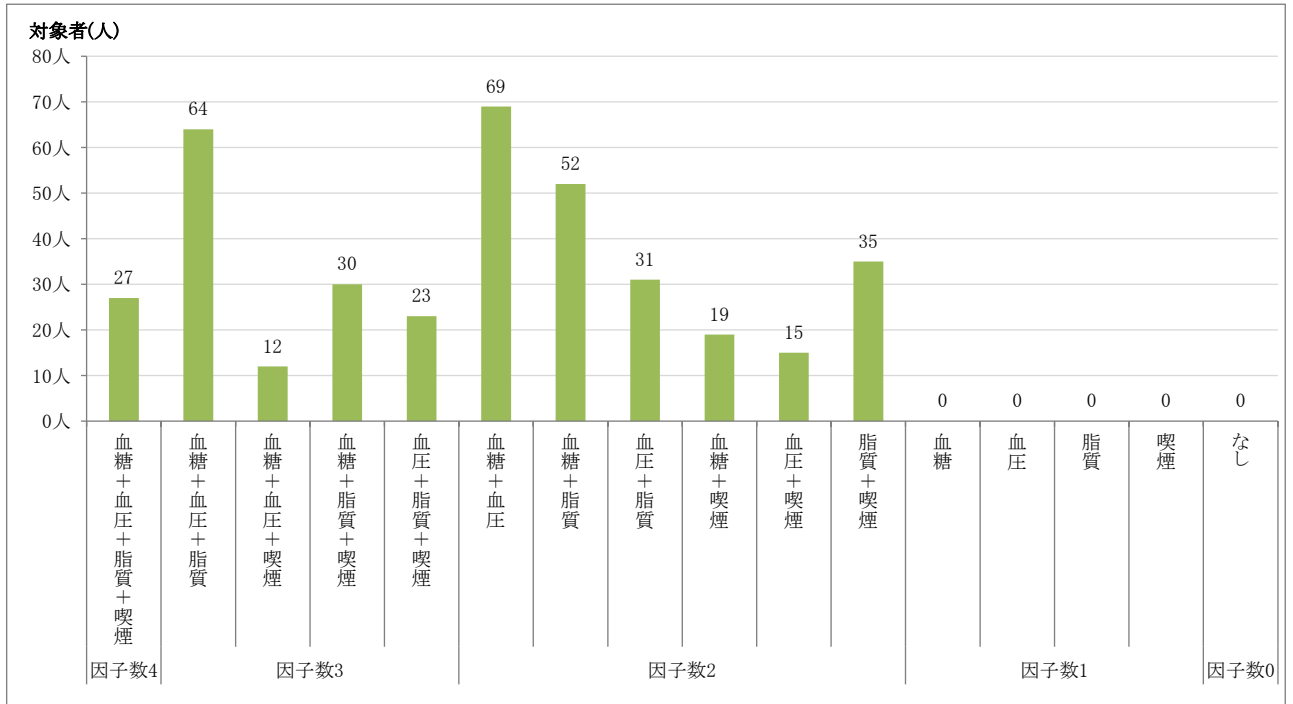
資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。

リスク判定の詳細は以下の通りとする。

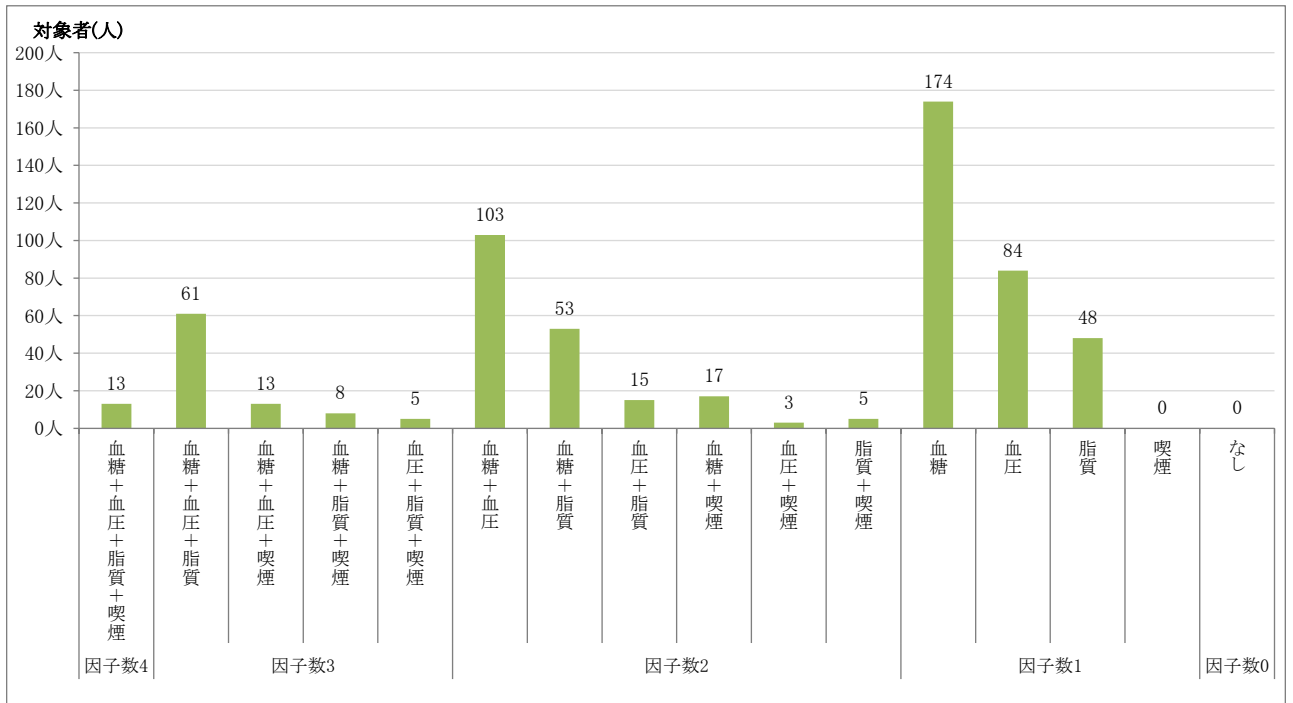
- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

## 積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

## 動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

#### (4) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。これらの対象者をレセプトにより見極める。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する1,219人が健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

#### 条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
・健診異常値放置者 …健診受診後、4カ月以上医療機関へ受診していない人 厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする	
条件設定により対象となった候補者数	1,219 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるためである。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

#### 除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定	
除外理由別人数	
除外	がん、難病等
	274 人
↓	
除外患者を除いた候補者数	
	945 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者945人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。健診異常値放置受診勧奨対象者の判定は、厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を特定する。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者はすべてが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

### 優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ.優先順位			
←良 効率 悪→			
	喫煙	非喫煙	
↑高	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A  3人	候補者C  11人
効果	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B  34人	候補者D  138人
低↓	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E  161人	候補者F  598人
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数		945人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。



## (5) 生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病は一度発症すると治癒することは少ないため病状の維持が重要となる。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められる。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがある。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性がある。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において治療中断が発生している患者109人が対象となる。

### 条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I. 条件設定による指導対象者の特定		
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	候補者人数 <b>70 人</b>
	上記以外のグループ	<b>39 人</b>
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		<b>109 人</b>

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、生活習慣病の治療を意図的に中止している可能性も考えられる。合わせて指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

### 除外設定(生活習慣病治療中断者)

II. 除外設定		
除外	がん、難病等	除外理由別人数 <b>2 人</b>
	↓	
除外患者を除き、候補者となった患者数		<b>107 人</b>

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者107人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。生活習慣病治療中断者の判定は、過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を特定する。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先とした。

### 優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ.優先順位			
	毎月受診	2～3カ月に1度受診	4カ月以上に一度の定期受診
↑高 効果 ↓低	生活習慣病有病数 3つ 候補者A1 <b>1 人</b>	候補者A2 <b>4 人</b>	候補者A3 <b>2 人</b>
	生活習慣病有病数 2つ 候補者B1 <b>3 人</b>	候補者B2 <b>12 人</b>	候補者B3 <b>2 人</b>
	生活習慣病有病数 1つ 候補者C1 <b>13 人</b>	候補者C2 <b>41 人</b>	候補者C3 <b>29 人</b>
効果が高く効率の良い候補者A1～候補者C3の患者数			<b>107 人</b>

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

## (6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、71.0%が生活習慣を起因とするものであり、その71.0%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	61
腹膜透析のみ	1
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	62

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

## 透析患者の起因

透析に至った起因		透析患者数 (人)	割合 ※ (%)	生活習慣を 起因とする疾病	食事療法等指導することで 重症化を遅延できる 可能性が高い疾病
①	糖尿病性腎症 I型糖尿病	0	0.0%	-	-
②	糖尿病性腎症 II型糖尿病	44	71.0%	●	●
③	糸球体腎炎 IgA腎症	0	0.0%	-	-
④	糸球体腎炎 その他	3	4.8%	-	●
⑤	腎硬化症 本態性高血圧	0	0.0%	●	●
⑥	腎硬化症 その他	1	1.6%	-	-
⑦	痛風腎	0	0.0%	●	●
⑧	起因が特定できない患者 ※	14	22.6%	-	-
透析患者合計		62			

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

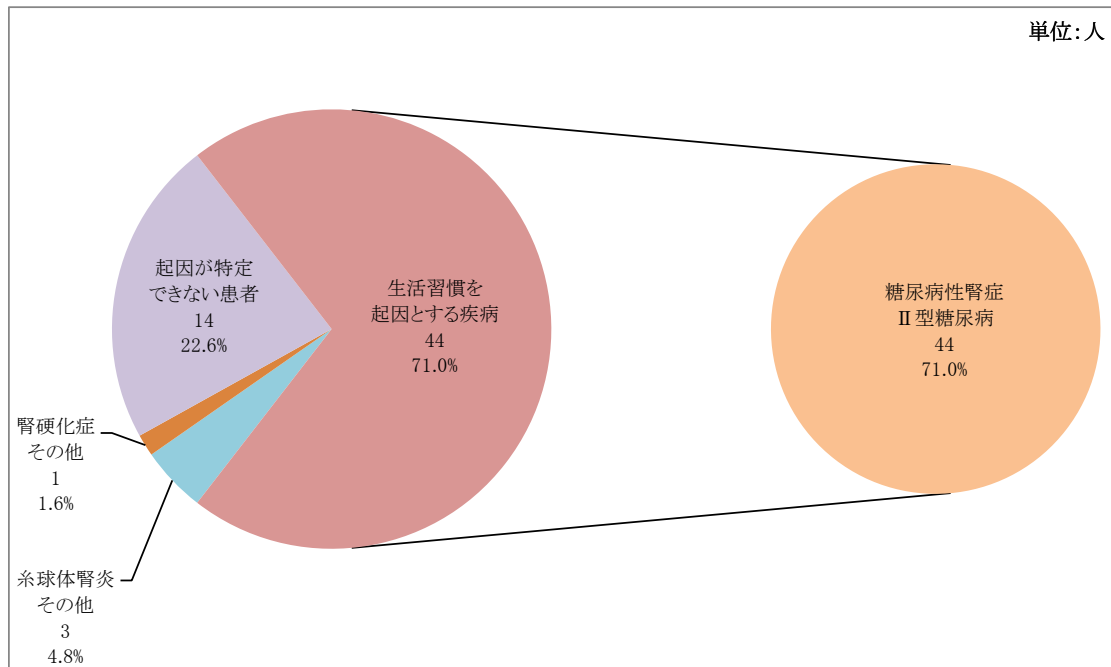
現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

※⑧起因が特定できない患者…①～⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。

⑧起因が特定できない患者14人のうち高血圧症が確認できる患者は13人、高血圧性心疾患が確認できる患者は0人、痛風が確認できる患者は0人。高血圧症、高血圧性心疾患、痛風のいずれも確認できない患者は1人。複数の疾病を持つ患者がいるため、合計人数は一致しない。

## 透析患者の起因



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

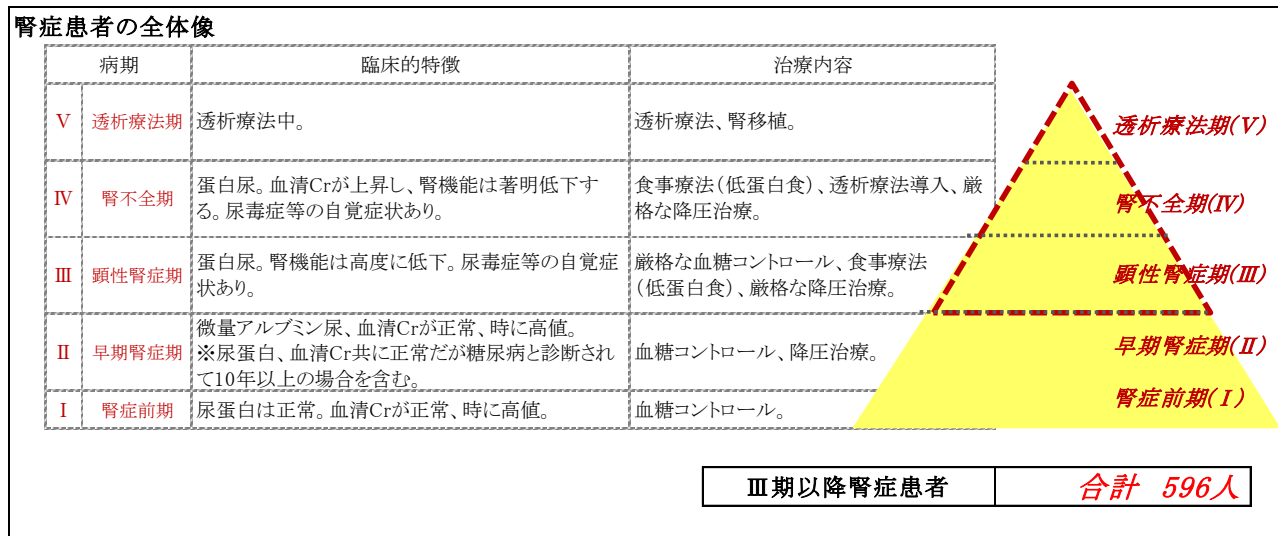
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者596人中182人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

## 腎症患者の全体像



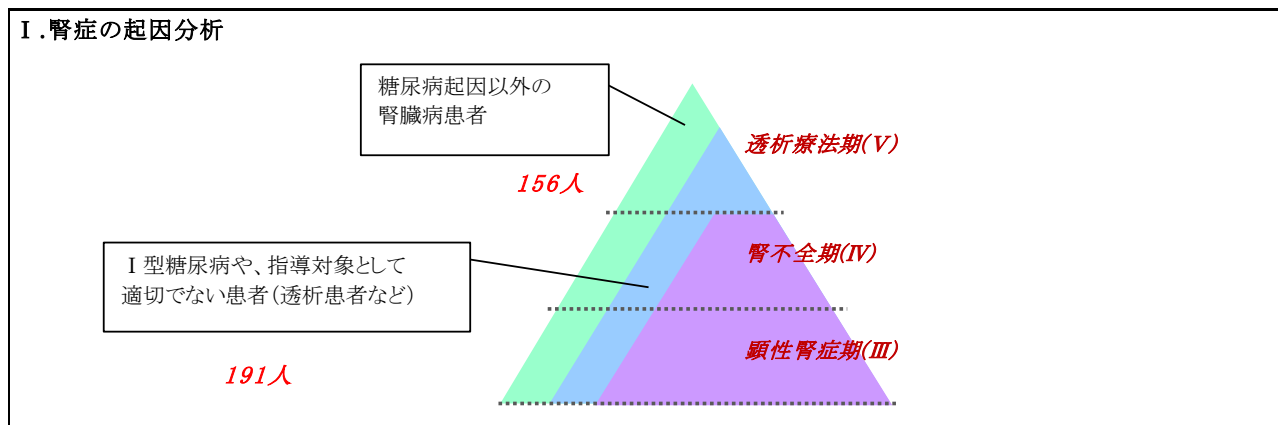
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

「腎症の起因分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、156人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、191人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

## 腎症の起因分析



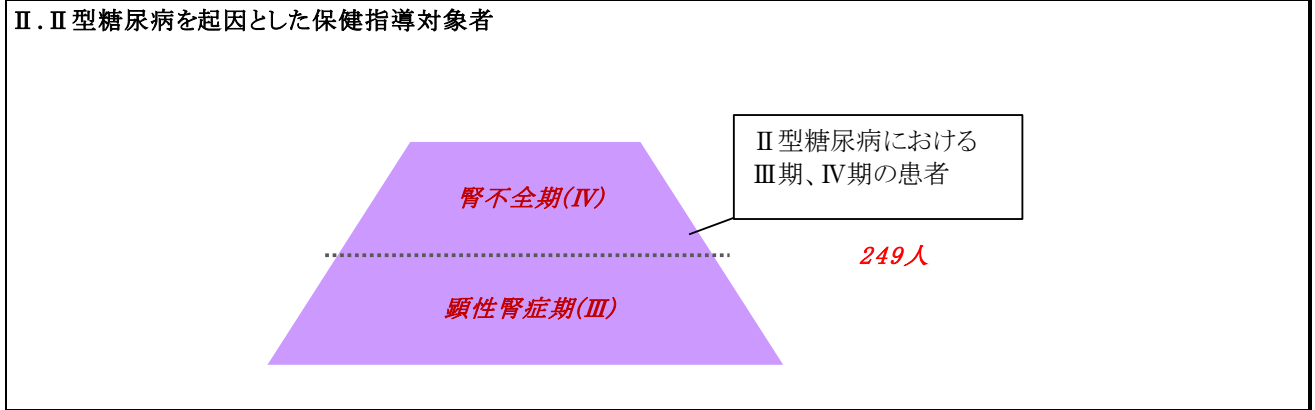
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて249人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

## Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

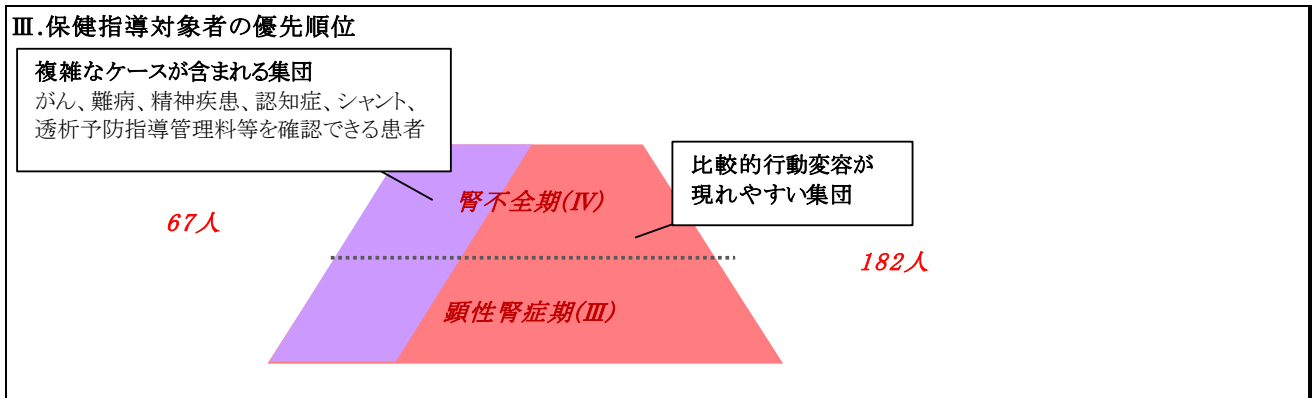


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。249人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、67人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、182人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

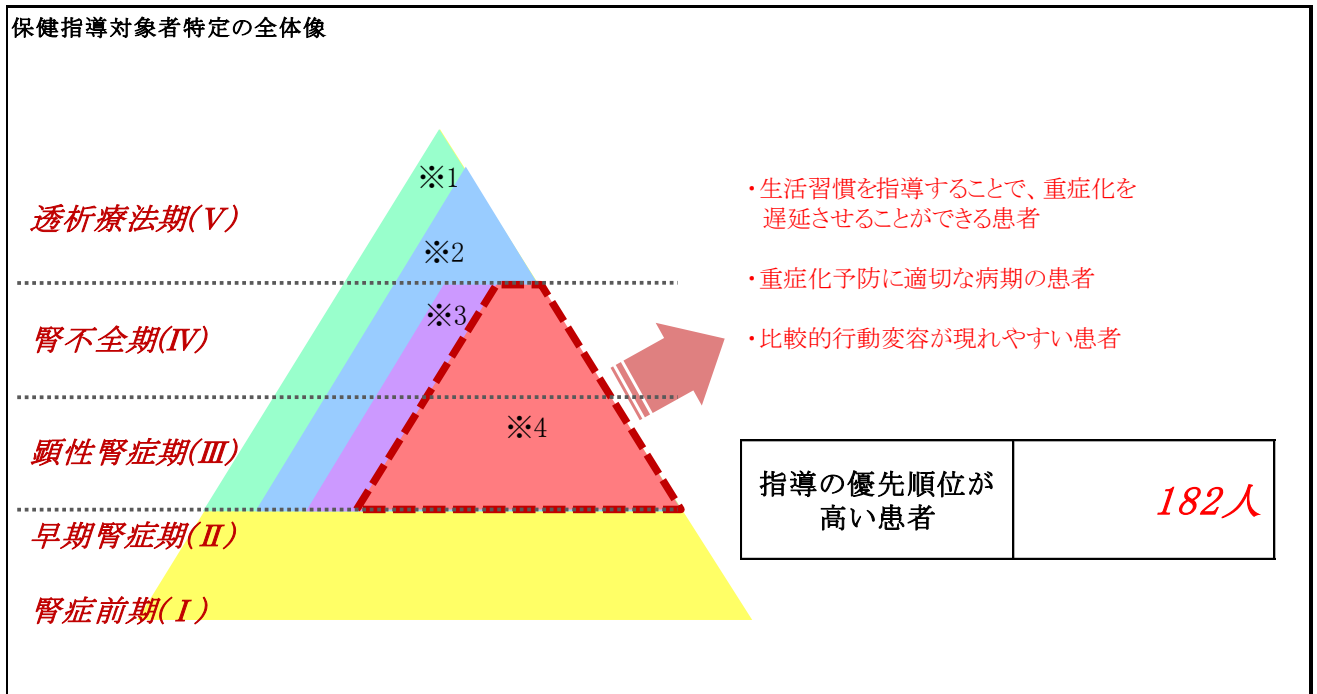
## 保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、182人となった。この分析の全体像を以下に示す。

### 保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

## (7) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。指導対象者数の分析結果は以下の通りである。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析した。

### 重複受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複受診者数(人) *	10	9	10	11	10	6	17	9	8	12	8	10
12カ月間の延べ人数											120	
12カ月間の実人数											90	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

### 頻回受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
頻回受診者数(人) *	26	22	26	36	27	33	25	27	24	20	14	32
12カ月間の延べ人数											312	
12カ月間の実人数											126	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

### 重複服薬者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複服薬者数(人) *	59	60	54	45	49	52	52	58	55	56	48	63
12カ月間の延べ人数											651	
12カ月間の実人数											354	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。



分析結果より、12カ月間で重複受診者は90人、頻回受診者は126人、重複服薬者は354人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少する。

## 条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に<b>3医療機関以上</b>受診している患者</li> <li>・頻回受診患者 …1カ月間で<b>同一医療機関に12回以上</b>受診している患者</li> <li>・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、<b>同系医薬品の日数合計が60日を超える</b>患者</li> </ul>	
条件設定により候補者となった患者数	<b>539 人</b>

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

## 除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II. 除外設定		除外理由別 人数	合計人数 (実人数)
除外①	最新被保険者データで資格喪失している患者	<b>0 人</b>	<b>357 人</b>
除外②	がん、難病等 ※	<b>357 人</b>	
除外患者を除き、候補者となった患者数		<b>182 人</b>	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

※疑い病名を含む。

次に、残る対象者182人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定する。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。効果については、レセプト期間最終月から、6カ月間遡ったレセプトのうち5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先する。効率については、指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を最優先とし、次に、50歳～59歳を対象とした。以下の通り、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fは8人となった。

優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

		←良 効率 悪→		
		60歳以上	50～59歳	50歳未満
↑高 効果 低↓	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A 4人	候補者C 0人	候補者とし ない  174人
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B 3人	候補者D 1人	
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該 当)	候補者E 0人	候補者F 0人	
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者			
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数				8人

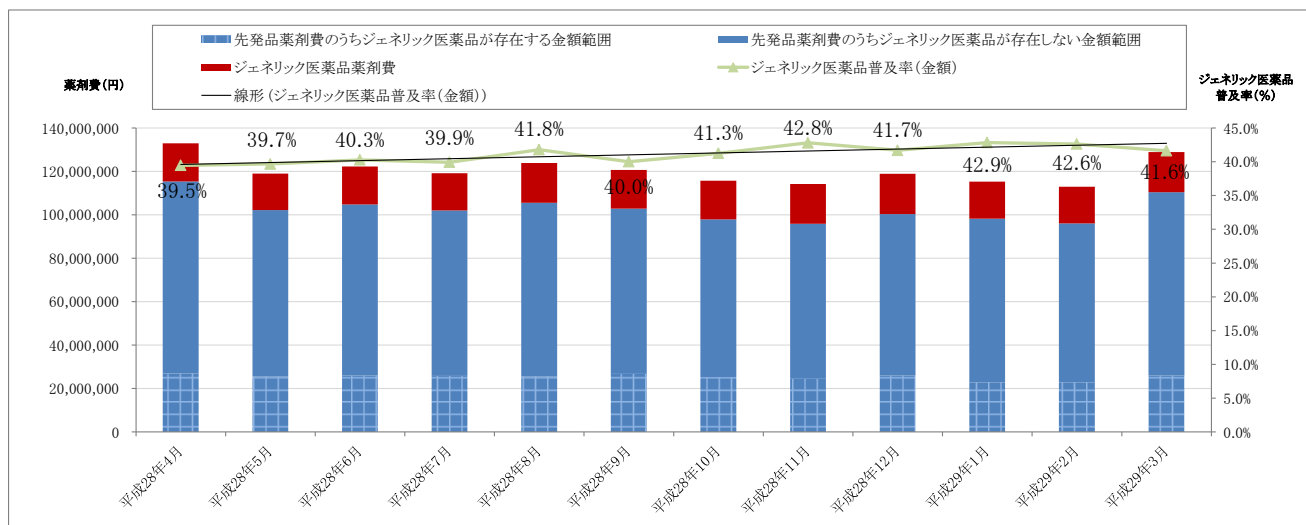
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

## (8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。

以下に平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示す。現在、ジェネリック医薬品普及率は41.1%(金額ベース)、67.1%(数量ベース)である。

### ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

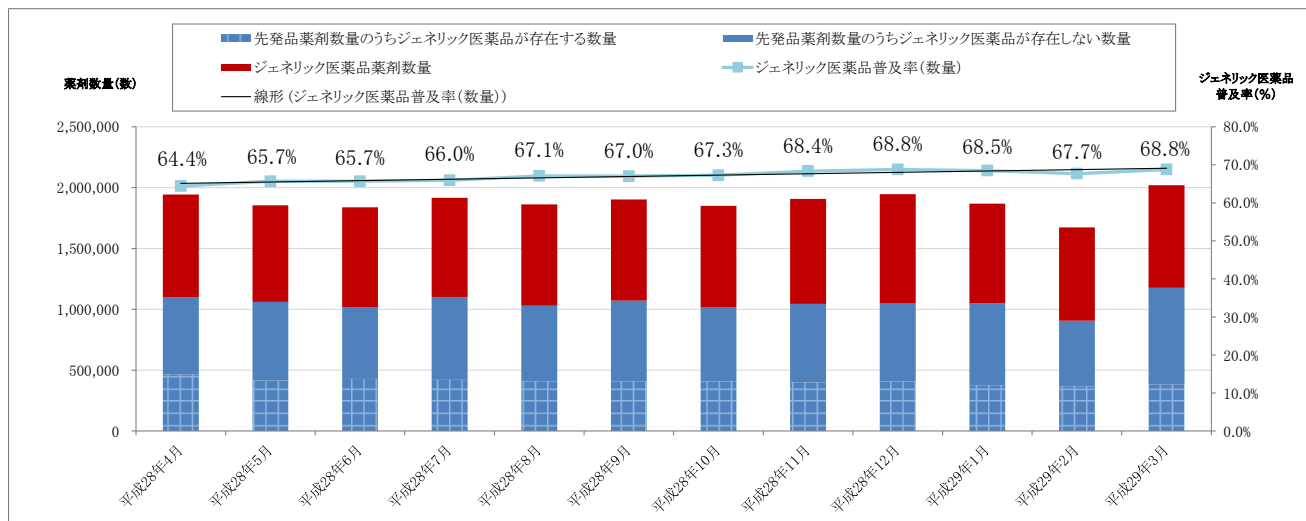


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

### ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



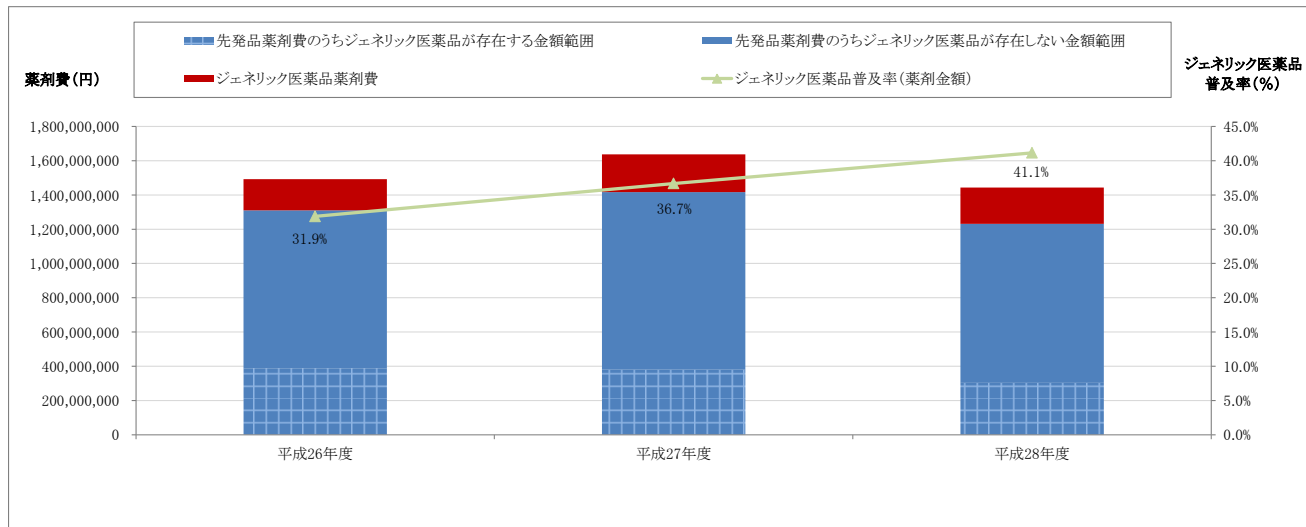
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

平成26年度から平成28年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示す。平成28年度ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)41.1%は、平成26年度31.9%より9.2ポイント上昇しており、平成28年度ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)67.1%は、平成26年度55.7%より11.4ポイント上昇している。

### 年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

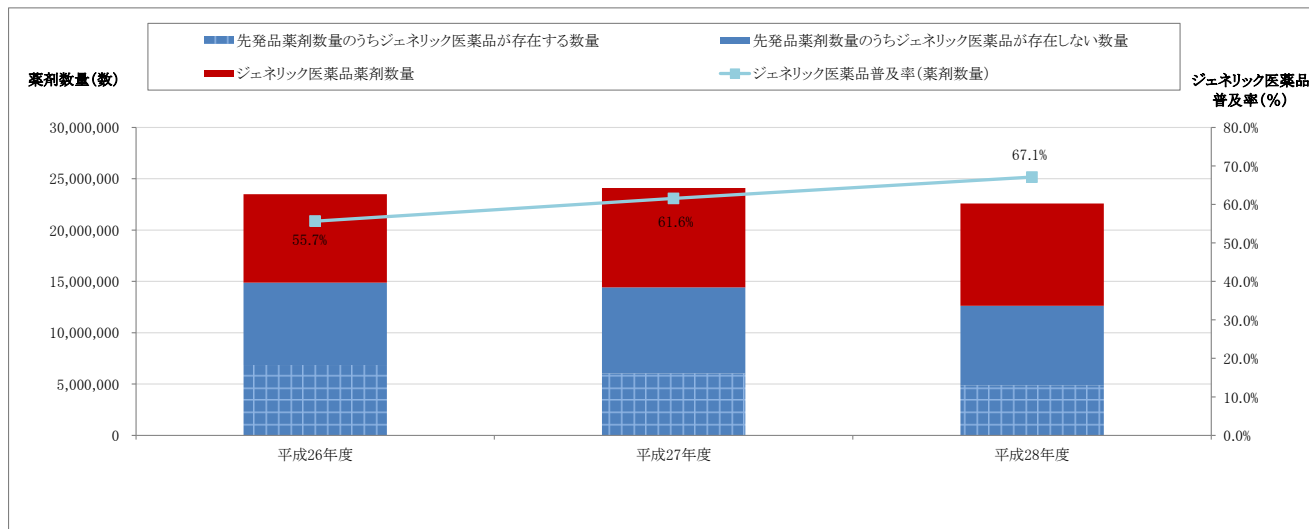


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

### 年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



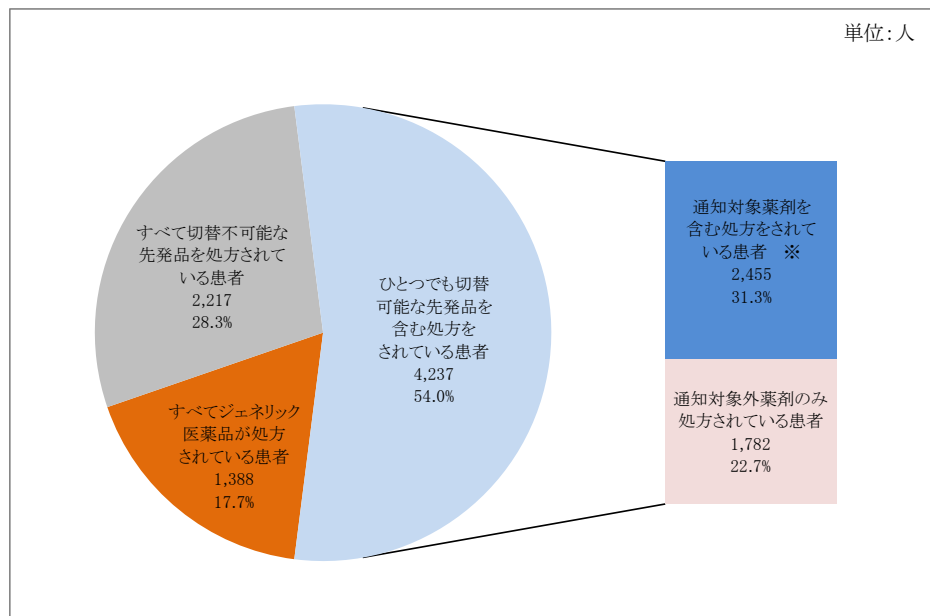
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

次に、平成29年3月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示す。患者数は7,842人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は4,237人で患者数全体の54.0%を占める。さらにこのうち通知対象薬剤のみに絞り込むと、2,455人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、全体の31.3%となる。

## 薬剤処方状況別患者数



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月診療分(1カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方ものは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

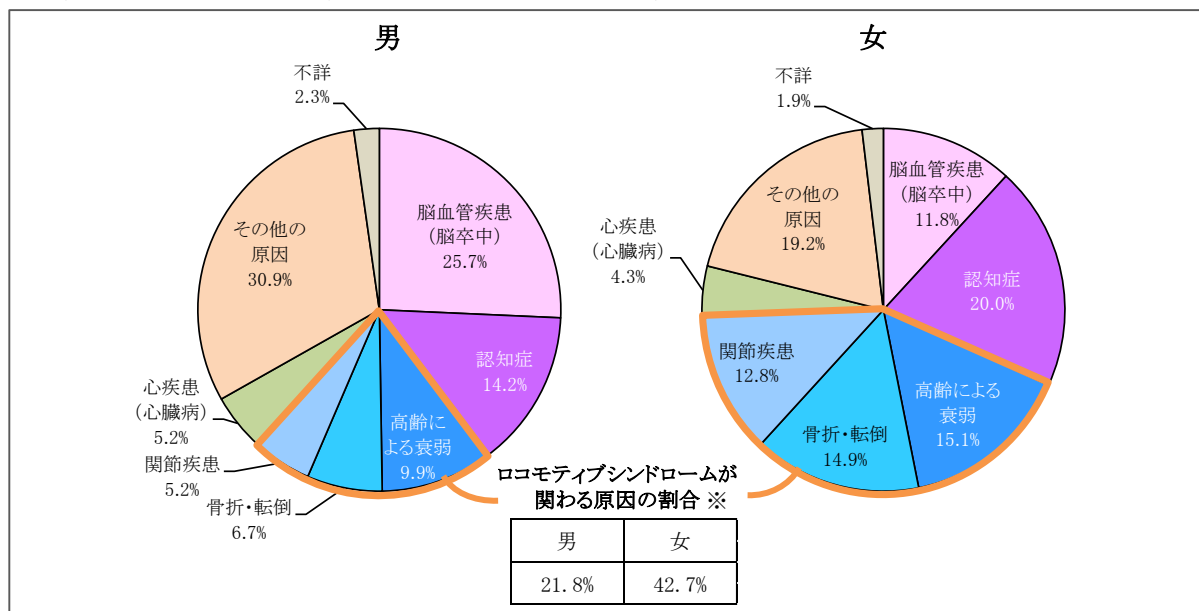
## (9) ロコモティブシンドロームに係る分析

ロコモティブシンドロームは日本整形外科学会が平成19年に提唱した概念で、筋肉・骨・関節・軟骨・椎間板といった運動器の障害により、歩行や日常生活に何らかの障害をきたしている状態、または、そうなるリスクが高い状態をいう。和名は「運動器症候群」である。自立度が低下し、要介護状態となる危険性が高い。

増え続ける要介護人口の歯止めとして、ロコモティブシンドローム対策の必要性は極めて高い。

### ●ロコモティブシンドロームの現状

[全国] 性別にみた介護が必要となった主な原因の構成



出典:「国民生活基礎調査」厚生労働省 平成28年

※「高齢による衰弱」は、ロコモティブシンドローム原因疾患であるサルコペニアが原因のひとつであり、運動器障害との関連があることからロコモティブシンドロームが関わる原因に加えている。

[全国] 要介護度別にみた介護が必要となった主な原因(上位3位)

要介護度	第1位		第2位		第3位	
総数	認知症	18.0	脳血管疾患(脳卒中)	16.6	高齢による衰弱	13.3
要支援者	関節疾患	17.2	高齢による衰弱	16.2	骨折・転倒	15.2
要支援1	関節疾患	20.0	高齢による衰弱	18.4	脳血管疾患(脳卒中)	11.5
要支援2	骨折・転倒	18.4	関節疾患	14.7	脳血管疾患(脳卒中)	14.6
要介護者	認知症	24.8	脳血管疾患(脳卒中)	18.4	高齢による衰弱	12.1
要介護1	認知症	24.8	高齢による衰弱	13.6	脳血管疾患(脳卒中)	11.9
要介護2	認知症	22.8	脳血管疾患(脳卒中)	17.9	高齢による衰弱	13.3
要介護3	認知症	30.3	脳血管疾患(脳卒中)	19.8	高齢による衰弱	12.8
要介護4	認知症	25.4	脳血管疾患(脳卒中)	23.1	骨折・転倒	12.0
要介護5	脳血管疾患(脳卒中)	30.8	認知症	20.4	骨折・転倒	10.2

出典:「国民生活基礎調査」厚生労働省 平成28年

銚田市国民健康保険におけるロコモティブシンドローム原因疾患のレセプトが存在する患者数を示す。40歳以上の男女が対象者である。

## 条件設定による指導対象者の特定(ロコモティブシンドローム)

### I.条件設定による指導対象者の特定

原因疾患のレセプトは存在し、候補者となった患者数

3,013人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

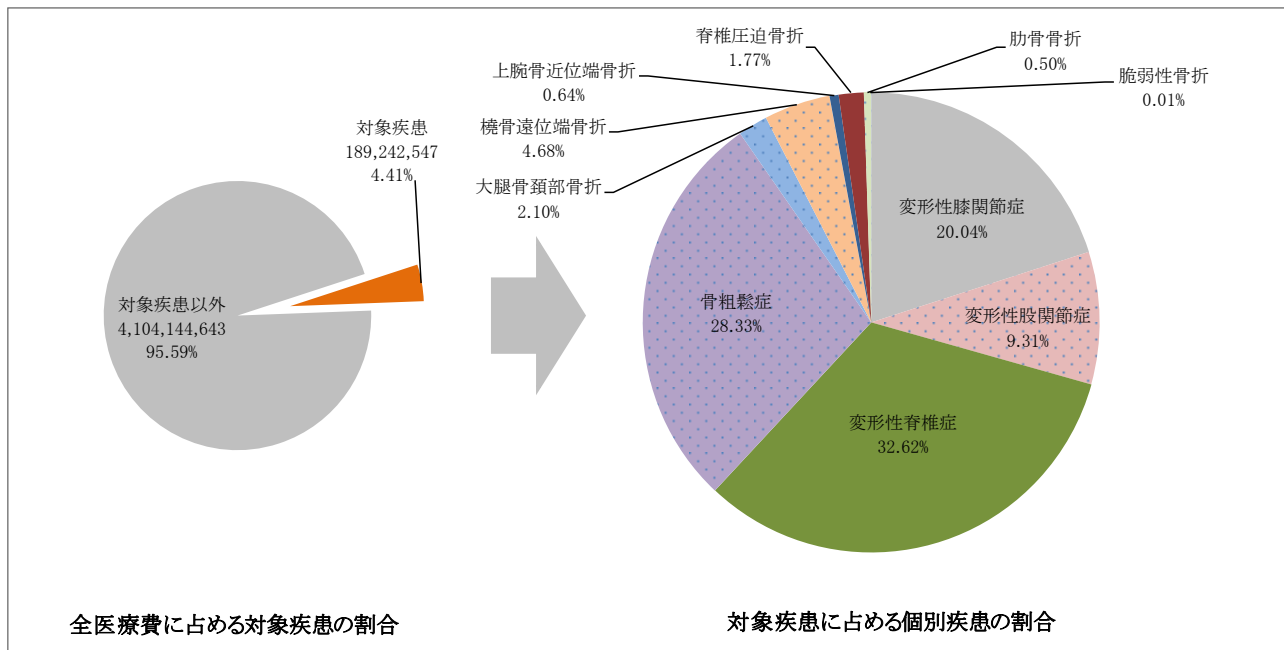
※ロコモティブシンドローム原因疾患は「ロコモティブシンドローム診療ガイド2010(日本整形外科学会 編)」に基づき以下関連疾病を選定。

※原因疾患…変形性膝関節症、変形性股関節症、変形性脊椎症(頸椎症、腰部脊柱管狭窄症)、骨粗鬆症、骨折(大腿部頸部(近位部)骨折、橈骨遠位端骨折、上腕骨近位端骨折、脊椎(圧迫)骨折、肋骨骨折、脆弱性骨折)、サルコペニア

※サルコペニア…筋肉量が低下し、筋力または身体能力が低下した状態。

ロコモティブシンドローム原因疾患別医療費をグラフにて示す。医療費総計の約4.41%をロコモティブシンドローム原因疾患が占め、中には要支援及び要介護の主な原因である「関節疾患」「骨折・転倒」に関連する疾病が多く含まれる。

## ロコモティブシンドローム原因疾患別医療費の状況



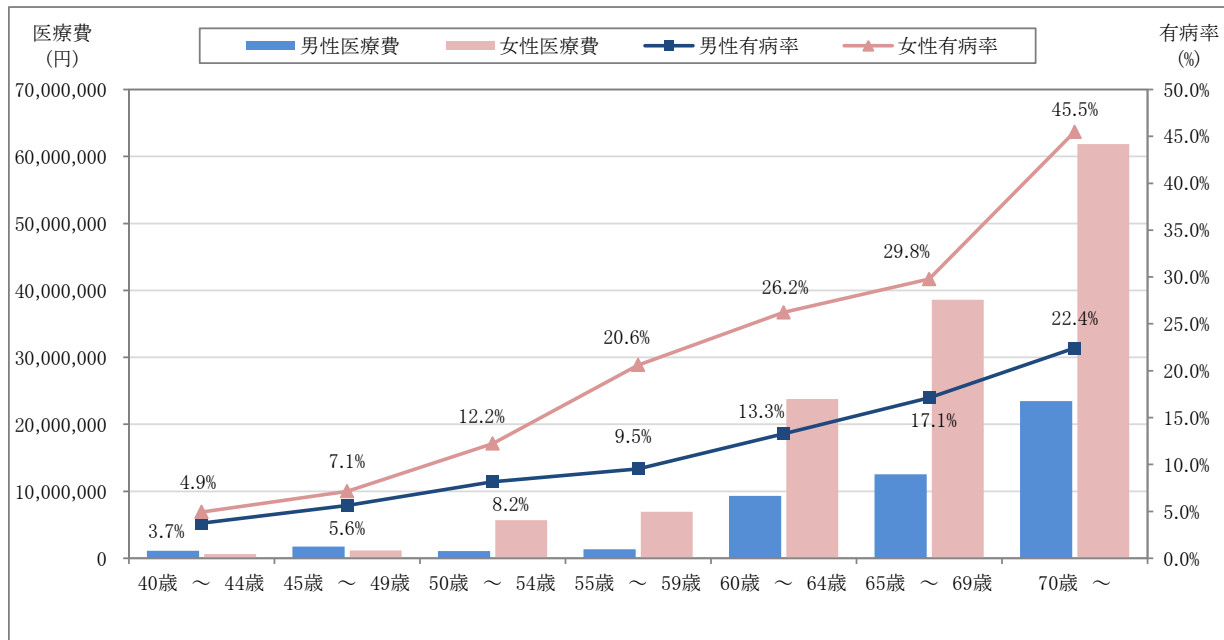
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

年齢階層別・男女別のロコモティブシンドローム原因疾患有病率と原因疾患医療費を以下に示す。加齢が進むにつれて患者数が増え医療費が急速に増大する傾向にある。

### 年齢階層別・男女別 ロコモティブシンドローム原因疾患 有病率と医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

資格確認日…平成29年3月31日時点。



## 5. 分析結果に基づく健康課題の把握

### (1) 分析結果

平成28年4月から平成29年3月診療分(12カ月分)における分析結果と平成26年度から平成28年度における分析結果を以下にまとめた。

銚田市国民健康保険の抱える課題は、生活習慣病及び新生物への対策が課題であると言える。

#### ① 疾病大分類

##### 【平成28年度】

医療費では循環器系の疾患が1位、内分泌、栄養及び代謝疾患が3位、患者数では内分泌、栄養及び代謝疾患が3位と生活習慣病が上位を占めていた。また新生物も医療費と患者一人当たり医療費で2位であった。患者一人当たり医療費の1位が周産期に発生した病態、3位が精神及び行動の障害であった。母子部門・福祉部門へ情報提供し、連携を取る。

医療費が高い疾病		構成比
1位	循環器系の疾患	15.8%
2位	新生物<腫瘍>	14.8%
3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	9.6%

患者数が多い疾病		患者数
1位	呼吸器系の疾患	9,593人
2位	消化器系の疾患	8,574人
3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	7,860人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	周産期に発生した病態	294,475円
2位	新生物<腫瘍>	161,591円
3位	精神及び行動の障害	156,533円

【平成26年度～平成28年度】

大分類で医療療費が高い疾病を3年度で見ると、順位に変動はなく、1位は循環器系の疾患、2位は新生物、3位は内分泌、栄養及び代謝疾患であった。

医療費が高い疾病			構成比
平成26年度	1位	循環器系の疾患	16.1%
	2位	新生物<腫瘍>	14.7%
	3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	9.6%
平成27年度	1位	循環器系の疾患	16.7%
	2位	新生物<腫瘍>	14.4%
	3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	9.5%
平成28年度	1位	循環器系の疾患	15.8%
	2位	新生物<腫瘍>	14.8%
	3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	9.6%

②疾病中分類別

【平成28年度】

大分類を細分化し、中分類で分析を行った結果、高血圧性疾患が医療費で1位、患者数で2位、糖尿病が医療費で2位、患者数で1位であった。また、生活習慣病が起因となる疾病では、腎不全が患者一人当たり医療費で1位であった。

医療費が高い疾病		構成比
1位	高血圧性疾患	6.0%
2位	糖尿病	5.4%
3位	その他の悪性新生物<腫瘍>	5.3%

患者数が多い疾病		患者数
1位	糖尿病	5,427人
2位	高血圧性疾患	5,333人
3位	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,280人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	腎不全	734,925円
2位	白血病	580,804円
3位	悪性リンパ腫	425,902円

【平成26年度～平成28年度】

中分類で医療費が高い疾病を3年度で見ると、順位に変動はなく、1位は高血圧性疾患、2位は糖尿病、3位はその他の悪性新生物（主に前立腺がん）であった。

医療費が高い疾病			構成比
平成 26 年 度	1位	高血圧性疾患	6.6%
	2位	糖尿病	5.7%
	3位	その他の悪性新生物<腫瘍>	4.4%
平成 27 年 度	1位	高血圧性疾患	6.0%
	2位	糖尿病	5.6%
	3位	その他の悪性新生物<腫瘍>	4.6%
平成 28 年 度	1位	高血圧性疾患	6.0%
	2位	糖尿病	5.4%
	3位	その他の悪性新生物<腫瘍>	5.3%

③高額(5万点以上)レセプトの件数と割合、疾病傾向

高額レセプトの発生件数の割合は、3年度とも0.6%であったが、医療費全体における割合では、平成26年度は28.2%、平成27年度は29.3%、平成28年度は28.7%で、平成26年度と平成28年度を比較すると、0.5ポイント医療費割合は増えている。

平成 26 年 度	高額レセプト件数	1,439件
	高額レセプト件数割合	0.6%
	高額レセプト医療費割合	28.2%
平成 27 年 度	高額レセプト件数	1,527件
	高額レセプト件数割合	0.6%
	高額レセプト医療費割合	29.3%
平成 28 年 度	高額レセプト件数	1,363件
	高額レセプト件数割合	0.6%
	高額レセプト医療費割合	28.7%

高額レセプトの患者一人あたりの医療費の高い疾病では、平成27年度の4位にくも膜下出血が上がっている。平成28年度の4位には高血圧性疾患が上がっている。

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人あたりの医療費順(中分類)		患者数 (人)	患者一人あたりの 医療費 (円)	
平成 26 年度	1位	その他の感染症及び寄生虫症	3	10,046,370
	2位	その他の精神及び行動の障害	1	8,052,540
	3位	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5	7,158,484
	4位	白血病	8	6,925,999
	5位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	2	6,635,880
平成 27 年度	1位	妊娠及び胎児発育に関連する障害	2	7,510,770
	2位	血管性及び詳細不明の認知症	1	7,010,620
	3位	その他のウイルス性疾患	2	6,516,935
	4位	くも膜下出血	2	6,359,620
	5位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	5	6,014,912
平成 28 年度	1位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	4	6,472,880
	2位	アルツハイマー病	1	6,078,450
	3位	白血病	3	6,061,470
	4位	高血圧性疾患	1	5,690,430
	5位	悪性リンパ腫	11	5,643,322

高額レセプトが発生している患者数の多い疾病では、3年連続でその他の悪性新生物（主に前立腺がん）が1位であった。また脳梗塞が平成26年度と平成27年度に、虚血性心疾患は平成27年度と平成28年度に上がっている。骨折は、3年連続で上がっている。

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者数(中分類)		患者数 (人)	患者一人あたりの 医療費 (円)	
平成 26 年度	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	55	3,410,610
	2位	骨折	36	1,740,424
	3位	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	34	2,466,668
	4位	その他の心疾患	27	3,211,374
	4位	脳梗塞	27	1,910,037
	4位	その他の消化器系の疾患	27	1,739,121
平成 27 年度	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	61	3,316,110
	2位	虚血性心疾患	39	2,646,603
	3位	骨折	34	1,659,019
	4位	胃の悪性新生物<腫瘍>	31	2,675,874
	5位	脳梗塞	31	2,747,356
平成 28 年度	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	60	3,618,988
	2位	虚血性心疾患	43	2,281,873
	3位	その他の心疾患	40	2,628,360
	4位	骨折	33	1,933,859
	5位	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	32	3,863,037

#### ④特定健康診査及びレセプトデータによる分析

平成28年度の特定健康診査とレセプトデータによる分析の結果、健診異常値を放置している人は1,219人、生活習慣病の治療を中断している人は109人、生活習慣病の状態不明者は4,784人であった。

健診異常値放置者	1,219人
生活習慣病治療中断者	109人
生活習慣病状態不明者	4,784人

#### ⑤人工透析患者の実態

平成28年度のレセプトデータより、人工透析患者は62人いた。そのうち、44人がⅡ型糖尿病が起因であった。

人工透析患者	62人
(うちⅡ型糖尿病起因患者)	44人

#### ⑥医療機関受診状況

平成28年度のレセプトデータより、医療機関の受診状況に問題のある被保険者を分析した結果、多受診の重複受診者が90人、頻回受診者が126人、重複服薬者が354人にいた。

重複受診者	90人
頻回受診者	126人
重複服薬者	354人

### ⑦ジェネリック医薬品普及率（数量ベース/医科・調剤レセプト）

数量ベースのジェネリック医薬品の普及率は、平成26年度が55.7%、平成27年度が61.6%、平成28年度が67.1%であった。直近の平成29年3月の普及率は、68.8%である。

※2020年9月までに普及率80%目標/厚生労働省

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
ジェネリック医薬品 普及率	55.7%	61.6%	67.1%

### ⑧ロコモティブシンドロームの実態

平成28年度のレセプトデータより、ロコモティブシンドロームの原因疾患を持つ40歳以上は、3,013人いた。

ロコモの原因疾患を持つ患者	3,013人
---------------	--------

## (2) 分析結果に基づく課題とその対策

### 分析結果からみた課題と対策

課題と対策	対策となる事業
<p>◆特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率 生活習慣病患者が多数存在し、医療費も多額な状況である。特に高血圧と糖尿病は医療費の構成比が高く、患者も多い。またそれらが重症化した心疾患や脳血管疾患、腎不全の患者も多く、医療費も高額化している。また特定健康診査の受診率と保健指導の実施率は、28年度は42.0%、18.9%で、さらなる受診率向上を図り、必要な人に特定保健指導を行うことにより生活習慣病を予防していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査未受診者対策</li> <li>・特定保健指導事業</li> </ul>
<p>◆健診異常値放置者・生活習慣病治療中断者 健診で異常値があったにもかかわらず医療機関を受診していない異常値放置者（1,219人）や、生活習慣病の治療を中断している患者（109人）が多く存在する。放置者や中断者に医療機関への受診勧奨を行うことで適切な医療につなぎ、生活習慣病の重症化を予防する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診異常値放置者受診勧奨事業</li> <li>・生活習慣病治療中断者受診勧奨事業</li> </ul>
<p>◆糖尿病性腎症重症化予防 人工透析に至ってしまった患者の半数以上がⅡ型糖尿病が起因である（平成28年度 62人中44人）。また中分類疾病の分析では3年連続で医療費の高い疾病の2位に糖尿病が上がっている。糖尿病は進行すると腎症に至り透析が必要になる。腎症以外の合併症も併発し、医療費が高額となると同時に患者のQOLの低下が問題となる。そこで早期に保健指導を行い、かかりつけ医と連携して生活習慣を改善することで、腎症の悪化を遅延させることができると考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病性腎症重症化予防事業</li> </ul>
<p>◆高血圧症重症化予防 中分類の疾病分析では、3年連続で高血圧が1位で、高額レセプトの分析でも、心疾患や脳血管疾患が上がっている。特定健診の結果から対象者を抽出し、かかりつけ医と連携して生活習慣を改善することで重症化を予防する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高血圧症重症化予防事業</li> </ul>
<p>◆重複・頻回受診者、重複服薬者 重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が多数存在している（平成28年度 重複受診者90人、頻回受診者126人、重複服薬者354人）。それらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診行動適正化指導</li> </ul>
<p>◆ジェネリック医薬品の普及率 直近の普及率（数量ベース）は、68.8%で、国が定める目標（80%以上）と比較して低いため、切り替え勧奨を行う必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェネリック医薬品差額通知</li> </ul>
<p>◆ロコモティブシンドロームの現状 ロコモティブシンドロームの原因疾患となる疾病を持つ人が多く存在している（平成28年度 3,013人）。要介護状態の人を増やさないために、健康教室など、啓発活動を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロコモティブシンドローム予防事業</li> </ul>





# 第3章 保健事業実施計画

## 1. 各事業の目的と概要一覧

第2期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示す。

事業名	事業目的	事業概要
特定健康診査未受診勧奨事業	特定健康診査の受診率向上 被保険者の生活習慣病予防	特定健康診査を受診していない人に、生活習慣病の予防の観点から受診するように受診勧奨通知を行う。
特定保健指導事業	生活習慣病該当者及び予備群の減少	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。
健診異常値放置者受診勧奨事業	健診異常値を放置している対象者の医療機関受診	特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。
生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	生活習慣病治療中断者の減少	かつて生活習慣病で定期受診をしていたがその後定期受診を中断した対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。
糖尿病性腎症重症化予防事業	被保険者の糖尿病重症化予防	特定健康診査から対象者を特定し、生活習慣病や検査値が改善されるように、かかりつけ医の指示に従い、専門職による支援指導を行う。
高血圧症重症化予防事業	高血圧症患者の減少	特定健康診査の検査値と高血圧症に関わるレセプト及び日本高血圧学会の高血圧治療ガイドライン2014に基づいて対象者を特定し、かかりつけ医の指示に従い指導する。指導内容は、食事指導・運動指導・服薬管理等とし、指導完了後も自立して正しい生活習慣を持続できるように日常に根付いたものとする。
受診行動適正化指導事業 (重複・頻回受診、重複服薬)	重複・頻回受診者数、 重複服薬者数の減少	レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。
ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上	レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。
ロコモティブシンドローム予防事業	ロコモティブシンドロームの啓発と予防	要介護状態の予防を目指し、チラシの配付や健康教室等を通し、ロコモティブシンドロームを広く市民に啓発する。

実施内容	目標値	
	アウトプット	アウトカム
平成30年度～平成35年度		
対象者を特定し、受診勧奨通知書を作成し、郵送する。通知後に対象者が特定健康診査を受診したかどうかを確認する。	対象者への通知率 100%	対象者の特定健康診査受診率 60% 特定健康診査受診率 60%
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に健康診査データより検査値の推移を確認する。	対象者の指導実施率 60%以上	指導完了者の生活習慣改善率 50% 積極的支援及び動機付け支援対象者 10%減少
健診異常値放置者に医療機関受診勧奨通知書を作成し、郵送する。通知後に医療機関受診があるか確認。受診がない対象者にはフォローを行う。	対象者への通知率 100%	対象者の医療機関受診率 20% 健診異常値放置者 20%減少
生活習慣病治療中断者に医療機関受診勧奨通知書を作成し、郵送する。通知後に医療機関受診があるか確認。受診がない対象者にはフォローを行う。	対象者への通知率 100%	対象者の医療機関受診率 40% 生活習慣病治療中断者 20%減少
かかりつけ医の指導確認の下、指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に健康診査データ、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認する。	対象者の指導実施率 20%以上	指導完了者の生活習慣改善率 70% 指導完了者の検査値改善率 70%
かかりつけ医の指導確認の下、指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に健康診査データ、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認する。	対象者の指導実施率 10%以上	指導完了者の生活習慣改善率 70% 指導完了者の検査値改善率 70%
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に対象者の受診行動が適切となっているかを確認する。	対象者の指導実施率 10%以上	指導完了者の受診行動適正化 50% 重複・頻回受診者、重複服薬者 20% 減少
年6回、8,000通程度、ジェネリック医薬品差額通知書を作成し、郵送する。対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し、継続を検討する。	対象者への通知率 100%	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 80%
健診会場にてチラシの配付をする。健康教室の実施。	健康教室の参加者数 300人	ロコモティブシンドロームを知っている人の割合 50%

## 2. 全体スケジュール

各事業におけるスケジュールについて以下に示す。

事業名	第1期			第2期					
	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度
特定健康診査 未受診勧奨事業	実施 →			P →	D →		P →	D →	
			評価			CA →			CA →
特定保健指導事業	実施 →			P →	D →		P →	D →	
			評価			CA →			CA →
健診異常値放置者 受診勧奨事業	実施 →			P →	D →		P →	D →	
			評価			CA →			CA →
生活習慣病治療 中断者受診勧奨事業				P →	D →		P →	D →	
						CA →			CA →
糖尿病性腎症 重症化予防事業	実施 →			P →	D →		P →	D →	
			評価			CA →			CA →
高血圧症重症化予防事業	実施 →			P →	D →		P →	D →	
			評価			CA →			CA →
受診行動適正化 指導事業 (重複・頻回受診、重複服薬)	実施 →			P →	D →		P →	D →	
			評価			CA →			CA →
ジェネリック 医薬品差額通知事業	実施 →			P →	D →		P →	D →	
			評価			CA →			CA →
ロコモティブシンドローム 予防事業				P →	D →		P →	D →	
						CA →			CA →

### 3. 各事業の実施内容と評価方法

本計画(第2期データヘルス計画)における実施事業及び評価方法は以下の通りである。

#### (1) 特定健康診査未受診勧奨事業

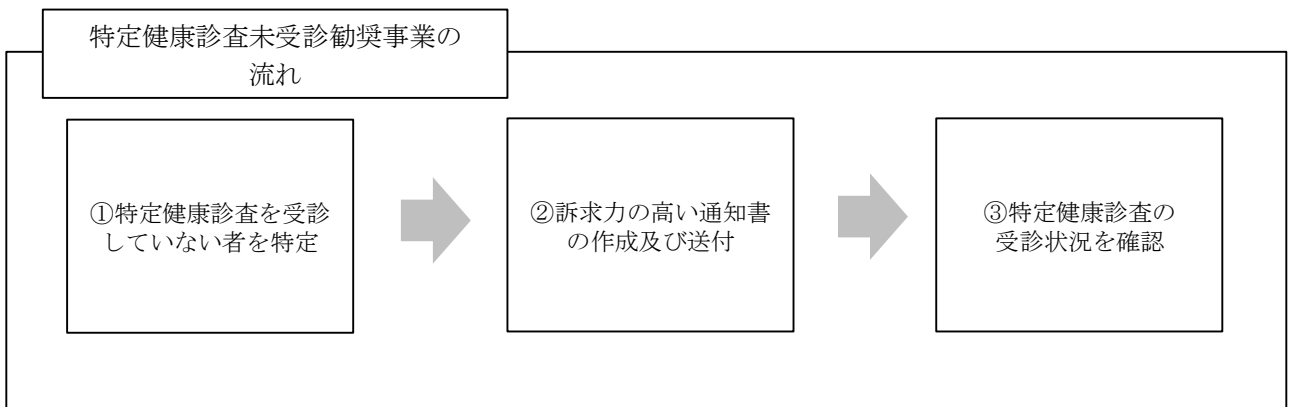
##### 【事業目的】

特定健康診査の受診率向上  
被保険者の生活習慣病予防

##### 【事業概要】

特定健康診査を受診していない人に、生活習慣病の予防の観点から受診するように受診勧奨通知を行う。

##### 【実施内容】



##### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	短期	対象者の特定健康診査受診率 60% 事業対象者のうち特定健康診査を受診した人数より確認する。
	中長期	特定健康診査受診率 60% 特定健康診査受診率を確認する。

## (2) 特定保健指導事業

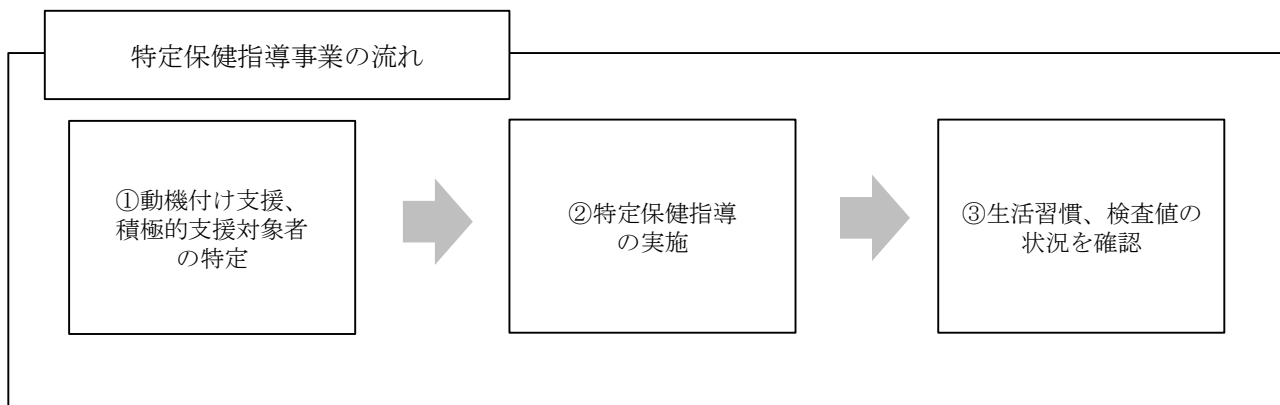
### 【事業目的】

生活習慣病該当者及び予備群の減少

### 【事業概要】

特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。

### 【事業内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
対象者の指導実施率 60%以上	短期	指導完了者の生活習慣改善率 50% 指導前後の健康診査データから生活習慣の改善状況を確認する。
	中長期	積極的支援及び動機付け支援対象者 10%減少 特定保健指導対象者割合の推移を確認する。

### (3) 健診異常値放置者受診勧奨事業

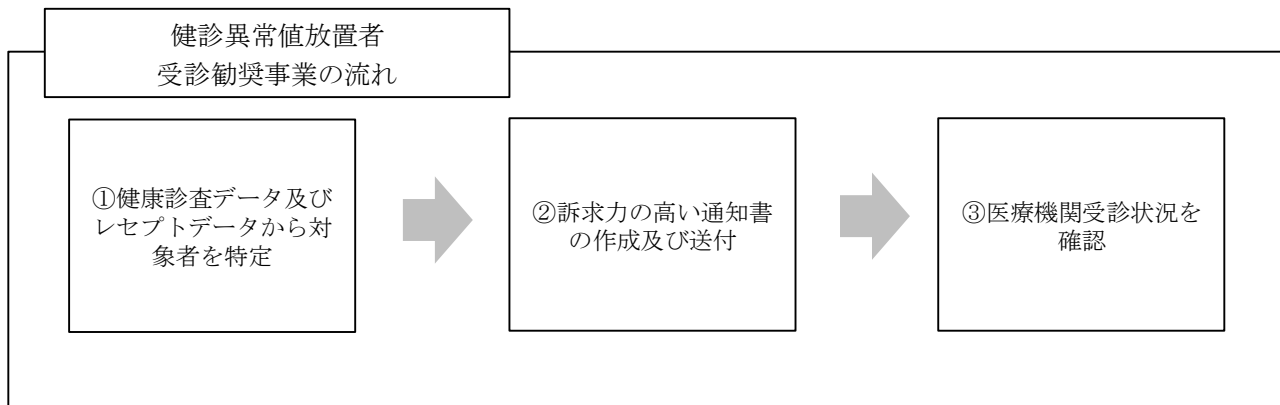
#### 【事業目的】

健診異常値を放置している対象者の医療機関受診

#### 【実施概要】

特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。

#### 【実施内容】



#### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	短期 対象者の医療機関受診率 20%	通知後医療機関を受診したか確認する。
	中長期 健診異常値放置者 20%減少	健診異常値放置者数の推移により確認する。

#### (4) 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業

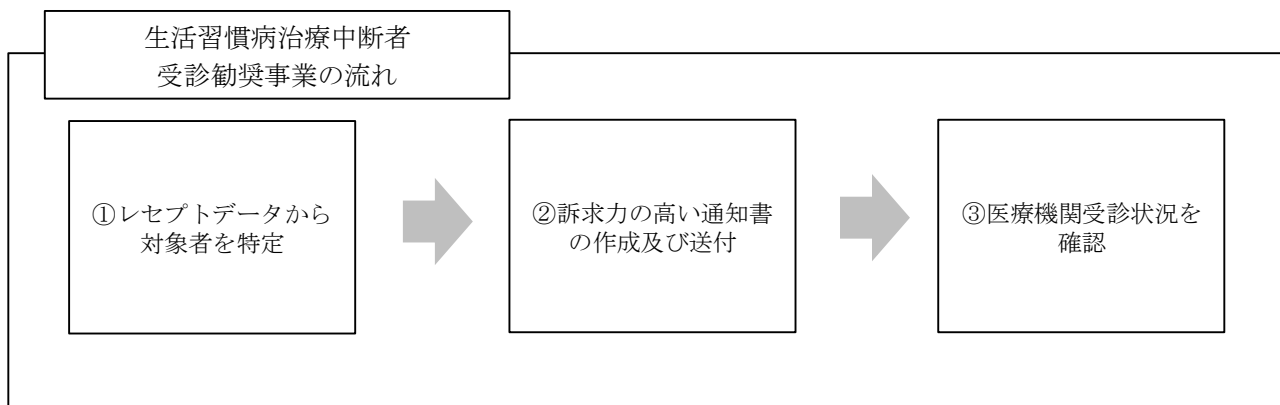
##### 【事業目的】

生活習慣病治療中断者の減少

##### 【実施概要】

かつて生活習慣病で定期受診をしていたがその後定期受診を中断した対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。

##### 【実施内容】



##### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	短期 対象者の医療機関受診率 40%	通知後医療機関を受診したか確認する。
	中長期 生活習慣病治療中断者 20%減少	生活習慣病治療中断者数の推移により確認する。



## (5) 糖尿病性腎症重症化予防事業

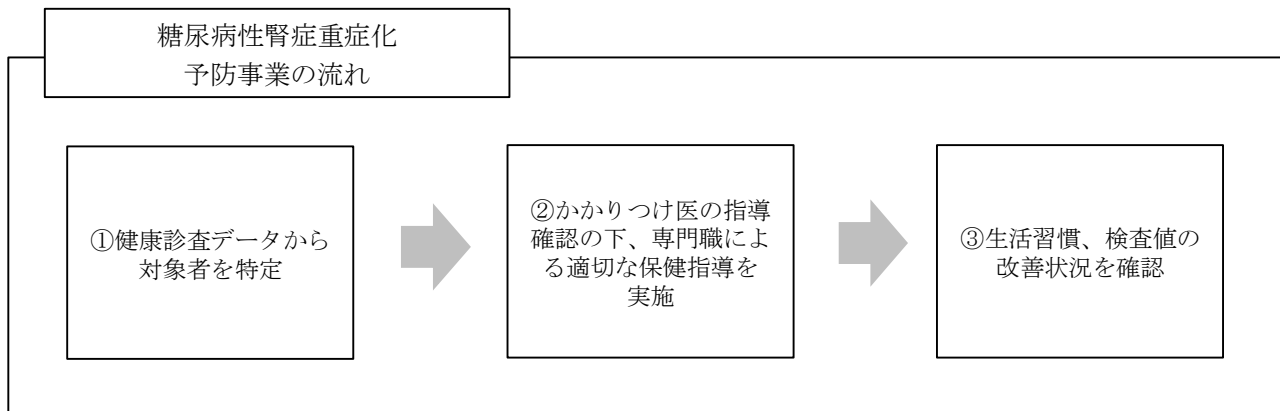
### 【事業目的】

被保険者の糖尿病重症化予防

### 【実施概要】

特定健康診査の検査値から対象者を特定し、生活習慣病や検査値が改善されるように、かかりつけ医の指示に従い専門職による支援指導を行う。

### 【実施内容】



### 【目標】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者の指導実施率 20%以上	指導完了者の生活習慣改善率 70% 指導完了者の検査値改善率 70%	指導後の結果から生活習慣や検査値の改善状況を確認する。

## (6) 高血圧症重症化予防事業

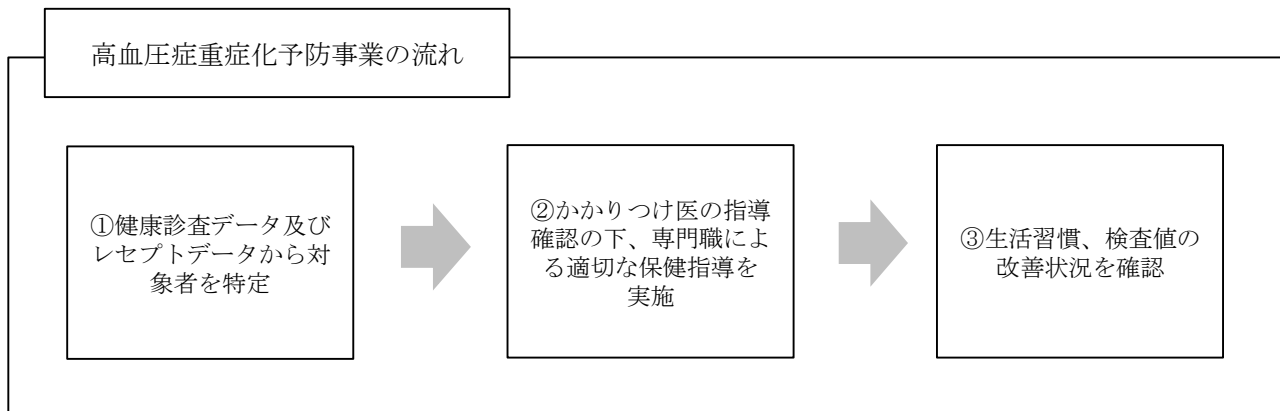
### 【事業目的】

高血圧症患者の減少

### 【実施概要】

特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、かかりつけ医の指示に従い専門職による食事指導・運動指導・服薬管理を行う。

### 【実施内容】



### 【目標】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者の指導実施率 10%以上	指導完了者の生活習慣改善率 70% 指導完了者の検査値改善率 70%	指導後の結果から生活習慣や検査値の改善状況を確認する。

## (7) 受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)

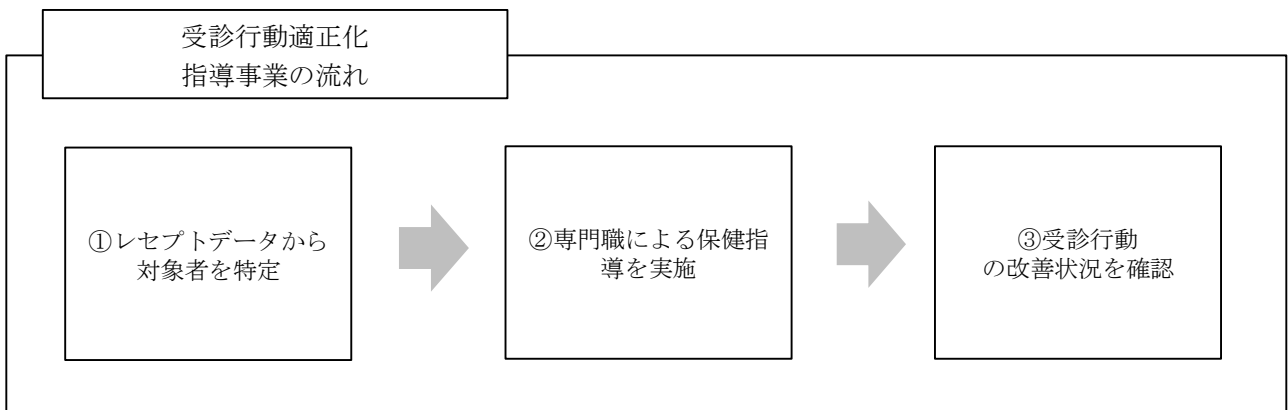
### 【事業目的】

重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少

### 【実施概要】

レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。

### 【実施内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
		目標値	評価方法
対象者の指導実施率 10%以上	短期	指導完了者の受診行動適正化 50%	指導後の医療機関受診状況を確認する。
	中長期	重複・頻回受診者、重複服薬者 20%減少	多受診対象者数の推移により確認する。

## (8) ジェネリック医薬品差額通知事業

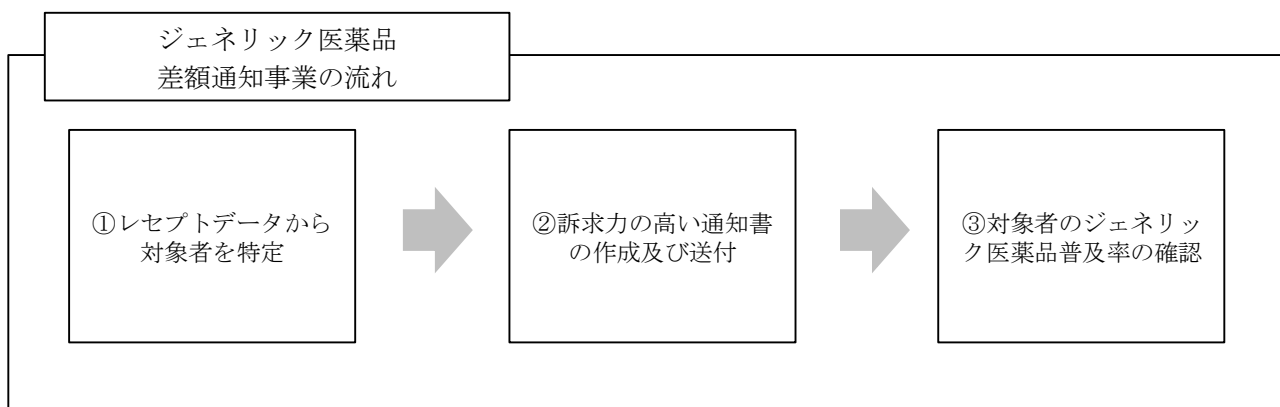
### 【事業目的】

ジェネリック医薬品の普及率向上

### 【実施概要】

レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

### 【実施内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
		目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	中長期	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 80%	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)推移により確認する。

## (9) ロコモティブシンドローム予防事業

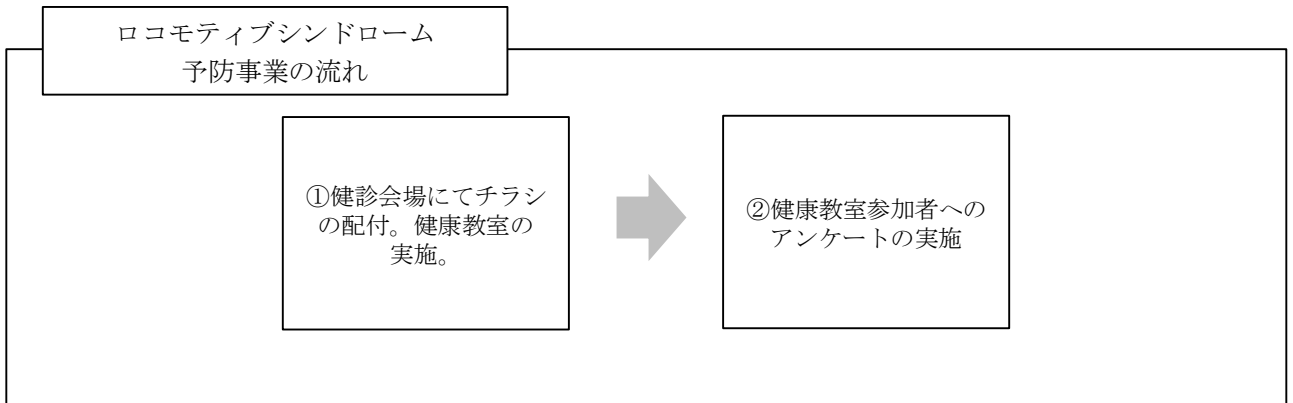
### 【事業目的】

ロコモティブシンドロームの啓発と予防

### 【事業概要】

要介護状態の予防を目指し、チラシの配付や健康教室等を通し、ロコモティブシンドロームを広く市民に啓発する。

### 【実施内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

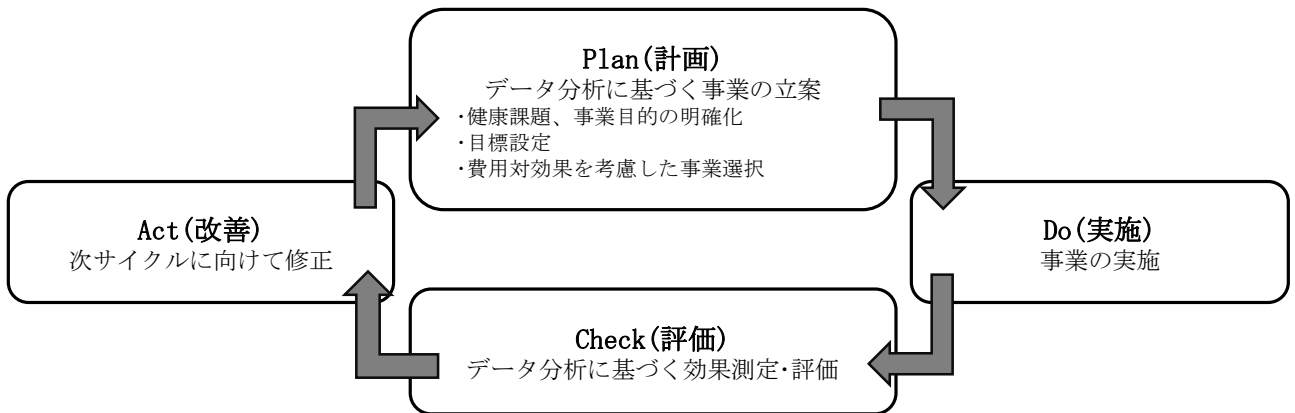
アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
ロコモを知っている人の割合	健康教室の参加者数 300人	ロコモティブシンドロームを知っている人の割合 50%

## 1. データヘルス計画の見直し

### (1) 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととする。また、中間期間等計画期間の途中で進捗確認・中間評価を行い、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行う。最終年度においては、次の期の計画策定を円滑に行うため、上半期に仮評価を行うこととする。

評価・見直しに当たっては、他保険者と連携して行い、国民健康保険団体連合会に設置される支援・評価委員会に指導・助言を受けるものとする。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

### (2) 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施する。

## 2. 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、本実施計画をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図る。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとする。

### 3. 個人情報の取り扱い

---

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」「個人情報保護条例」「情報セキュリティポリシー」に基づき管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

### 4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項

---

高齢化の状況、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、地域包括ケアの充実を図り、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携して事業に取り組む。

# 地区分析

## 1. 大分類による疾病別医療費地区別統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費統計を地区別に示す。

旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	鉾田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

### 【旭東】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	12,163,274	4.1%	10	1,120	12	315	8	38,614	15
II. 新生物<腫瘍>	43,076,174	14.5%	2	1,090	13	296	10	145,528	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,387,206	0.8%	15	326	16	95	15	25,128	16
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	24,040,352	8.1%	4	4,220	2	447	3	53,782	7
V. 精神及び行動の障害	23,613,117	8.0%	5	1,200	11	115	14	205,331	1
VI. 神経系の疾患	9,422,828	3.2%	12	2,169	6	208	13	45,302	10
VII. 眼及び付属器の疾患	17,321,910	5.8%	9	1,659	7	388	6	44,644	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,259,869	0.4%	17	318	17	78	16	16,152	19
IX. 循環器系の疾患	51,202,910	17.3%	1	4,899	1	405	5	126,427	3
X. 呼吸器系の疾患	25,227,742	8.5%	3	3,242	4	566	1	44,572	13
X I. 消化器系の疾患 ※	21,276,789	7.2%	6	4,152	3	529	2	40,221	14
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	6,943,429	2.3%	13	1,610	8	378	7	18,369	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	19,964,013	6.7%	7	3,210	5	413	4	48,339	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	17,840,066	6.0%	8	1,228	10	243	12	73,416	6
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	825,263	0.3%	18	23	20	8	20	103,158	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※	229,610	0.1%	20	8	21	5	21	45,922	9
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	1,517,643	0.5%	16	74	18	17	18	89,273	5
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,246,580	2.1%	14	1,335	9	306	9	20,414	17
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	11,596,235	3.9%	11	785	14	259	11	44,773	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	292,515	0.1%	19	410	15	65	17	4,500	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	50,295	0.0%	21	27	19	16	19	3,143	21
合計	296,497,820			14,616		1,119		264,967	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。



旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	鉾田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

【旭南】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	6,766,527	2.5%	12	1,210	9	356	7	19,007	15
II. 新生物<腫瘍>	34,708,793	12.7%	2	1,132	11	297	9	116,865	5
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,962,812	1.1%	15	408	15	97	14	30,544	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	26,814,834	9.8%	3	4,452	2	450	3	59,589	6
V. 精神及び行動の障害	16,293,182	6.0%	7	813	13	86	15	189,456	1
VI. 神経系の疾患	10,819,336	4.0%	10	1,745	6	192	13	56,351	8
VII. 眼及び付属器の疾患	15,604,857	5.7%	8	1,529	8	348	8	44,842	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	850,189	0.3%	18	261	17	77	16	11,041	20
IX. 循環器系の疾患	59,782,877	21.9%	1	5,099	1	416	4	143,709	2
X. 呼吸器系の疾患	20,878,611	7.7%	6	3,122	4	614	1	34,004	12
X I. 消化器系の疾患 ※	21,295,435	7.8%	5	3,985	3	519	2	41,032	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	6,459,652	2.4%	13	1,606	7	370	6	17,459	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	21,431,645	7.9%	4	2,921	5	407	5	52,658	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	11,737,429	4.3%	9	977	12	197	12	59,581	7
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,387,974	0.5%	17	17	20	10	20	138,797	3
X VI. 周産期に発生した病態 ※	16,747	0.0%	21	5	21	1	21	16,747	17
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,790,106	0.7%	16	36	19	14	18	127,865	4
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,957,440	1.5%	14	1,191	10	292	10	13,553	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	8,386,482	3.1%	11	707	14	262	11	32,009	13
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	318,588	0.1%	19	367	16	53	17	6,011	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	168,994	0.1%	20	76	18	14	18	12,071	19
合計	272,432,510			14,395		1,112		244,993	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	鉾田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

【旭西】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	17,438,201	6.2%	8	1,285	9	337	8	51,745	11
II. 新生物<腫瘍>	31,098,547	11.0%	3	962	13	244	11	127,453	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,517,373	0.5%	17	457	15	104	16	14,590	19
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	27,018,896	9.5%	5	4,084	3	426	3	63,425	9
V. 精神及び行動の障害	11,873,894	4.2%	10	1,228	10	118	14	100,626	5
VI. 神経系の疾患	14,014,564	4.9%	9	1,998	6	207	13	67,703	7
VII. 眼及び付属器の疾患	10,871,851	3.8%	11	1,481	8	377	7	28,838	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,923,916	0.7%	15	430	16	117	15	16,444	18
IX. 循環器系の疾患	37,640,589	13.3%	1	4,588	1	388	6	97,012	6
X. 呼吸器系の疾患	21,060,406	7.4%	7	3,276	4	631	1	33,376	13
X I. 消化器系の疾患 ※	31,662,963	11.2%	2	4,096	2	526	2	60,196	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	8,803,758	3.1%	12	1,867	7	411	4	21,420	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	27,256,778	9.6%	4	2,970	5	403	5	67,635	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	23,135,920	8.2%	6	1,193	12	211	12	109,649	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,610,899	0.6%	16	41	19	13	19	123,915	3
X VI. 周産期に発生した病態 ※	258,203	0.1%	20	6	21	6	21	43,034	12
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,474,814	0.5%	18	45	18	11	20	134,074	1
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,947,551	2.1%	14	1,196	11	308	9	19,310	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	8,339,383	2.9%	13	784	14	257	10	32,449	14
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	283,939	0.1%	19	288	17	42	17	6,760	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	73,335	0.0%	21	39	20	14	18	5,238	21
合計	283,305,780			14,449		1,199		236,285	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	銚田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

【旭北】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	10,552,768	4.7%	9	1,063	9	234	9	45,097	10
II. 新生物<腫瘍>	30,828,851	13.9%	2	762	13	188	10	163,983	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	917,440	0.4%	15	335	15	91	14	10,082	18
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	20,888,340	9.4%	4	3,531	2	335	4	62,353	5
V. 精神及び行動の障害	15,741,026	7.1%	7	940	11	81	15	194,334	1
VI. 神経系の疾患	7,402,866	3.3%	12	1,650	6	159	12	46,559	9
VII. 眼及び付属器の疾患	10,158,267	4.6%	10	1,089	8	263	6	38,625	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	680,066	0.3%	16	238	16	53	16	12,831	15
IX. 循環器系の疾患	34,442,510	15.5%	1	3,806	1	304	5	113,298	3
X. 呼吸器系の疾患	18,824,626	8.5%	5	2,345	5	469	1	40,138	11
X I. 消化器系の疾患 ※	23,159,764	10.4%	3	3,233	3	404	2	57,326	6
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	4,466,886	2.0%	13	1,135	7	257	7	17,381	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	16,735,441	7.5%	6	2,513	4	339	3	49,367	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	14,632,967	6.6%	8	852	12	149	13	98,208	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	29,728	0.0%	20	8	20	4	20	7,432	19
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,000	0.0%	21	1	21	1	21	1,000	21
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	109,958	0.0%	18	28	19	9	19	12,218	16
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,424,552	1.5%	14	1,006	10	237	8	14,450	14
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	9,026,270	4.1%	11	508	14	180	11	50,146	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	288,552	0.1%	17	178	17	27	17	10,687	17
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	68,882	0.0%	19	31	18	10	18	6,888	20
合計	222,380,760			10,770		830		267,929	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	銚田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

【巴】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	25,966,157	4.4%	10	1,871	11	508	8	51,114	11
II. 新生物<腫瘍>	89,760,293	15.3%	1	1,718	13	433	10	207,299	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	6,669,187	1.1%	16	825	15	188	14	35,474	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	52,625,452	9.0%	4	7,718	2	795	3	66,196	9
V. 精神及び行動の障害	40,907,103	7.0%	6	1,840	12	163	15	250,964	2
VI. 神経系の疾患	31,623,688	5.4%	9	3,530	6	352	12	89,840	7
VII. 眼及び付属器の疾患	17,041,606	2.9%	11	2,201	9	569	7	29,950	16
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,583,814	0.4%	18	691	16	129	16	20,030	19
IX. 循環器系の疾患	80,787,148	13.8%	2	8,425	1	715	5	112,989	6
X. 呼吸器系の疾患	35,209,982	6.0%	8	4,866	5	938	1	37,537	14
X I. 消化器系の疾患 ※	40,141,209	6.8%	7	6,888	3	843	2	47,617	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	13,657,055	2.3%	13	2,577	7	611	6	22,352	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	47,758,113	8.1%	5	6,391	4	764	4	62,511	10
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	61,896,002	10.5%	3	2,128	10	336	13	184,214	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	2,621,368	0.4%	17	33	20	14	20	187,241	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※	7,264,329	1.2%	15	11	21	7	21	1,037,761	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	2,138,832	0.4%	19	86	18	24	18	89,118	8
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,994,245	2.0%	14	2,416	8	501	9	23,941	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	15,284,502	2.6%	12	1,239	14	398	11	38,403	13
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,274,373	0.2%	20	416	17	80	17	15,930	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	172,522	0.0%	21	73	19	24	18	7,188	21
合計	587,376,980			22,727		1,711		343,295	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	銚田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

【徳宿】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	20,496,969	3.6%	12	2,429	9	682	7	30,054	16
II. 新生物<腫瘍>	82,921,884	14.6%	1	1,844	13	507	10	163,554	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,827,262	0.5%	18	870	15	219	14	12,910	20
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	51,419,874	9.1%	4	8,093	2	832	3	61,803	9
V. 精神及び行動の障害	24,542,938	4.3%	10	2,394	10	211	15	116,317	3
VI. 神経系の疾患	29,762,576	5.2%	8	3,861	6	389	13	76,510	8
VII. 眼及び付属器の疾患	21,411,087	3.8%	11	2,564	8	670	8	31,957	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,968,262	0.5%	16	782	16	192	16	15,460	19
IX. 循環器系の疾患	77,784,862	13.7%	2	9,063	1	781	5	99,596	5
X. 呼吸器系の疾患	54,061,780	9.5%	3	6,489	5	1,205	1	44,865	14
X I. 消化器系の疾患 ※	49,614,208	8.7%	5	7,817	3	985	2	50,370	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	13,116,012	2.3%	14	3,087	7	702	6	18,684	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	48,775,823	8.6%	6	6,643	4	825	4	59,122	10
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	36,724,354	6.5%	7	2,261	12	400	12	91,811	7
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	2,025,983	0.4%	19	57	20	21	19	96,475	6
X VI. 周産期に発生した病態 ※	2,919,151	0.5%	17	29	21	7	21	417,022	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	3,187,280	0.6%	15	109	18	32	18	99,603	4
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	14,305,888	2.5%	13	2,282	11	541	9	26,443	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	26,521,024	4.7%	9	1,462	14	478	11	55,483	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	954,828	0.2%	21	569	17	94	17	10,158	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	1,009,715	0.2%	20	92	19	21	19	48,082	13
合計	567,351,760			27,799		2,120		267,619	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	銚田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

【秋山】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	15,654,932	3.3%	12	1,743	12	526	7	29,762	13
II. 新生物<腫瘍>	58,422,807	12.4%	2	1,492	13	394	10	148,281	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3,684,692	0.8%	15	680	15	162	15	22,745	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	44,632,176	9.5%	4	6,744	2	739	3	60,395	8
V. 精神及び行動の障害	32,716,428	6.9%	8	1,844	10	176	14	185,889	1
VI. 神経系の疾患	29,780,093	6.3%	9	2,941	6	317	12	93,944	5
VII. 眼及び付属器の疾患	17,093,384	3.6%	11	2,105	7	575	6	29,728	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,964,882	0.4%	16	418	17	115	16	17,086	20
IX. 循環器系の疾患	66,053,455	14.0%	1	7,544	1	717	4	92,125	6
X. 呼吸器系の疾患	35,951,568	7.6%	5	4,437	4	924	1	38,909	11
X I. 消化器系の疾患 ※	32,955,931	7.0%	7	5,968	3	811	2	40,636	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	10,308,227	2.2%	14	2,010	8	522	8	19,748	19
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	34,694,109	7.4%	6	4,402	5	669	5	51,860	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	47,780,348	10.1%	3	1,807	11	310	13	154,130	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,496,031	0.3%	18	33	20	11	20	136,003	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※	170,438	0.0%	20	8	21	5	21	34,088	12
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	554,376	0.1%	19	94	18	28	18	19,799	18
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,580,155	2.5%	13	1,942	9	492	9	23,537	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	24,272,277	5.1%	10	1,043	14	381	11	63,707	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,827,933	0.4%	17	469	16	77	17	23,739	15
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	72,118	0.0%	21	41	19	17	19	4,242	21
合計	471,666,360			20,816		1,669		282,604	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。



旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	銚田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

【銚田】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	16,392,193	4.1%	10	1,495	10	424	8	38,661	11
II. 新生物<腫瘍>	57,140,354	14.3%	2	1,349	13	333	10	171,593	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5,424,600	1.4%	14	521	16	142	14	38,201	13
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	37,990,910	9.5%	3	6,029	2	655	3	58,001	10
V. 精神及び行動の障害	27,306,377	6.8%	6	1,457	11	135	15	202,269	2
VI. 神経系の疾患	24,065,598	6.0%	9	2,802	6	289	11	83,272	8
VII. 眼及び付属器の疾患	14,171,492	3.5%	11	1,842	8	473	6	29,961	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,920,715	0.7%	16	540	15	125	16	23,366	17
IX. 循環器系の疾患	60,658,057	15.2%	1	6,455	1	594	4	102,118	7
X. 呼吸器系の疾患	26,483,647	6.6%	8	3,688	5	793	1	33,397	14
X I. 消化器系の疾患 ※	26,510,920	6.6%	7	5,350	3	687	2	38,589	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	12,269,270	3.1%	12	1,853	7	460	7	26,672	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	36,621,804	9.2%	4	3,990	4	533	5	68,709	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	31,529,841	7.9%	5	1,401	12	260	13	121,269	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,934,517	0.5%	18	37	20	16	19	120,907	5
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,839,254	0.5%	19	8	21	5	21	367,851	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	2,162,539	0.5%	17	73	18	20	18	108,127	6
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	9,380,585	2.3%	13	1,730	9	406	9	23,105	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	4,037,995	1.0%	15	691	14	261	12	15,471	20
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	702,677	0.2%	20	419	17	54	17	13,013	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	249,695	0.1%	21	63	19	15	20	16,646	19
合計	399,793,040			17,286		1,346		297,023	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	銚田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

【諏訪】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	6,038,193	2.7%	12	1,098	11	314	6	19,230	15
II. 新生物<腫瘍>	43,877,051	19.3%	1	1,129	9	246	10	178,362	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3,594,899	1.6%	13	507	15	102	14	35,244	11
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	25,353,347	11.2%	3	4,047	2	437	3	58,017	8
V. 精神及び行動の障害	7,166,490	3.2%	11	859	13	75	15	95,553	4
VI. 神経系の疾患	11,217,934	4.9%	8	1,901	6	184	13	60,967	7
VII. 眼及び付属器の疾患	7,897,338	3.5%	10	1,120	10	285	8	27,710	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,159,382	0.5%	17	304	16	65	16	17,837	16
IX. 循環器系の疾患	31,161,377	13.7%	2	4,361	1	379	4	82,220	5
X. 呼吸器系の疾患	15,071,945	6.6%	6	2,683	5	530	1	28,438	13
X I. 消化器系の疾患 ※	24,181,036	10.6%	4	3,817	3	483	2	50,064	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	9,673,465	4.3%	9	1,363	7	291	7	33,242	12
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	17,994,064	7.9%	5	2,931	4	379	4	47,478	10
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	13,333,182	5.9%	7	1,169	8	208	11	64,102	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,777,385	0.8%	16	30	19	7	20	253,912	2
X VI. 周産期に発生した病態 ※	879,307	0.4%	18	8	21	3	21	293,102	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	92,984	0.0%	20	32	18	9	18	10,332	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,042,122	1.3%	15	1,016	12	267	9	11,394	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	3,326,594	1.5%	14	513	14	191	12	17,417	17
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	330,851	0.1%	19	191	17	32	17	10,339	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	42,194	0.0%	21	24	20	8	19	5,274	21
合計	227,211,140			12,200		929		244,576	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。



旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	銚田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

【新宮】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	17,321,079	5.2%	7	1,556	10	420	8	41,241	11
II. 新生物<腫瘍>	43,379,798	13.0%	2	1,444	11	387	10	112,093	5
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,833,204	0.6%	17	417	16	122	14	15,026	18
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	34,140,432	10.3%	3	5,932	2	661	3	51,650	9
V. 精神及び行動の障害	13,969,348	4.2%	11	1,054	13	108	15	129,346	3
VI. 神経系の疾患	14,910,404	4.5%	9	2,542	6	278	12	53,635	8
VII. 眼及び付属器の疾患	14,000,024	4.2%	10	1,786	8	453	6	30,905	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,239,722	0.7%	16	446	15	101	16	22,175	16
IX. 循環器系の疾患	67,753,431	20.4%	1	6,957	1	596	4	113,680	4
X. 呼吸器系の疾患	21,658,467	6.5%	6	3,639	5	731	1	29,629	15
X I. 消化器系の疾患 ※	28,541,246	8.6%	5	5,381	3	706	2	40,427	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	6,951,516	2.1%	13	1,722	9	416	9	16,710	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	29,658,552	8.9%	4	4,614	4	576	5	51,491	10
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	16,553,577	5.0%	8	1,164	12	249	13	66,480	7
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	3,284,887	1.0%	15	25	20	10	20	328,489	2
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,277,850	0.4%	18	9	21	3	21	425,950	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	892,680	0.3%	19	61	18	12	19	74,390	6
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,306,154	1.6%	14	1,848	7	438	7	12,115	19
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	8,598,935	2.6%	12	776	14	286	11	30,066	14
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	142,483	0.0%	20	258	17	39	17	3,653	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	43,581	0.0%	21	57	19	15	18	2,905	21
合計	332,457,370			18,133		1,336		248,845	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	銚田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

【上東】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	4,063,761	1.3%	14	1,166	13	334	9	12,167	17
II. 新生物<腫瘍>	56,800,312	17.8%	2	1,215	12	306	10	185,622	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,023,719	0.3%	16	471	15	139	14	7,365	18
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	32,837,912	10.3%	3	5,541	2	578	2	56,813	7
V. 精神及び行動の障害	11,703,707	3.7%	11	1,264	11	120	15	97,531	4
VI. 神経系の疾患	12,403,616	3.9%	10	2,814	6	290	11	42,771	11
VII. 眼及び付属器の疾患	13,780,168	4.3%	9	1,654	8	370	7	37,244	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,174,519	0.4%	15	334	17	80	16	14,681	16
IX. 循環器系の疾患	59,276,679	18.6%	1	6,429	1	511	4	116,001	2
X. 呼吸器系の疾患	18,773,714	5.9%	7	3,258	5	608	1	30,878	13
X I. 消化器系の疾患 ※	25,794,775	8.1%	5	4,480	3	558	3	46,227	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	8,428,235	2.6%	12	1,375	10	345	8	24,430	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	27,543,512	8.6%	4	4,131	4	508	5	54,220	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	22,614,023	7.1%	6	1,479	9	224	12	100,955	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	506,895	0.2%	18	22	20	10	19	50,690	9
X VI. 周産期に発生した病態 ※	2,520	0.0%	21	1	21	1	21	2,520	21
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	671,241	0.2%	17	24	19	10	19	67,124	6
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,527,581	2.0%	13	1,981	7	424	6	15,395	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	14,953,199	4.7%	8	550	14	191	13	78,289	5
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	309,807	0.1%	19	370	16	61	17	5,079	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	59,425	0.0%	20	53	18	14	18	4,245	20
合計	319,249,320			15,719		1,089		293,158	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	銚田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

【上西】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	3,057,493	1.6%	15	697	12	179	9	17,081	18
II. 新生物<腫瘍>	20,893,301	11.3%	2	576	13	152	10	137,456	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,341,227	1.3%	16	211	16	67	15	34,944	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	20,582,392	11.1%	3	2,696	2	305	1	67,483	8
V. 精神及び行動の障害	9,971,552	5.4%	8	720	11	71	14	140,444	1
VI. 神経系の疾患	9,676,238	5.2%	10	1,570	6	148	11	65,380	9
VII. 眼及び付属器の疾患	9,878,060	5.3%	9	964	8	196	7	50,398	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	4,130,934	2.2%	13	141	17	41	16	100,754	4
IX. 循環器系の疾患	32,777,929	17.7%	1	3,262	1	277	4	118,332	3
X. 呼吸器系の疾患	12,536,660	6.8%	6	1,836	5	297	2	42,211	13
X I. 消化器系の疾患 ※	14,804,986	8.0%	5	2,392	3	293	3	50,529	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	3,973,235	2.1%	14	866	10	195	8	20,376	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	19,610,805	10.6%	4	2,364	4	267	5	73,449	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	11,218,488	6.0%	7	879	9	128	12	87,644	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	547,761	0.3%	17	13	20	6	19	91,294	5
X VI. 周産期に発生した病態 ※	96,584	0.1%	20	9	21	3	21	32,195	15
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	102,295	0.1%	19	14	19	10	18	10,230	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,588,869	2.5%	11	1,043	7	202	6	22,717	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	4,560,613	2.5%	12	336	14	107	13	42,623	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	105,623	0.1%	18	219	15	34	17	3,107	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	45,245	0.0%	21	20	18	4	20	11,311	19
合計	185,500,290			8,345		581		319,278	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	銚田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

【白東】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	17,574,612	4.4%	10	1,343	13	391	9	44,948	11
II. 新生物<腫瘍>	66,852,164	16.7%	1	1,448	10	381	10	175,465	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5,391,796	1.3%	15	623	15	147	14	36,679	13
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	42,315,352	10.6%	3	6,180	2	677	2	62,504	7
V. 精神及び行動の障害	22,244,564	5.5%	8	1,371	12	138	15	161,192	2
VI. 神経系の疾患	23,081,856	5.8%	6	2,808	6	320	11	72,131	6
VII. 眼及び付属器の疾患	15,029,201	3.7%	11	1,769	8	429	7	35,033	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,561,535	0.4%	17	384	16	102	16	15,309	20
IX. 循環器系の疾患	63,377,223	15.8%	2	6,704	1	597	4	106,160	3
X. 呼吸器系の疾患	22,402,678	5.6%	7	3,488	5	723	1	30,986	15
X I. 消化器系の疾患 ※	33,957,887	8.5%	4	5,209	3	670	3	50,683	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	9,175,349	2.3%	14	1,421	11	397	8	23,112	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	29,550,649	7.4%	5	4,157	4	561	5	52,675	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	21,760,516	5.4%	9	1,525	9	288	12	75,557	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	312,118	0.1%	19	48	18	8	19	39,015	12
X VI. 周産期に発生した病態 ※	63,225	0.0%	21	6	21	4	21	15,806	19
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	113,570	0.0%	20	25	19	11	18	10,325	21
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,565,787	2.6%	13	2,051	7	484	6	21,830	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	13,588,458	3.4%	12	652	14	227	13	59,861	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,635,889	0.4%	16	307	17	70	17	23,370	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	521,601	0.1%	18	22	20	7	20	74,514	5
合計	401,076,030			17,374		1,322		303,386	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	鉾田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

【白西】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	3,641,217	1.6%	14	854	13	217	10	16,780	18
II. 新生物<腫瘍>	43,951,158	19.3%	1	875	12	237	9	185,448	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,441,130	0.6%	15	327	15	80	15	18,014	16
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	23,391,590	10.3%	3	4,179	2	429	2	54,526	6
V. 精神及び行動の障害	8,075,939	3.5%	10	1,220	9	104	14	77,653	3
VI. 神経系の疾患	10,567,901	4.6%	8	2,249	6	209	11	50,564	7
VII. 眼及び付属器の疾患	11,467,683	5.0%	7	1,260	8	271	7	42,316	9
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,085,374	0.5%	16	247	16	53	16	20,479	14
IX. 循環器系の疾患	42,229,254	18.5%	2	4,665	1	387	4	109,120	2
X. 呼吸器系の疾患	16,614,176	7.3%	6	2,648	5	434	1	38,282	10
X I. 消化器系の疾患 ※	18,354,290	8.1%	5	3,654	3	424	3	43,288	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	4,799,204	2.1%	12	1,144	10	253	8	18,969	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	20,755,066	9.1%	4	2,900	4	360	5	57,653	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	10,360,749	4.5%	9	1,066	11	182	12	56,927	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	32,125	0.0%	19	2	20	1	20	32,125	11
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	23,221	0.0%	20	24	19	7	19	3,317	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,258,561	2.7%	11	1,515	7	300	6	20,862	13
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	4,377,394	1.9%	13	434	14	155	13	28,241	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	133,773	0.1%	18	212	17	39	17	3,430	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	205,625	0.1%	17	37	18	12	18	17,135	17
合計	227,765,430			11,960		802		283,997	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	銚田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

【その他】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,162,557	1.6%	14	277	9	85	6	13,677	16
II. 新生物<腫瘍>	17,148,122	23.8%	1	188	13	60	10	285,802	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	762,653	1.1%	15	104	15	29	15	26,298	13
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	2,627,633	3.6%	10	532	7	94	5	27,954	11
V. 精神及び行動の障害	9,059,177	12.5%	2	678	3	57	12	158,933	3
VI. 神経系の疾患	3,992,501	5.5%	7	751	2	68	9	58,713	6
VII. 眼及び付属器の疾患	2,422,207	3.4%	11	204	12	51	13	47,494	8
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	219,398	0.3%	16	57	16	15	16	14,627	15
IX. 循環器系の疾患	4,886,508	6.8%	6	552	5	70	8	69,807	5
X. 呼吸器系の疾患	3,611,579	5.0%	8	551	6	130	2	27,781	12
X I. 消化器系の疾患 ※	5,900,514	8.2%	5	896	1	136	1	43,386	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,320,065	1.8%	13	403	8	109	3	12,111	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	2,900,426	4.0%	9	591	4	101	4	28,717	10
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	8,503,291	11.8%	3	216	11	51	13	166,731	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	101,935	0.1%	17	7	19	2	20	50,968	7
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	23,816	0.0%	18	10	18	6	17	3,969	18
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,372,808	1.9%	12	273	10	82	7	16,742	14
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	6,163,675	8.5%	4	180	14	59	11	104,469	4
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	16,642	0.0%	19	21	17	6	17	2,774	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	3,023	0.0%	20	5	20	3	19	1,008	20
合計	72,198,530			2,466		317		227,756	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。



## 2. 中分類による疾病別医療費地区別統計

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を以下に示す。

旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	鉾田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

### 【旭東】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	19,189,399	6.5%	30
2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	17,686,447	6.0%	119
3	0903 その他の心疾患	16,170,088	5.5%	149
4	0901 高血圧性疾患	14,908,703	5.0%	288
5	0402 糖尿病	13,732,365	4.6%	299
6	1402 腎不全	11,998,505	4.0%	21
7	1113 その他の消化器系の疾患	9,728,423	3.3%	309
8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	9,415,635	3.2%	261
9	0902 虚血性心疾患	9,114,778	3.1%	102
10	0403 脂質異常症	7,489,930	2.5%	226

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【旭南】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	0901 高血圧性疾患	17,010,045	6.2%	302
2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	14,263,681	5.2%	108
3	0402 糖尿病	14,021,672	5.1%	274
4	0903 その他の心疾患	13,641,653	5.0%	153
5	0902 虚血性心疾患	10,662,478	3.9%	88
6	1113 その他の消化器系の疾患	10,104,575	3.7%	283
7	0704 その他の眼及び付属器の疾患	9,618,220	3.5%	234
8	0906 脳梗塞	9,178,870	3.4%	80
9	0403 脂質異常症	8,332,743	3.1%	227
10	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	8,189,595	3.0%	18

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	鉾田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

### 【旭西】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402 腎不全	16,888,162	6.0%	23
2	0901 高血圧性疾患	15,810,409	5.6%	251
3	0402 糖尿病	15,059,166	5.3%	269
4	1113 その他の消化器系の疾患	14,099,206	5.0%	294
5	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	13,814,240	4.9%	108
6	0105 ウイルス性肝炎	12,750,364	4.5%	37
7	0606 その他の神経系の疾患	7,581,468	2.7%	180
8	0903 その他の心疾患	7,404,054	2.6%	134
9	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	7,322,896	2.6%	32
10	0403 脂質異常症	6,860,116	2.4%	191

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【旭北】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	16,411,000	7.4%	81
2	0901 高血圧性疾患	13,560,834	6.1%	212
3	1402 腎不全	11,119,989	5.0%	20
4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	10,898,564	4.9%	24
5	1113 その他の消化器系の疾患	10,522,003	4.7%	244
6	0402 糖尿病	10,392,199	4.7%	219
7	0903 その他の心疾患	8,548,658	3.8%	109
8	0105 ウイルス性肝炎	6,893,538	3.1%	44
9	0403 脂質異常症	6,271,950	2.8%	162
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	6,127,284	2.8%	171

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。



旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	鉾田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

### 【巴】 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402 腎不全	48,400,767	8.2%	39
2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	38,481,814	6.6%	155
3	0901 高血圧性疾患	36,100,895	6.1%	549
4	0402 糖尿病	30,481,290	5.2%	524
5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	29,688,856	5.1%	51
6	1113 その他の消化器系の疾患	21,253,266	3.6%	459
7	0606 その他の神経系の疾患	18,290,173	3.1%	309
8	0105 ウイルス性肝炎	15,250,925	2.6%	73
9	1302 関節症	14,283,363	2.4%	215
10	0903 その他の心疾患	13,984,568	2.4%	257

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【徳宿】 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0901 高血圧性疾患	33,503,640	5.9%	593
2	1113 その他の消化器系の疾患	30,373,055	5.4%	575
3	0402 糖尿病	28,398,670	5.0%	527
4	1402 腎不全	24,136,866	4.3%	26
5	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	20,136,249	3.5%	173
6	0606 その他の神経系の疾患	18,967,230	3.3%	347
7	0903 その他の心疾患	16,103,617	2.8%	287
8	0902 虚血性心疾患	15,990,504	2.8%	165
9	1011 その他の呼吸器系の疾患	15,700,210	2.8%	422
10	0403 脂質異常症	14,884,608	2.6%	415

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	鉾田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

### 【秋山】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402 腎不全	37,668,658	8.0%	29
2	0901 高血圧性疾患	28,623,427	6.1%	552
3	0402 糖尿病	24,915,529	5.3%	488
4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	22,337,492	4.7%	158
5	0606 その他の神経系の疾患	18,909,907	4.0%	279
6	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	18,292,930	3.9%	61
7	0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	17,765,251	3.8%	75
8	1113 その他の消化器系の疾患	17,556,974	3.7%	453
9	0903 その他の心疾患	15,453,083	3.3%	246
10	1901 骨折	13,096,998	2.8%	68

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【鉾田】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0402 糖尿病	23,222,527	5.8%	459
2	0901 高血圧性疾患	22,949,718	5.7%	469
3	0903 その他の心疾患	21,069,669	5.3%	250
4	1402 腎不全	20,655,715	5.2%	19
5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	18,827,134	4.7%	41
6	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	16,946,284	4.2%	125
7	0606 その他の神経系の疾患	16,393,888	4.1%	261
8	1113 その他の消化器系の疾患	12,933,517	3.2%	410
9	0105 ウイルス性肝炎	10,773,036	2.7%	54
10	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	9,960,137	2.5%	18

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	鉾田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

### 【諏訪】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0901 高血圧性疾患	14,352,318	6.3%	272
2	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	14,174,765	6.2%	28
3	0402 糖尿病	13,730,821	6.0%	318
4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	12,204,046	5.4%	98
5	1113 その他の消化器系の疾患	11,641,020	5.1%	270
6	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	8,505,369	3.7%	19
7	0403 脂質異常症	7,265,608	3.2%	216
8	1402 腎不全	6,950,375	3.1%	13
9	1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	6,480,494	2.9%	174
10	0902 虚血性心疾患	5,957,733	2.6%	101

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【新宮】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0901 高血圧性疾患	23,695,836	7.1%	453
2	0402 糖尿病	19,345,389	5.8%	474
3	0903 その他の心疾患	15,333,987	4.6%	214
4	1113 その他の消化器系の疾患	13,107,164	3.9%	406
5	0105 ウイルス性肝炎	12,743,724	3.8%	50
6	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	11,518,755	3.5%	149
7	0906 脳梗塞	11,187,403	3.4%	108
8	0403 脂質異常症	10,729,180	3.2%	300
9	0902 虚血性心疾患	9,974,983	3.0%	127
10	1402 腎不全	8,995,039	2.7%	13

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	鉾田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

### 【上東】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0901 高血圧性疾患	20,918,617	6.6%	394
2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	20,454,085	6.4%	127
3	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	19,100,984	6.0%	45
4	0402 糖尿病	18,793,729	5.9%	441
5	1402 腎不全	16,013,966	5.0%	24
6	0902 虚血性心疾患	13,928,298	4.4%	168
7	1113 その他の消化器系の疾患	12,063,375	3.8%	342
8	0403 脂質異常症	10,360,319	3.2%	261
9	0903 その他の心疾患	9,203,769	2.9%	184
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	8,872,435	2.8%	264

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【上西】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0402 糖尿病	10,727,700	5.8%	238
2	0901 高血圧性疾患	10,260,420	5.5%	210
3	0903 その他の心疾患	8,897,281	4.8%	112
4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	7,250,582	3.9%	55
5	1113 その他の消化器系の疾患	6,933,290	3.7%	170
6	0704 その他の眼及び付属器の疾患	6,493,817	3.5%	152
7	1402 腎不全	5,796,750	3.1%	11
8	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	5,324,776	2.9%	15
9	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	5,128,049	2.8%	24
10	0906 脳梗塞	5,029,545	2.7%	52

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	銚田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

### 【白東】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0402 糖尿病	24,868,200	6.2%	513
2	0901 高血圧性疾患	23,132,466	5.8%	441
3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	21,529,587	5.4%	169
4	1113 その他の消化器系の疾患	17,675,291	4.4%	399
5	0903 その他の心疾患	16,182,432	4.0%	240
6	1402 腎不全	12,280,523	3.1%	53
7	0403 脂質異常症	11,580,864	2.9%	311
8	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	10,801,780	2.7%	54
9	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,565,787	2.6%	484
10	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	9,886,789	2.5%	41

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【白西】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	20,951,427	9.2%	101
2	0901 高血圧性疾患	15,965,005	7.0%	301
3	0402 糖尿病	13,423,409	5.9%	334
4	0902 虚血性心疾患	11,020,521	4.8%	93
5	1113 その他の消化器系の疾患	8,160,784	3.6%	247
6	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	7,322,807	3.2%	6
7	0403 脂質異常症	7,149,304	3.1%	191
8	0903 その他の心疾患	6,661,844	2.9%	133
9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	6,514,293	2.9%	174
10	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,258,561	2.7%	300

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	鉾田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

【その他】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	0208 悪性リンパ腫	8,830,551	12.2%	2
2	1402 腎不全	6,421,823	8.9%	4
3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	6,321,656	8.8%	24
4	1901 骨折	5,552,061	7.7%	11
5	1113 その他の消化器系の疾患	3,215,750	4.5%	78
6	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	2,994,598	4.1%	8
7	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	2,798,109	3.9%	20
8	0606 その他の神経系の疾患	2,265,679	3.1%	55
9	0906 脳梗塞	2,009,654	2.8%	12
10	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	1,839,561	2.5%	21

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下に示す。

旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	鉾田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

### 【旭東】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	1113 その他の消化器系の疾患	9,728,423	309	27.6%
2	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,246,580	306	27.3%
3	0402 糖尿病	13,732,365	299	26.7%
4	1105 胃炎及び十二指腸炎	3,674,695	298	26.6%
5	0703 屈折及び調節の障害	1,300,746	295	26.4%
6	0901 高血圧性疾患	14,908,703	288	25.7%
6	1202 皮膚炎及び湿疹	4,278,638	288	25.7%
8	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	2,261,515	262	23.4%
9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	9,415,635	261	23.3%
10	0403 脂質異常症	7,489,930	226	20.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【旭南】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	2,632,953	348	31.3%
2	0901 高血圧性疾患	17,010,045	302	27.2%
3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,957,440	292	26.3%
4	1105 胃炎及び十二指腸炎	3,413,826	289	26.0%
5	1113 その他の消化器系の疾患	10,104,575	283	25.4%
6	0402 糖尿病	14,021,672	274	24.6%
7	1202 皮膚炎及び湿疹	2,838,872	264	23.7%
8	0703 屈折及び調節の障害	1,429,341	263	23.7%
9	1003 その他の急性上気道感染症	1,726,802	257	23.1%
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	9,618,220	234	21.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	鉾田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

### 【旭西】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	2,661,261	310	25.9%
2	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,947,551	308	25.7%
3	1202 皮膚炎及び湿疹	3,961,222	300	25.0%
4	1113 その他の消化器系の疾患	14,099,206	294	24.5%
5	0703 屈折及び調節の障害	1,267,286	291	24.3%
6	1105 胃炎及び十二指腸炎	3,439,043	278	23.2%
7	0402 糖尿病	15,059,166	269	22.4%
8	1003 その他の急性上気道感染症	2,077,426	262	21.9%
9	0901 高血圧性疾患	15,810,409	251	20.9%
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	6,785,033	239	19.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【旭北】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1113 その他の消化器系の疾患	10,522,003	244	29.4%
2	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,424,552	237	28.6%
3	1105 胃炎及び十二指腸炎	2,866,847	223	26.9%
4	0402 糖尿病	10,392,199	219	26.4%
5	0901 高血圧性疾患	13,560,834	212	25.5%
6	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	1,870,941	208	25.1%
7	0703 屈折及び調節の障害	844,909	195	23.5%
8	1202 皮膚炎及び湿疹	1,987,477	181	21.8%
8	1003 その他の急性上気道感染症	1,032,806	181	21.8%
10	1002 急性咽頭炎及び急性扁桃炎	1,360,183	179	21.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。



旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	鉾田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

### 【巴】 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	36,100,895	549	32.1%
2	0402 糖尿病	30,481,290	524	30.6%
3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,994,245	501	29.3%
4	1113 その他の消化器系の疾患	21,253,266	459	26.8%
5	1202 皮膚炎及び湿疹	7,974,892	448	26.2%
6	1105 胃炎及び十二指腸炎	5,771,972	428	25.0%
7	0703 屈折及び調節の障害	1,674,121	413	24.1%
8	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	3,007,338	410	24.0%
9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	11,115,193	395	23.1%
10	0403 脂質異常症	13,424,342	380	22.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【徳宿】 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	4,857,024	636	30.0%
2	0901 高血圧性疾患	33,503,640	593	28.0%
3	1113 その他の消化器系の疾患	30,373,055	575	27.1%
4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	14,305,888	541	25.5%
5	1202 皮膚炎及び湿疹	6,896,660	530	25.0%
6	0402 糖尿病	28,398,670	527	24.9%
7	0703 屈折及び調節の障害	2,074,162	488	23.0%
8	1105 胃炎及び十二指腸炎	6,189,849	475	22.4%
9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	13,208,609	469	22.1%
10	1002 急性咽頭炎及び急性扁桃炎	2,557,556	446	21.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	鉾田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

### 【秋山】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	28,623,427	552	33.1%
2	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,580,155	492	29.5%
3	0402 糖尿病	24,915,529	488	29.2%
4	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	3,312,269	454	27.2%
5	1113 その他の消化器系の疾患	17,556,974	453	27.1%
6	0703 屈折及び調節の障害	2,043,249	423	25.3%
7	0704 その他の眼及び付属器の疾患	10,065,882	405	24.3%
8	1202 皮膚炎及び湿疹	6,267,995	387	23.2%
9	1003 その他の急性上気道感染症	2,411,144	369	22.1%
10	0403 脂質異常症	12,587,672	360	21.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【鉾田】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	22,949,718	469	34.8%
2	0402 糖尿病	23,222,527	459	34.1%
3	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	3,259,435	416	30.9%
4	1113 その他の消化器系の疾患	12,933,517	410	30.5%
5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	9,380,585	406	30.2%
6	0703 屈折及び調節の障害	1,382,059	344	25.6%
7	0704 その他の眼及び付属器の疾患	8,572,813	334	24.8%
8	1202 皮膚炎及び湿疹	4,139,280	332	24.7%
9	0403 脂質異常症	9,955,622	329	24.4%
10	1105 胃炎及び十二指腸炎	3,835,795	324	24.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	鉾田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

### 【諏訪】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402 糖尿病	13,730,821	318	34.2%
2	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	2,333,503	285	30.7%
3	0901 高血圧性疾患	14,352,318	272	29.3%
4	1113 その他の消化器系の疾患	11,641,020	270	29.1%
5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,042,122	267	28.7%
6	1105 胃炎及び十二指腸炎	2,701,707	246	26.5%
7	1202 皮膚炎及び湿疹	4,507,666	226	24.3%
8	1006 アレルギー性鼻炎	2,394,415	219	23.6%
9	0703 屈折及び調節の障害	935,023	218	23.5%
10	0403 脂質異常症	7,265,608	216	23.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【新宮】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402 糖尿病	19,345,389	474	35.5%
2	0901 高血圧性疾患	23,695,836	453	33.9%
3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,306,154	438	32.8%
4	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	3,011,597	412	30.8%
5	1113 その他の消化器系の疾患	13,107,164	406	30.4%
6	0703 屈折及び調節の障害	1,534,930	356	26.6%
7	1105 胃炎及び十二指腸炎	4,233,434	354	26.5%
8	1006 アレルギー性鼻炎	3,772,360	317	23.7%
9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	8,706,686	314	23.5%
10	1202 皮膚炎及び湿疹	2,896,210	304	22.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	鉾田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

### 【上東】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402 糖尿病	18,793,729	441	40.5%
2	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,527,581	424	38.9%
3	0901 高血圧性疾患	20,918,617	394	36.2%
4	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	2,849,548	369	33.9%
5	1113 その他の消化器系の疾患	12,063,375	342	31.4%
6	0703 屈折及び調節の障害	1,674,472	294	27.0%
7	1006 アレルギー性鼻炎	3,068,358	289	26.5%
8	1105 胃炎及び十二指腸炎	3,023,560	272	25.0%
9	0606 その他の神経系の疾患	8,757,716	269	24.7%
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	8,872,435	264	24.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【上西】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402 糖尿病	10,727,700	238	41.0%
2	0901 高血圧性疾患	10,260,420	210	36.1%
3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,588,869	202	34.8%
4	1113 その他の消化器系の疾患	6,933,290	170	29.3%
5	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	1,597,677	163	28.1%
6	0704 その他の眼及び付属器の疾患	6,493,817	152	26.2%
6	0703 屈折及び調節の障害	617,814	152	26.2%
8	0403 脂質異常症	4,986,106	145	25.0%
9	1202 皮膚炎及び湿疹	1,598,381	142	24.4%
10	1105 胃炎及び十二指腸炎	1,907,451	140	24.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	鉾田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

### 【白東】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402 糖尿病	24,868,200	513	38.8%
2	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,565,787	484	36.6%
3	0901 高血圧性疾患	23,132,466	441	33.4%
4	1113 その他の消化器系の疾患	17,675,291	399	30.2%
5	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	2,810,296	349	26.4%
6	1003 その他の急性上気道感染症	2,143,264	322	24.4%
7	0703 屈折及び調節の障害	1,225,238	321	24.3%
8	1105 胃炎及び十二指腸炎	3,979,388	316	23.9%
9	0403 脂質異常症	11,580,864	311	23.5%
10	1006 アレルギー性鼻炎	3,441,053	308	23.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【白西】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402 糖尿病	13,423,409	334	41.6%
2	0901 高血圧性疾患	15,965,005	301	37.5%
3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,258,561	300	37.4%
4	1113 その他の消化器系の疾患	8,160,784	247	30.8%
5	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	1,817,768	240	29.9%
6	1105 胃炎及び十二指腸炎	2,613,264	212	26.4%
7	0703 屈折及び調節の障害	850,782	210	26.2%
8	1006 アレルギー性鼻炎	2,401,561	201	25.1%
9	1202 皮膚炎及び湿疹	2,692,377	198	24.7%
10	0403 脂質異常症	7,149,304	191	23.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

旭東	旭南	旭西	旭北	巴	徳宿	秋津	鉾田
諏訪	新宮	上東	上西	白東	白西	その他	

【その他】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,372,808	82	25.9%
2	1113 その他の消化器系の疾患	3,215,750	78	24.6%
3	1202 皮膚炎及び湿疹	636,278	75	23.7%
4	0606 その他の神経系の疾患	2,265,679	55	17.4%
5	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	517,475	54	17.0%
6	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	351,661	51	16.1%
7	0402 糖尿病	1,280,766	50	15.8%
7	1105 胃炎及び十二指腸炎	678,375	50	15.8%
7	1306 腰痛症及び坐骨神経痛	590,940	50	15.8%
7	1006 アレルギー性鼻炎	537,751	50	15.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

# 年度別 特定健康診査結果分析

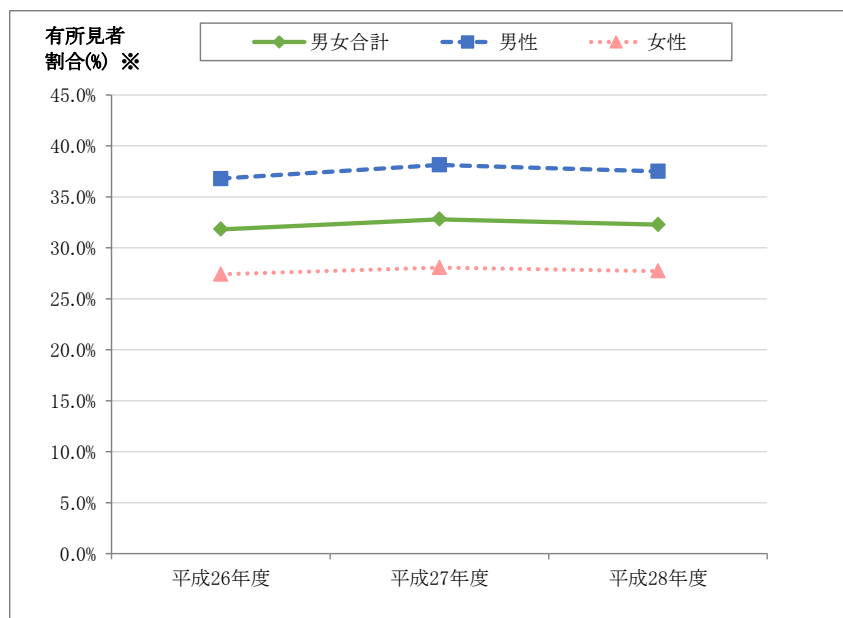
## 1. 有所見者割合

平成26年度から平成28年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合(BMI)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	5,265	5,320	5,598
	有所見者数(人) ※	1,675	1,745	1,807
	有所見者割合(%) ※	31.8%	32.8%	32.3%
男性	対象者数(人) ※	2,470	2,504	2,607
	有所見者数(人) ※	909	955	978
	有所見者割合(%) ※	36.8%	38.1%	37.5%
女性	対象者数(人) ※	2,795	2,816	2,991
	有所見者数(人) ※	766	790	829
	有所見者割合(%) ※	27.4%	28.1%	27.7%

年度別 有所見者割合(BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

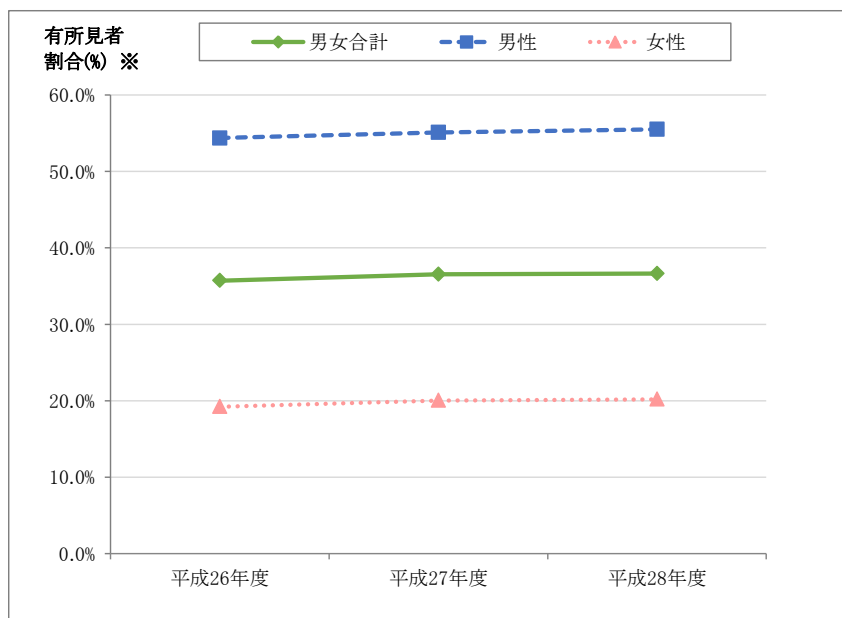
保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI:25以上

## 年度別 有所見者割合(腹囲)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	5,265	5,320	5,598
	有所見者数(人) ※	1,880	1,944	2,051
	有所見者割合(%) ※	35.7%	36.5%	36.6%
男性	対象者数(人) ※	2,470	2,504	2,607
	有所見者数(人) ※	1,343	1,380	1,447
	有所見者割合(%) ※	54.4%	55.1%	55.5%
女性	対象者数(人) ※	2,795	2,816	2,991
	有所見者数(人) ※	537	564	604
	有所見者割合(%) ※	19.2%	20.0%	20.2%

## 年度別 有所見者割合(腹囲)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値により有所見を判定する。

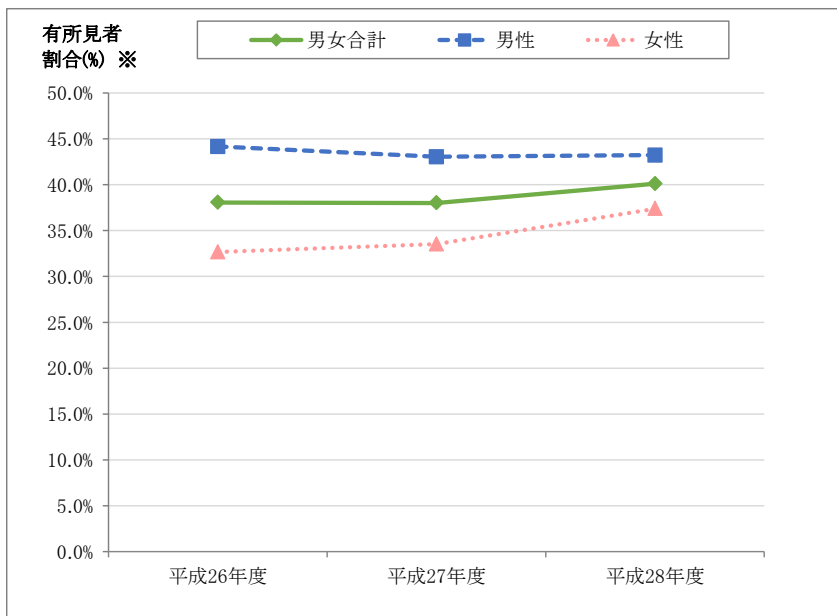
腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上



## 年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	5,265	5,320	5,598
	有所見者数(人) ※	2,004	2,022	2,245
	有所見者割合(%) ※	38.1%	38.0%	40.1%
男性	対象者数(人) ※	2,470	2,504	2,607
	有所見者数(人) ※	1,091	1,078	1,127
	有所見者割合(%) ※	44.2%	43.1%	43.2%
女性	対象者数(人) ※	2,795	2,816	2,991
	有所見者数(人) ※	913	944	1,118
	有所見者割合(%) ※	32.7%	33.5%	37.4%

## 年度別 有所見者割合(収縮期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

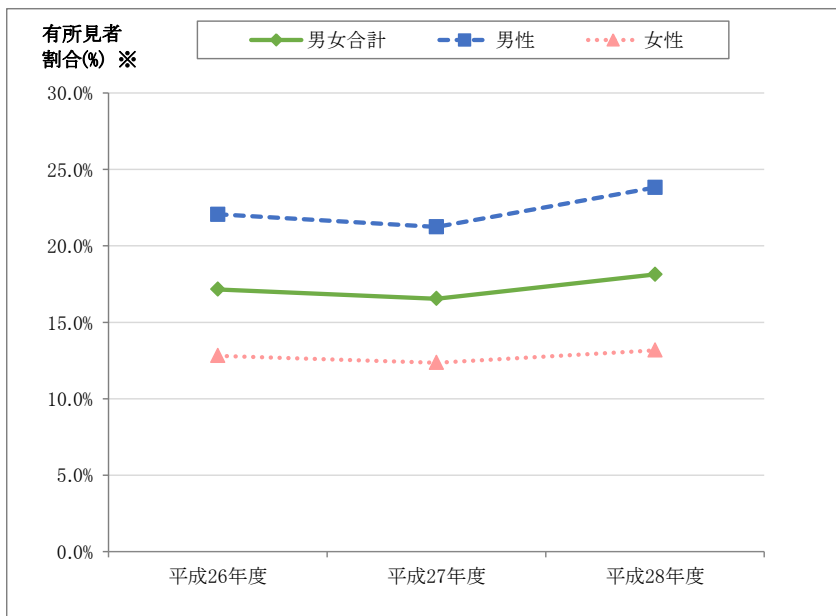
保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧:130mmHg以上

## 年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	5,265	5,320	5,598
	有所見者数(人) ※	903	880	1,015
	有所見者割合(%) ※	17.2%	16.5%	18.1%
男性	対象者数(人) ※	2,470	2,504	2,607
	有所見者数(人) ※	545	532	621
	有所見者割合(%) ※	22.1%	21.2%	23.8%
女性	対象者数(人) ※	2,795	2,816	2,991
	有所見者数(人) ※	358	348	394
	有所見者割合(%) ※	12.8%	12.4%	13.2%

## 年度別 有所見者割合(拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

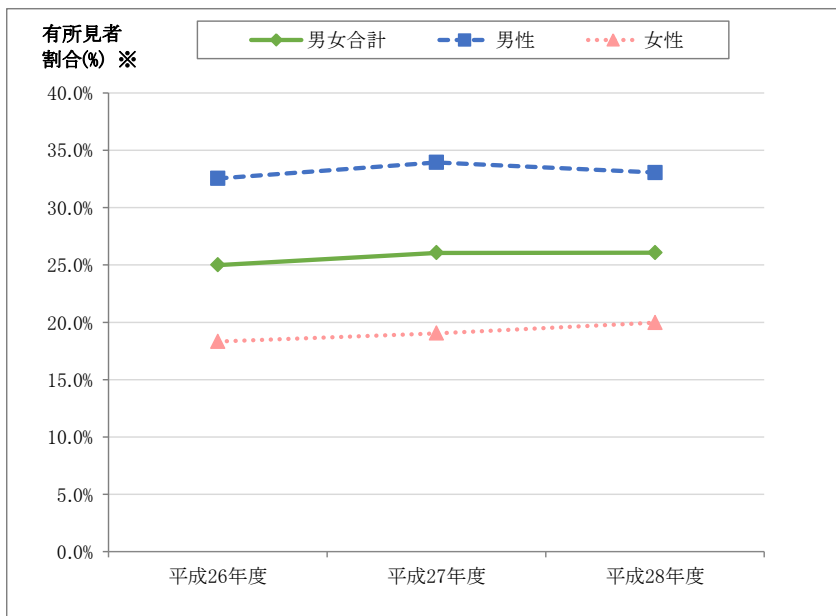
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg以上

## 年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	5,265	5,320	5,598
	有所見者数(人) ※	1,316	1,386	1,459
	有所見者割合(%) ※	25.0%	26.1%	26.1%
男性	対象者数(人) ※	2,470	2,504	2,607
	有所見者数(人) ※	804	850	862
	有所見者割合(%) ※	32.6%	33.9%	33.1%
女性	対象者数(人) ※	2,795	2,816	2,991
	有所見者数(人) ※	512	536	597
	有所見者割合(%) ※	18.3%	19.0%	20.0%

## 年度別 有所見者割合(中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

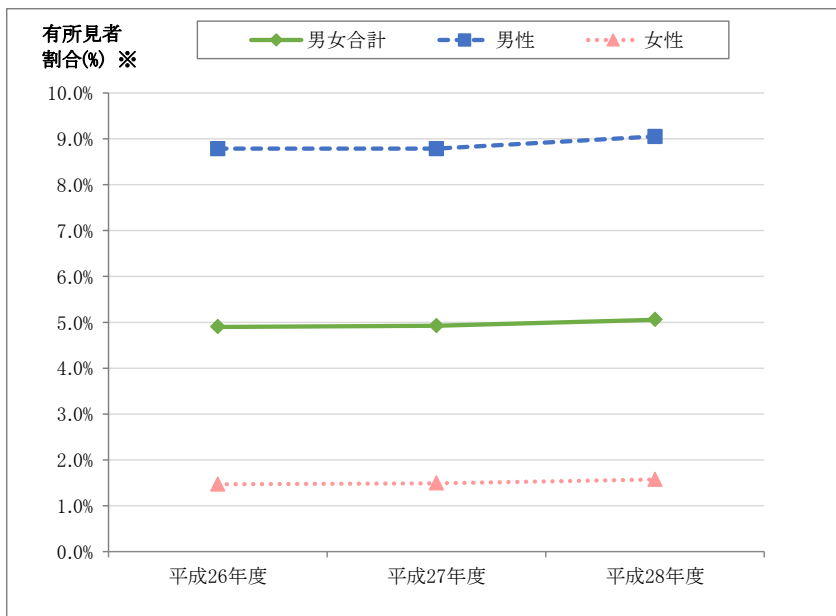
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪:150mg/dl以上

## 年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	5,265	5,320	5,598
	有所見者数(人) ※	258	262	283
	有所見者割合(%) ※	4.9%	4.9%	5.1%
男性	対象者数(人) ※	2,470	2,504	2,607
	有所見者数(人) ※	217	220	236
	有所見者割合(%) ※	8.8%	8.8%	9.1%
女性	対象者数(人) ※	2,795	2,816	2,991
	有所見者数(人) ※	41	42	47
	有所見者割合(%) ※	1.5%	1.5%	1.6%

## 年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

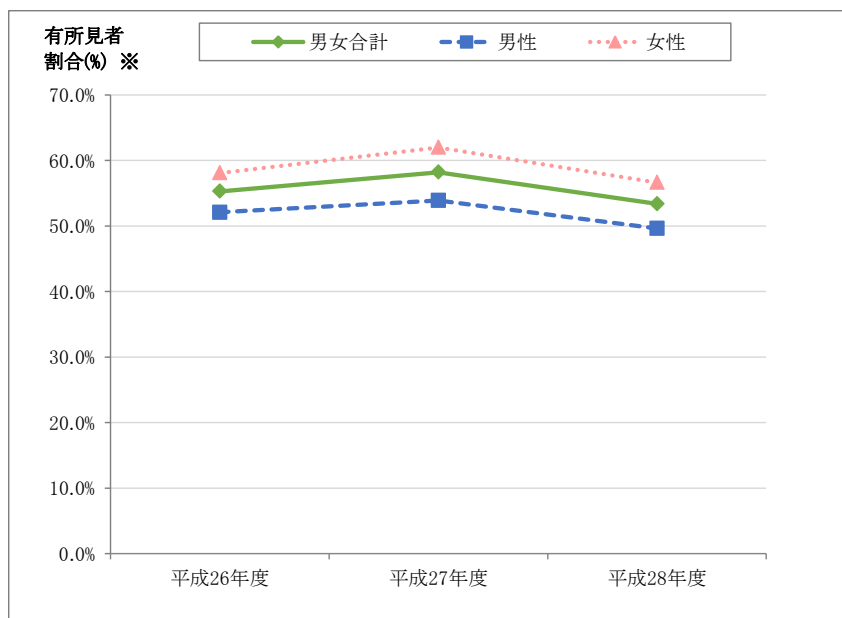
保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール:39mg/dl以下

## 年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	5,265	5,320	5,598
	有所見者数(人) ※	2,911	3,096	2,988
	有所見者割合(%) ※	55.3%	58.2%	53.4%
男性	対象者数(人) ※	2,470	2,504	2,607
	有所見者数(人) ※	1,287	1,350	1,294
	有所見者割合(%) ※	52.1%	53.9%	49.6%
女性	対象者数(人) ※	2,795	2,816	2,991
	有所見者数(人) ※	1,624	1,746	1,694
	有所見者割合(%) ※	58.1%	62.0%	56.6%

## 年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

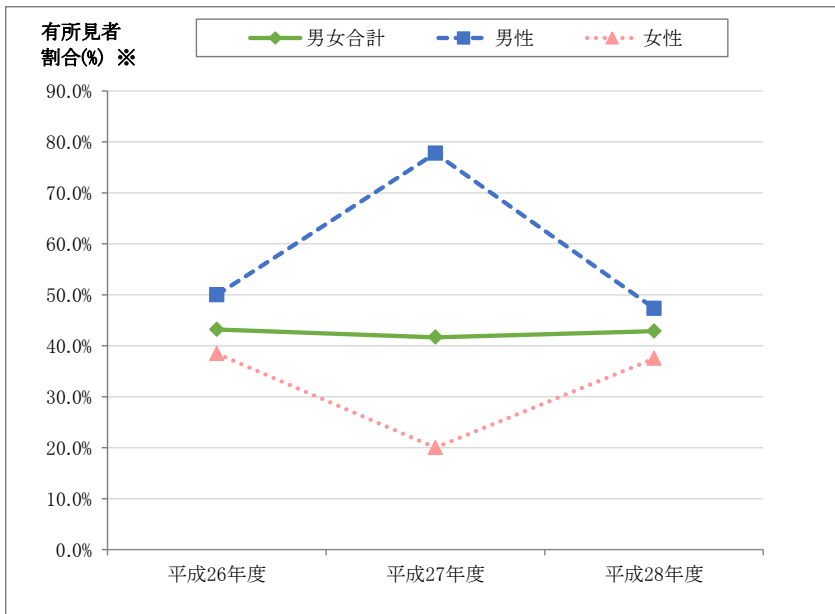
保健指導判定値により有所見を判定する。

LDLコレステロール:120mg/dl以上

## 年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	44	24	35
	有所見者数(人) ※	19	10	15
	有所見者割合(%) ※	43.2%	41.7%	42.9%
男性	対象者数(人) ※	18	9	19
	有所見者数(人) ※	9	7	9
	有所見者割合(%) ※	50.0%	77.8%	47.4%
女性	対象者数(人) ※	26	15	16
	有所見者数(人) ※	10	3	6
	有所見者割合(%) ※	38.5%	20.0%	37.5%

## 年度別 有所見者割合(空腹時血糖)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

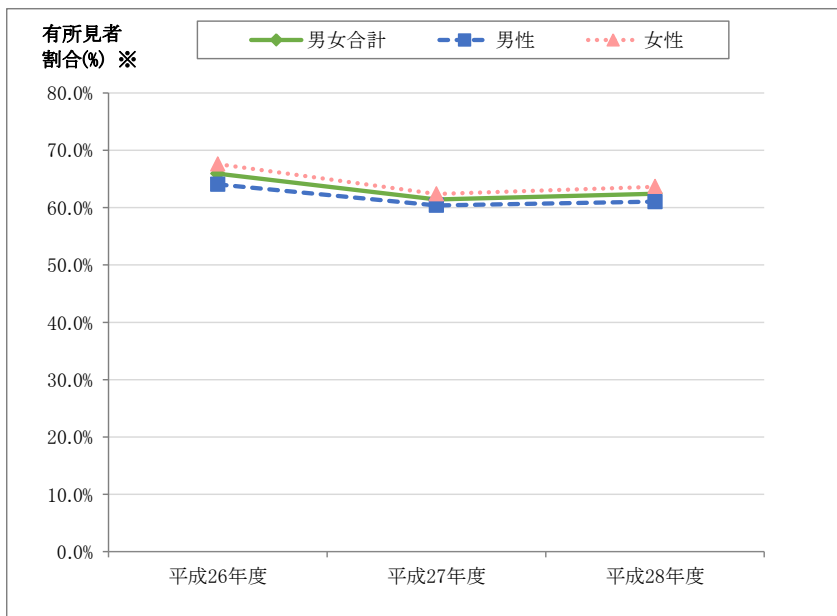
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

空腹時血糖値:100mg/dl以上

## 年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	5,241	5,308	5,589
	有所見者数(人) ※	3,455	3,261	3,490
	有所見者割合(%) ※	65.9%	61.4%	62.4%
男性	対象者数(人) ※	2,462	2,502	2,601
	有所見者数(人) ※	1,577	1,511	1,588
	有所見者割合(%) ※	64.1%	60.4%	61.1%
女性	対象者数(人) ※	2,779	2,806	2,988
	有所見者数(人) ※	1,878	1,750	1,902
	有所見者割合(%) ※	67.6%	62.4%	63.7%

## 年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c:5.6%以上

## 2. 質問別回答状況

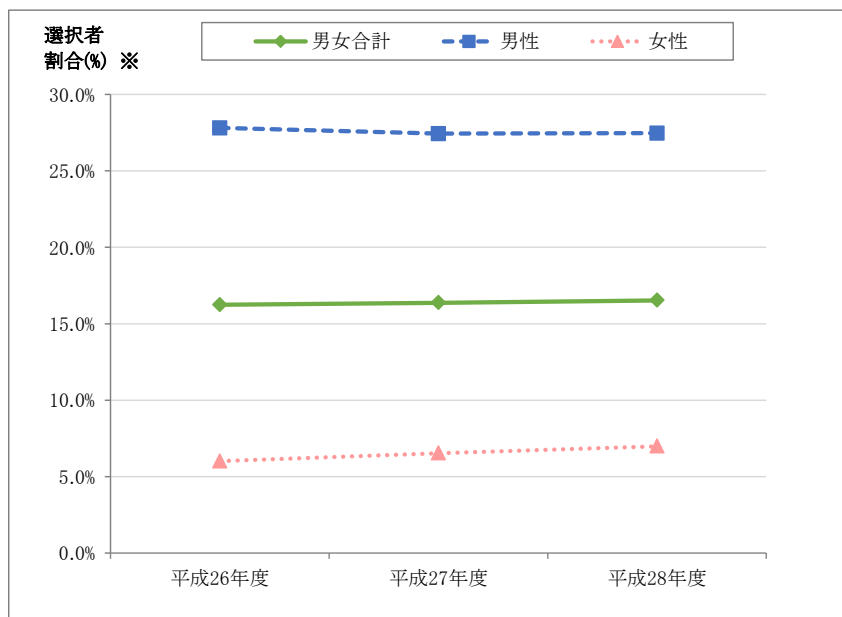
平成26年度から平成28年度の特定健康診査の質問票における喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する集計結果を年度別に示す。

### ①喫煙習慣

#### 年度別「喫煙あり」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	5,265	5,320	5,598
	選択者数(人) ※	855	871	925
	選択者割合(%) ※	16.2%	16.4%	16.5%
男性	質問回答者数(人) ※	2,470	2,504	2,607
	選択者数(人) ※	687	687	716
	選択者割合(%) ※	27.8%	27.4%	27.5%
女性	質問回答者数(人) ※	2,795	2,816	2,991
	選択者数(人) ※	168	184	209
	選択者割合(%) ※	6.0%	6.5%	7.0%

#### 年度別「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…喫煙習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…喫煙習慣の質問に回答した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。

喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

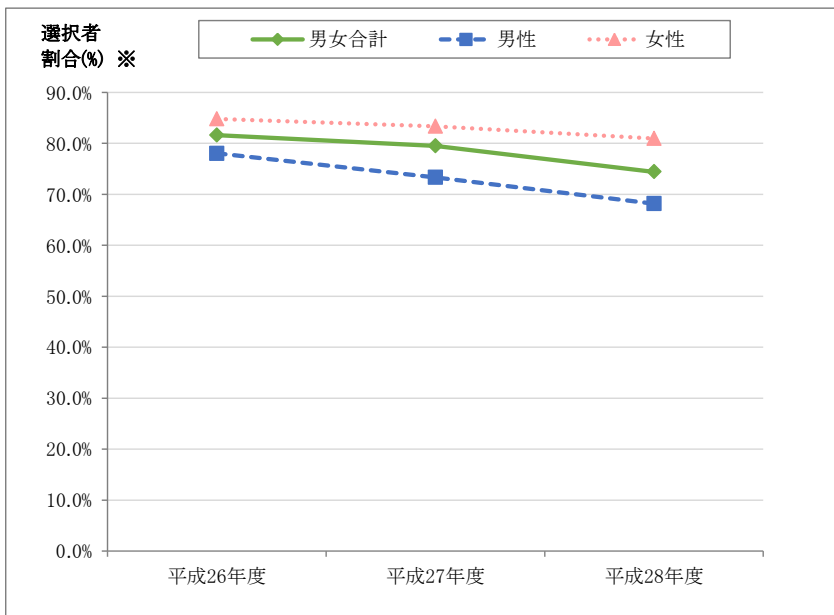


## ②運動習慣

### 年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	87	39	43
	選択者数(人) ※	71	31	32
	選択者割合(%) ※	81.6%	79.5%	74.4%
男性	質問回答者数(人) ※	41	15	22
	選択者数(人) ※	32	11	15
	選択者割合(%) ※	78.0%	73.3%	68.2%
女性	質問回答者数(人) ※	46	24	21
	選択者数(人) ※	39	20	17
	選択者割合(%) ※	84.8%	83.3%	81.0%

### 年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

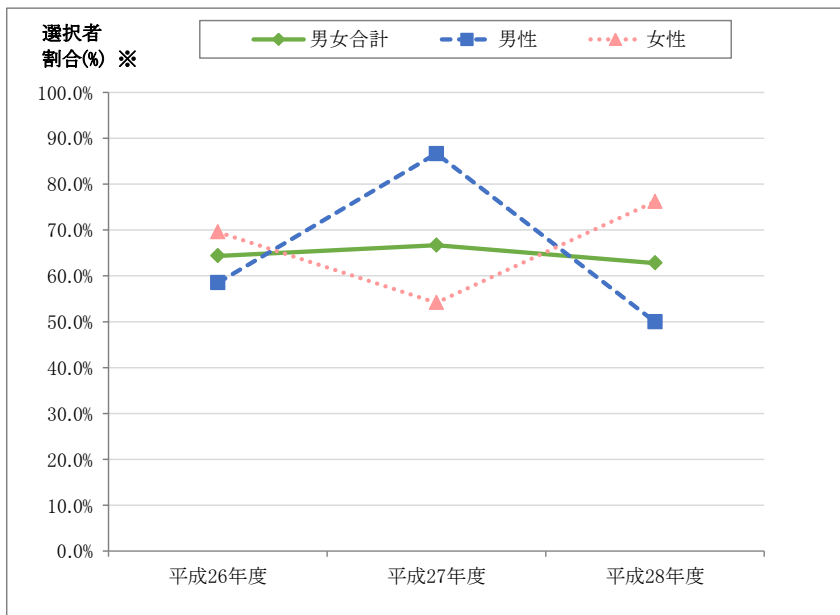
※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

## 年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	87	39	43
	選択者数(人) ※	56	26	27
	選択者割合(%) ※	64.4%	66.7%	62.8%
男性	質問回答者数(人) ※	41	15	22
	選択者数(人) ※	24	13	11
	選択者割合(%) ※	58.5%	86.7%	50.0%
女性	質問回答者数(人) ※	46	24	21
	選択者数(人) ※	32	13	16
	選択者割合(%) ※	69.6%	54.2%	76.2%

## 年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1日1時間以上の身体活動なし」を選択した人の割合。

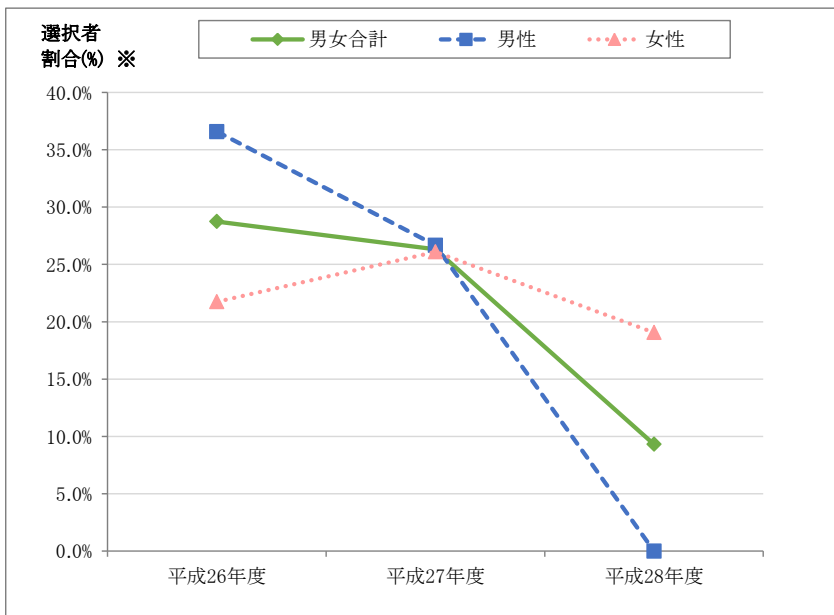
1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

### ③食習慣

#### 年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	87	38	43
	選択者数(人) ※	25	10	4
	選択者割合(%) ※	28.7%	26.3%	9.3%
男性	質問回答者数(人) ※	41	15	22
	選択者数(人) ※	15	4	0
	選択者割合(%) ※	36.6%	26.7%	0.0%
女性	質問回答者数(人) ※	46	23	21
	選択者数(人) ※	10	6	4
	選択者割合(%) ※	21.7%	26.1%	19.0%

#### 年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

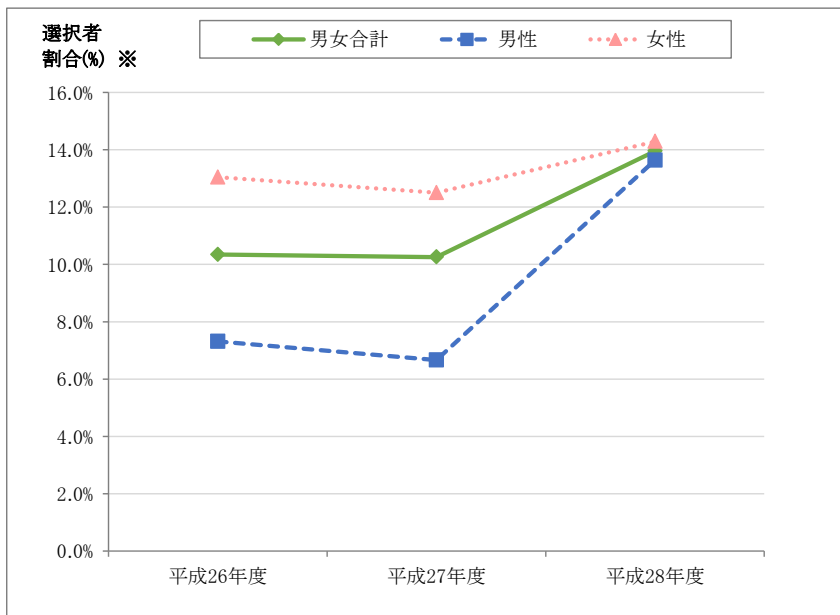
※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。

週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

## 年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	87	39	43
	選択者数(人) ※	9	4	6
	選択者割合(%) ※	10.3%	10.3%	14.0%
男性	質問回答者数(人) ※	41	15	22
	選択者数(人) ※	3	1	3
	選択者割合(%) ※	7.3%	6.7%	13.6%
女性	質問回答者数(人) ※	46	24	21
	選択者数(人) ※	6	3	3
	選択者割合(%) ※	13.0%	12.5%	14.3%

## 年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上夕食後に間食」を選択した人の割合。

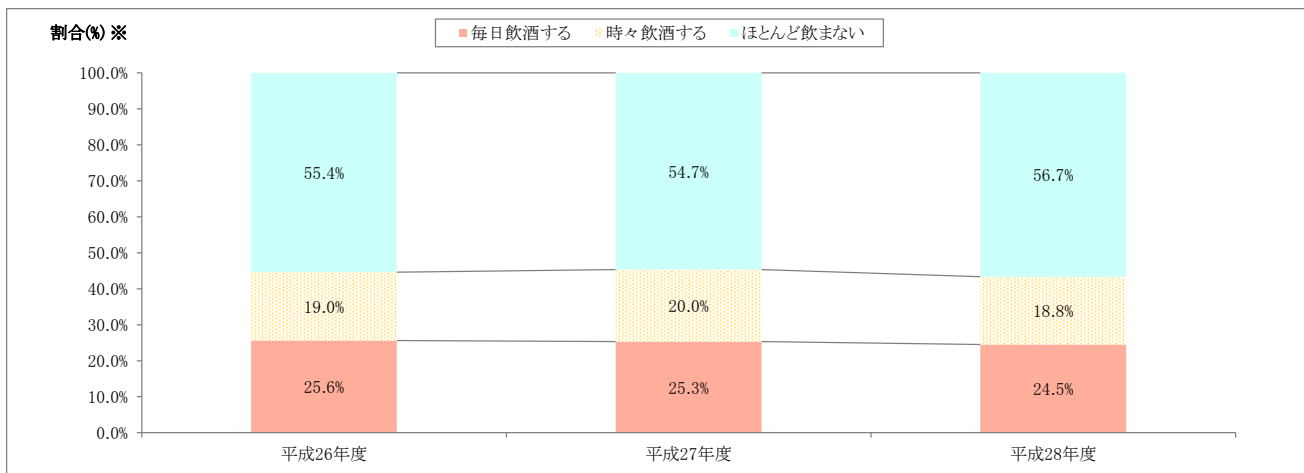
週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

#### ④飲酒習慣

##### 年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	5,264	1,347	25.6%	1,001	19.0%	2,916	55.4%
平成27年度	5,320	1,345	25.3%	1,065	20.0%	2,910	54.7%
平成28年度	5,598	1,371	24.5%	1,055	18.8%	3,172	56.7%

##### 年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

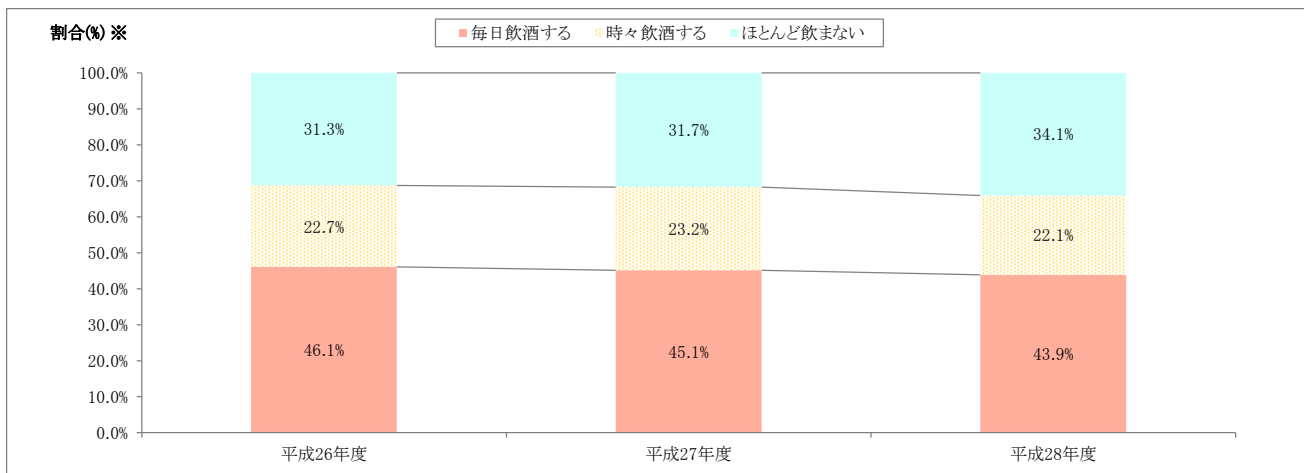
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	2,469	1,137	46.1%	560	22.7%	772	31.3%
平成27年度	2,504	1,130	45.1%	580	23.2%	794	31.7%
平成28年度	2,607	1,144	43.9%	575	22.1%	888	34.1%

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

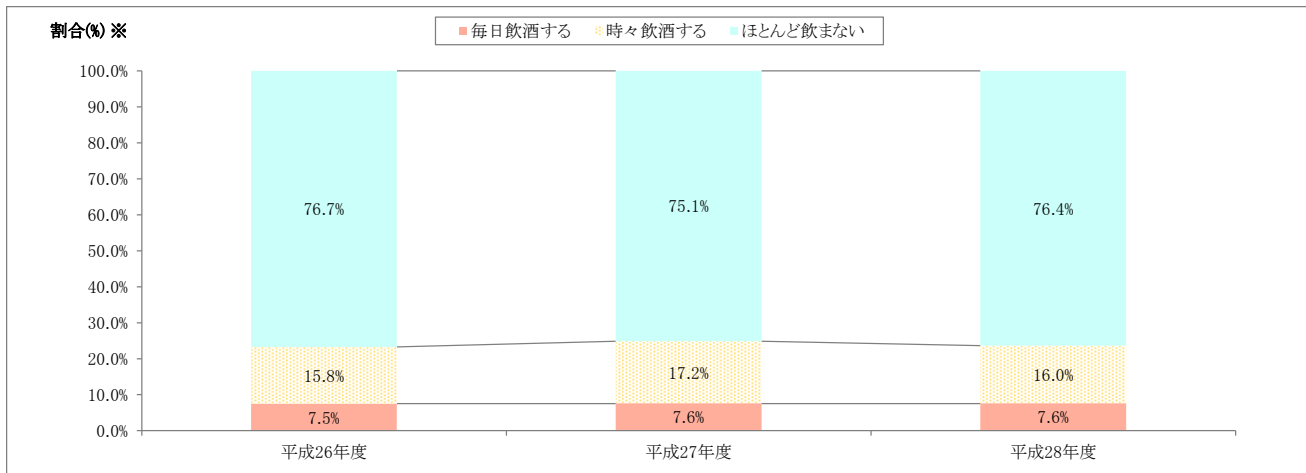
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	2,795	210	7.5%	441	15.8%	2,144	76.7%
平成27年度	2,816	215	7.6%	485	17.2%	2,116	75.1%
平成28年度	2,991	227	7.6%	480	16.0%	2,284	76.4%

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

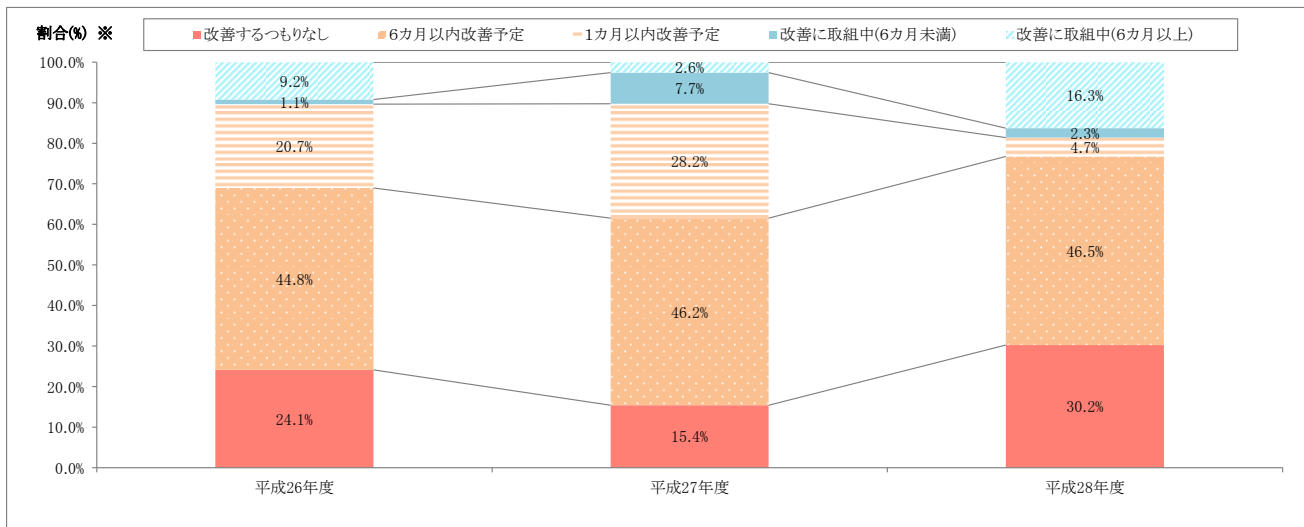
## ⑤生活習慣

### 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	87	21	24.1%	39	44.8%	18	20.7%
平成27年度	39	6	15.4%	18	46.2%	11	28.2%
平成28年度	43	13	30.2%	20	46.5%	2	4.7%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	87	1	1.1%	8	9.2%
平成27年度	39	3	7.7%	1	2.6%
平成28年度	43	1	2.3%	7	16.3%

### 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

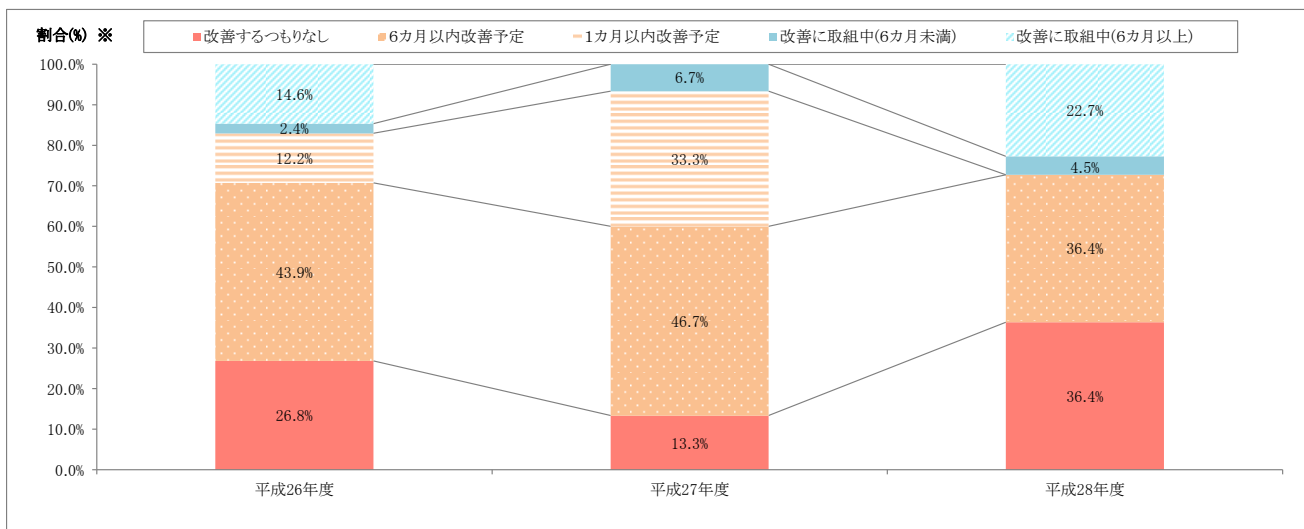


## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	41	11	26.8%	18	43.9%	5	12.2%
平成27年度	15	2	13.3%	7	46.7%	5	33.3%
平成28年度	22	8	36.4%	8	36.4%	0	0.0%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	41	1	2.4%	6	14.6%
平成27年度	15	1	6.7%	0	0.0%
平成28年度	22	1	4.5%	5	22.7%

## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

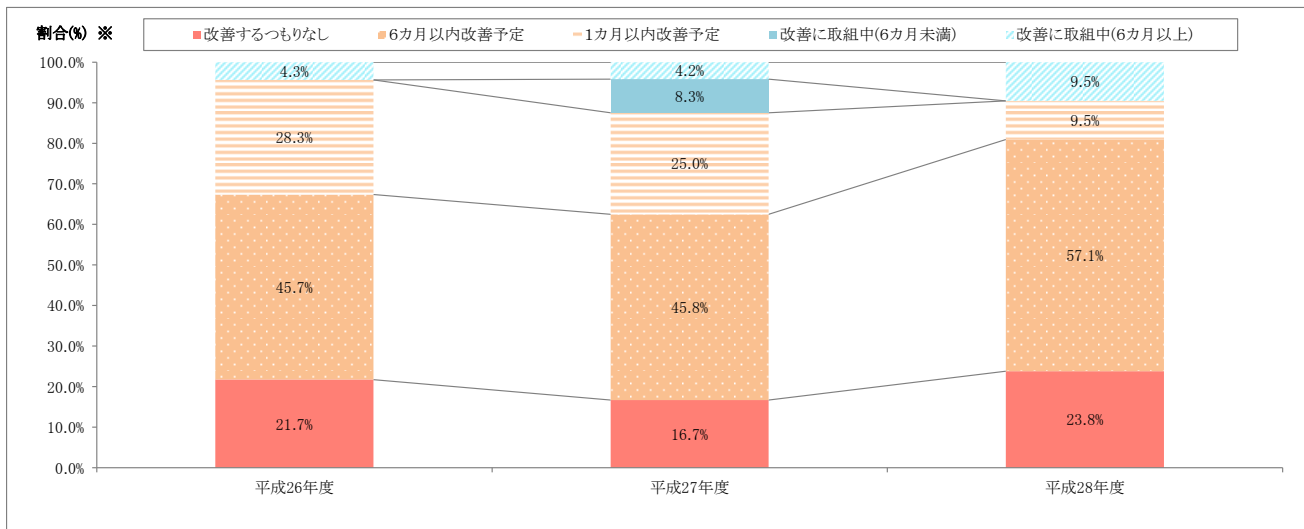
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	46	10	21.7%	21	45.7%	13	28.3%
平成27年度	24	4	16.7%	11	45.8%	6	25.0%
平成28年度	21	5	23.8%	12	57.1%	2	9.5%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	46	0	0.0%	2	4.3%
平成27年度	24	2	8.3%	1	4.2%
平成28年度	21	0	0.0%	2	9.5%

## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

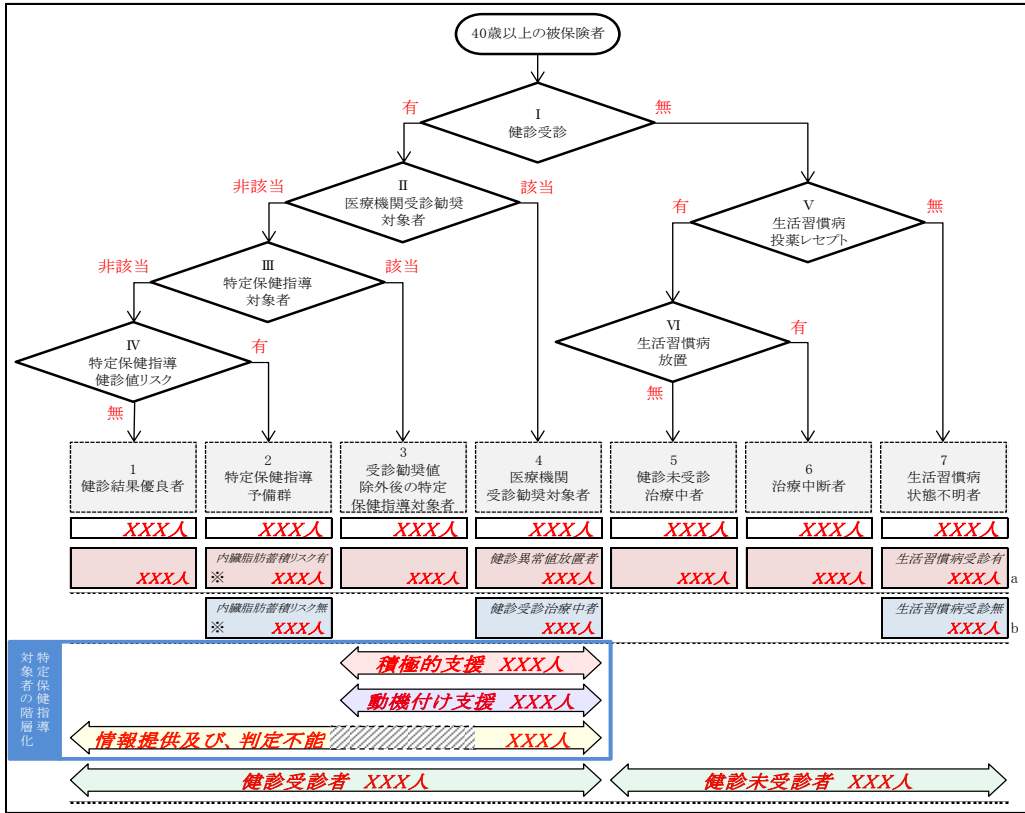
※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

## 1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

### 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



#### 【フロー説明】

- I 健診受診 …健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勸奨対象者 …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勸奨判定値を超えて受診勸奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 …厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク…厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

#### 【グループ別説明】

- 健診受診あり
- 1. 健診結果優良者 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
  - 2. 特定保健指導予備群 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
    - 内臓脂肪蓄積リスク有 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
    - 内臓脂肪蓄積リスク無 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
  - 3. 受診勸奨値除外後の特定保健指導対象者…受診勸奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
  - 4. 医療機関受診勸奨対象者 健診異常値放置者 …受診勸奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
    - 健診受診治療中者 …「4. 医療機関受診勸奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
    - …「4. 医療機関受診勸奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため病院受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
- 健診受診なし
- 5. 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
  - 6. 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
  - 7. 生活習慣病状態不明者…生活習慣病の投薬治療をしていない者。
    - 生活習慣病受診有 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
    - 生活習慣病受診無 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

## 2. 用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

### 3. 疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の續発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻疹後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他 <sup>の</sup> 新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の痙攣性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎〔アルコール性のものを除く〕	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変〔アルコール性のものを除く〕	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿疱疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 嚙形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植え込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		